SyncMaster 320TSn-3

LCD ディスプレイ

ユーザー マニュアル

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

SAMSUNG

安全使用上の注意

本書中のマークの説明

注意

製品を正しく使用して事故および製品の損傷を防止するために、下記の指示に従ってください。

警告/注意

このマークの付いた指示に従わなかった場合には、人体への傷害または機器の損傷を招くことがあります。

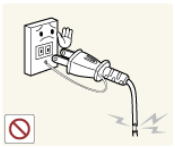
注意

禁止	指示事項
分解禁止	コンセントからプラグを抜いてください
接触禁止	感電を防ぐために、アースを行ってください

電源

長期間使用しない場合には、コンピュータを節電モード(DPM)に設定します。

スクリーン セイバーを使用している場合には、アクティブスクリーンモードに設定します。

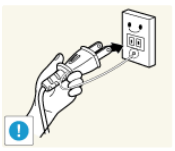


破損した電源コードまたはプラグ、破損またはがたつきのあるコンセントを使用しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

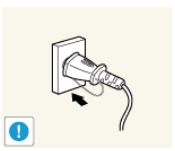
コンセントにプラグを抜き差しするときに、濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



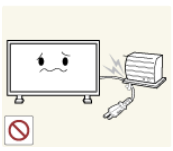
電源コードは、アースされたコンセントに接続してください。

- 漏電または傷害の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントにしっかりと正しく差し込みます。

- 火災の原因となることがあります。

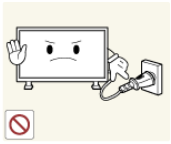


電源プラグや電源コードを無理に曲げたり引っ張らないでください。また、電源プラグや電源コードに重い物を乗せないでください。

- 火災の原因となることがあります。

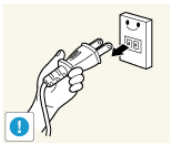
同じコンセントに複数の電気製品を接続しないでください。

- 過熱による火災の原因となることがあります。



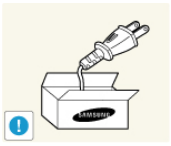
製品の使用中は電源コードを外さないでください。

- 感電によるモニターの故障の原因となることがあります。



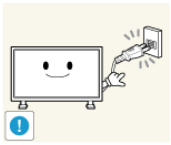
本体から電源を抜く場合や、コンセントから電源を抜く場合のことを考えて、余裕を持って抜き差しができる環境に設置をしてください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



付属の電源コードセットは本製品のみにご使用ください。他製品には使用しないでください。また、他の製品に付属されている電源コードを本製品に使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



電源プラグは、手の届きやすいコンセントに接続してください。

- 製品に問題が発生したときには、電源プラグを抜いて完全に電源をオフにする必要があります。製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。

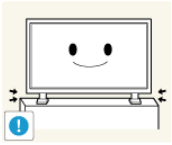
インストール方法

ほこりが多い場所、異常な高温または低温にさらされる場所、湿度の高い場所、化学溶媒が使用されている場所、および空港や駅など 24 時間製品を使用する場所に設置する場合には、お客様相談ダイヤルにご相談ください。

ご相談せずに設置した場合、モニターに重大な損傷が発生することがあります。

製品の移動は必ず 2 人以上で行ってください。

- 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。



キャビネットやラックなど高いところに製品を設置するときには、製品がはみ出たりしないようしっかりと安定した状態で設置してください。

- 落下または傷害の原因になる場合があります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットまたはラックを使用してください。

ろうそく、蚊取り線香、タバコおよびその他の熱源を製品に近づけないでください。

- 火災の原因となることがあります。

電源コードまたは製品は、熱源となる機器に近づけないでください。

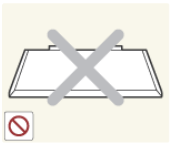
- 漏電または火災の原因となることがあります。

本棚やクローゼットなど、換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

製品を下ろすときには、手荒に扱わないでください。

- 表示画面が損傷する場合があります。

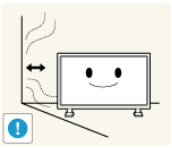


製品の前面を下にして床に置かないでください。

- 表示画面が損傷する場合があります。

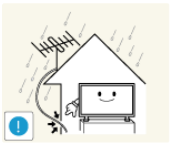
壁掛け金具の設置は、専門の業者が行うようにしてください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 指定された壁掛け金具で設置してください。



製品は、換気が十分に行われる場所に設置してください。壁から 4 インチ (10 cm) 以上離してください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。



屋外アンテナ ケーブルは、雨水が流れ込まないような場所から下向きに引き込みます。

- 製品に雨水が浸入すると、感電または火災の原因となることがあります。

アンテナは高電圧ケーブルから離して設置してください。

- アンテナが高電圧ケーブルに触れると、感電または火災の原因となることがあります。

梱包材のビニールに、お子様が手を触れないようにしてください。

- お子様がビニールで遊んでいると、重大な傷害 (窒息) の原因となることがあります。

モニターの高さ調整の際には指や手を挟まないよう十分ご注意ください。

- 製品の損傷またはけがをする恐れがあります。

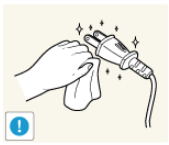
お手入れ

モニターの筐体または TFT-LCD 画面の表面を清掃するときには、少し湿らせた柔らかい布で拭き取ります。

ほこりなどによりモニター背面の空気穴がつまり、故障を起こす 場合もありますので定期的な掃除及び点検が必要となります。

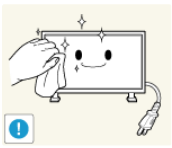
製品の表面にクリーナーを直接スプレーしないでください。

- 本体の脱色または歪み、画面表面のはがれが発生することがあります。



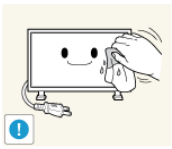
電源プラグのピンを清掃するとき、またはコンセントのほこりを取り除くときは、乾いた布を使用します。

- 火災の原因となることがあります。



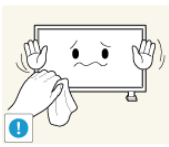
製品を清掃するときは、電源コードを切り離してください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を清掃するときには、まず電源コードを外して乾いた布でやさしく拭き取ります。

- (ワックス、ベンゼン、アルコール、シンナー、殺虫剤、潤滑剤またはクリーナーなどの化学薬品を使用しないでください)これらの薬品によって、製品表面の外観が変わったり、製品の表示ラベルがはがれることがあります。



製品の筐体にはキズが付きやすいため、液晶モニター用のクリーニングクロスを使用してください。

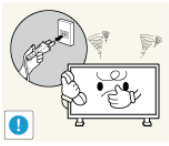
製品を清掃するときには、製品本体に水を直接かけないでください。

- 感電、火災または故障の原因となることがあります。

その他

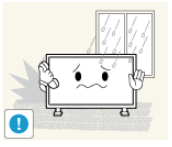
この製品は、高電圧を使用しています。絶対にご自身で製品を分解、修理または改造しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。修理が必要な場合には、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。



製品から異臭や異音、煙が出た場合には、直ちに電源プラグを抜いてお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

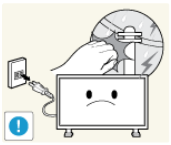


製品を湿気、ほこり、煙、水がかかる場所、または自動車の中に設置しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

製品が落下したりケースが破損した場合には、電源をオフにして電源コードを切り離してください。お客様相談ダイヤルにご連絡ください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

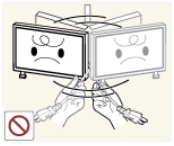


雷が発生した場合には、電源コードまたはアンテナ ケーブルに触れないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

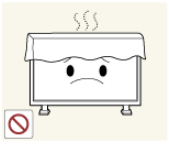
配線または信号ケーブルのみを持ってモニターを動かさないでください。

- ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。



電源コードまたは信号ケーブルだけを持って、製品を持ち上げたり、前後または左右に動かさないでください。

- ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。

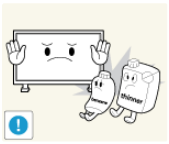


クロスやカーテンで換気口がふさがれないようにしてください。

- 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

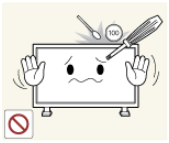
水の入った容器、花瓶、植木鉢、医薬品や、金属類を製品の上に置かないでください。

- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを抜いてからお客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災につながる恐れがあります。



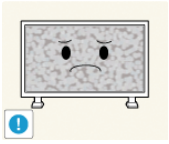
可燃性のスプレーまたは可燃物を製品に近づけないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



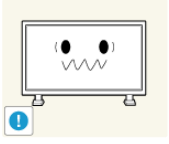
箸、コイン、ピンおよび刃物などの金属類、マッチや紙などの可燃物を (換気口、入出力端子などから) 製品の中に入れないでください。

- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを抜いてからお客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 漏電または火災の原因となることがあります。



静止画面を長時間表示し続けると、残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。また、場合によっては液晶パネルが焼き付けを起こす場合があります。

- 長時間製品を試用しない場合には、スリープ モードにするか動きのあるのスクリーン セイバーを使用します。

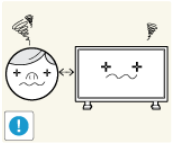


製品に適した解像度および周波数を設定します。

- 視力に影響を与えることがあります。

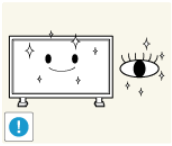
ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。



▶ 疲れ目を防止するために、製品に近づきすぎないでください。

- 視力低下の原因になり、場合によっては人体に影響を及ぼします。



▶モニターを 1 時間使用したら、少なくとも 5 分間の休憩をとります。

- 疲れ目が軽減されます。

▶不安定な棚や平らでない面、または振動の多い場所に設置しないでください。

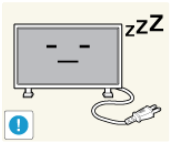
- 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。

▶製品を移動するときには、電源をオフにして、電源プラグ、アンテナケーブル、および製品に接続されているすべてのケーブルを切り離します。

- 感電または火災の原因となることがあります。

▶お子様が製品にぶら下がったり、よじ登らないようにしてください。

- 製品が落下して傷害または死亡事故の原因になる場合があります。



▶製品を長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。

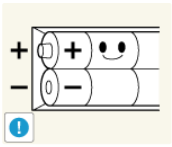
- ほこりがたまって過熱または火災の原因となったり、感電または漏電の原因となることがあります。

▶製品に重たいものを乗せたり、小さいお子様が興味を示すようなもの（おもちゃやお菓子など）を置いたりしないでください。

- お子様が製品にぶら下がって、落下により傷害または死亡事故の原因となることがあります。

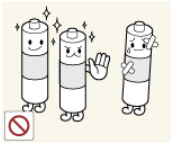
▶ リモコンから電池を取り外したときには、お子様が電池を口の中に入れないようにしてください。電池は、子供または乳児の手の届かない場所に置いてください。

- お子様が電池を口の中に入れたときには、すぐに医師の診察を受けてください。



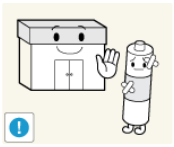
▶ 電池を交換するときには、正しい極性 (+、-) の向きに入れてください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、傷害または故障の原因となることがあります。



▶指定された標準の電池のみを使用し、新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。

- 電池が破損したり、液漏れにより火災、けがまたは故障の原因となることがあります。



バッテリ (および充電式バッテリ) は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。使用済みのバッテリをリサイクルのために返送する責任はお客様にあります。

- お客様は、使用済みの充電式バッテリを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリおよび充電式バッテリを販売している店舗に返送することができます。

直射日光の当たる場所、炎またはヒーターなどの熱源の近くに製品を置かないでください。

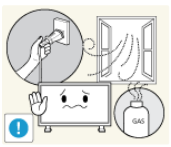
- 製品の寿命が短くなったり、火災の原因となることがあります。

製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

製品の近くで加湿器を使用しないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。



ガス漏れがあった場合には、製品または電源プラグに触れずに直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生すると、爆発または火災が発生することがあります。

長時間電源をオンにしていると液晶パネルが高温になりますので触れないでください。

特に小さなお子様が触れないよう十分ご注意ください。

製品の角度またはスタンドの高さを調整するときには注意してください。

- 手や指を挟まれると、傷害の原因となることがあります。
- また、製品を傾けすぎると、転倒して傷害の原因となることがあります。

製品を子供の手の届く高さに設置しないでください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 製品は前の方が重たくなっているため、水平で安定した面に設置してください。

製品の上に重い物を載せないでください。

- けがや製品の破損の原因となることがあります。

はじめに

パッケージ内容

パッケージの内容の確認

注意

- パッケージを開いたら、内容を確認してください。
- 製品を運ぶときに必要になりますので、梱包されていた箱は保管しておいてください。
- 不足している品目がある場合には、販売店にお問い合わせください。
- オプション品の購入については、お近くの販売店にお問い合わせください。

同梱物

LCD ディスプレイ

マニュアル類

クイック セットアップ ガイド

保証書

(含まれていない地域もあります)

ユーザー マニュアル

MagicInfo ソフトウェア DVD

ケーブル

電源コード

D-Sub ケーブル

その他

リモートコントロール

(BP59-00138B)

バッテリ (AAA X 2)

(含まれていない地域もあります)

別売り

(別売を行わない地域もあります)

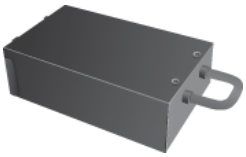
セミ スタンド キット

LAN ケーブル

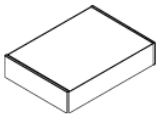
USB ケーブル

RGB to BNC ケーブル

RGB to COMPONENT ケーブル



TV チューナー ボックス



ウォール マウント キット

RS232C ケーブル

注意

製品と共に購入可能なアクセサリは、お住まいの国によって異なります。

お使いの LCD ディスプレイ

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

前面

1. *MENU ボタン [MENU]*

   オンスクリーン メニューを開いたり、メニューを終了します。OSD メニューを終了したり前のメニューに戻る場合にも使用します。

2. *ナビゲーション ボタン (上 下ボタン)*

   ひとつのメニューから別のメニューに縦方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。

3. *調整ボタン (左右ボタン)/音量ボタン*

   ひとつのメニューから別のメニューに横方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して音量を調整します。

4. *ENTER ボタン [ENTER]*

   ハイライトされたメニュー項目をアクティブにします。

5. *SOURCE ボタン [SOURCE]*

   PC モードからビデオモードに切り替えます。外部デバイスが接続されている入力信号を選択します。

   [PC] → **[DVI]** → **[AV]** → **[コンポーネント]** → **[HDMI1]** → **[HDMI2]** → **[ディスプレイ ポート]** → **[MagicInfo]** →**[TV]**

注意

- [RGB/COMPONENT IN] ポートは RGB (PC) およびコンポーネント信号に対応しています。

  ただし、外部入力信号が選択したビデオ信号と異なる場合には、映像が正常に表示されない場合があります。

- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

6 *D.MENU ボタン*

オンスクリーン D.MENU を開きます。

注意

D.MENU ボタンは、TV チューナーが接続されているときに有効になります。TV チューナーが接続されていない場合は、PIP ボタンが有効になります。

PIP ボタン

PIP ボタンを押して PIP 画面のオン/オフを切り替えます。

7 *電源ボタン [⏻]*

このボタンで、LCD ディスプレイの電源のオン/オフを切り替えます。

8 *照度センサー*

周囲の明るさを自動的に検出します。

9 *電源インジケーター*

緑色に点滅して PowerSaver モードであることを示します

注意

省電力機能の詳細については、このマニュアルの「PowerSaver」を参照してください。消費電力を押さえるために、必要ない場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。

10 *リモートカラーセンサー*

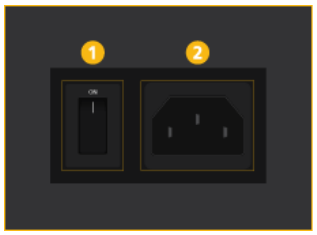
リモコンを LCD ディスプレイのこの部分に向けます。

背面

注意

ケーブル接続の詳細については、「接続」のセクションを参照してください。LCD ディスプレイの背面の構成は、モデルによって若干異なる場合があります。

A



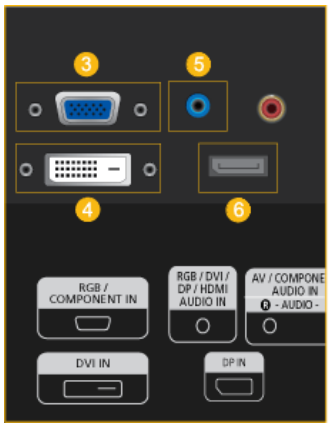
1 *POWER S/W ON [|] / OFF*

LCD ディスプレイのオン/オフを切り替えます。

2 *POWER*

LCD ディスプレイと壁のコンセントに電源コードを接続します。

B



3 *RGB/COMPONENT IN (PC/COMPONENT 接続端子 (入力))*

- モニターの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートを PC の RGB ポートに D-SUB ケーブルを使用して接続します。
- モニターの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートを外部デバイスの COMPONENT ポートに RGB to COMPONENT ケーブルを使用して接続します。
- モニターの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートを PC の BNC ポートに RGB to BNC ケーブルを使用して接続します。

4 *DVI IN (PC 映像接続端子)*

モニターの *[DVI IN]* ポートを PC の DVI ポートに DVI ケーブルを使用して接続します。

5 *RGB/DVI/DP/HDMI AUDIO IN (PC/DVI/DP/HDMI 音声接続端子 (入力))*

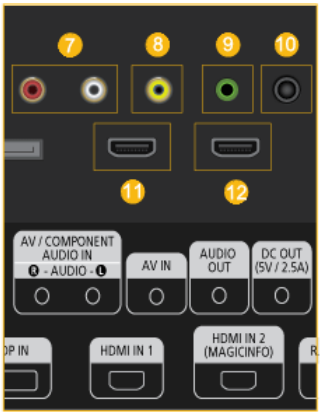
別売りのステレオ ケーブルを使用して、モニターの *[RGB/DVI/DP/HDMI AUDIO IN]* 端子とお使いのコンピュータのサウンド カードのスピーカー出力端子を接続します。

6 *DP IN*

ディスプレイ ポートからの信号を受信します。

DP ケーブルを製品の *[DP IN]* と別のディスプレイの DP IN に接続します。

C



7 *AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]*

モニターの *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* ポートを PC または外部デバイスの音声出力ポートにオーディオ ケーブルを使用して接続します。

8 *AV IN*

ビデオ ケーブルを使用して、モニターの *[AV IN]* 端子を外部デバイスのビデオ出力端子に接続します。

9 *AUDIO OUT*

ヘッドフォンまたは外部スピーカーを接続します。

10 *DC OUT*

[DC OUT] 端子が承認済みの TV チューナー ボックス [SBB_DTC/ZA] に接続されていることを確認します。

製品が損傷する場合があります。

11 *HDMI IN 1*

- HDMI ケーブルを使用して、LCD ディスプレイ背面の *[HDMI IN 1]* 端子をお使いのデジタル出力デバイスの HDMI 端子に接続します。
- HDMI 1.3 までをサポートしています。

注意

- 通常の外部デバイス (DVD プレーヤーやレコーダーなど) や TV チューナー ボックスを *[HDMI IN 1]* 端子に接続できます。
- TV チューナー ボックスを使用する場合は、*[HDMI IN 1]* 端子に接続してください。

12 *HDMI IN 2 (MAGICINFO)*

- HDMI ケーブルを使用して、LCD ディスプレイ背面の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* 端子

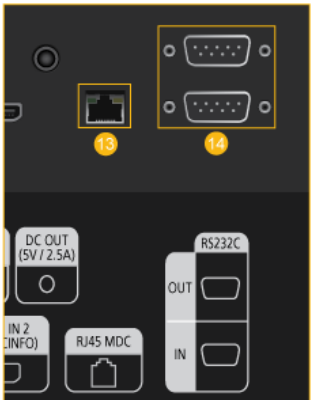
をお使いのデジタル出力デバイスの HDMI 端子に接続します。

- HDMI 1.3 までをサポートしています。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

D



13 *RJ 45 MDC (MDC PORT)*

MDC (マルチディスプレイ コントロール) プログラム ポート

LAN ケーブルを製品の *[RJ45 MDC]* と PC の LAN に接続します。MDC を使用するには、PC に MDC プログラムがインストールされている必要があります。

注意

マルチコントロール に移動して、**MDC 接続** として **RJ45 MDC** を選択します。

14 *RS232C OUT/IN (RS232C シリアル ポート)*

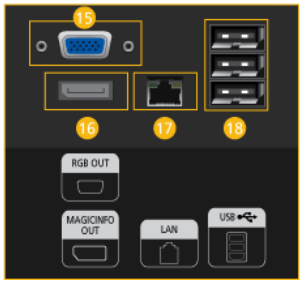
MDC (マルチディスプレイ コントロール) プログラム ポート

シリアル ケーブル (クロス タイプ) を製品の *[RS232C]* と PC の RS232C に接続します。MDC を使用するには、PC に MDC プログラムがインストールされている必要があります。

注意

マルチコントロール に移動して、**MDC 接続** として **RS232C MDC** を選択します。

E



15 *RGB OUT*

MagicInfo ビデオ出力ポート

16 *MAGICINFO OUT*

これは、ビデオ、オーディオおよび、**MagicInfo** 制御信号用の出力端子です。

使用するには、DP to HDMI ケーブルを使用して *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* 端子に接続します。

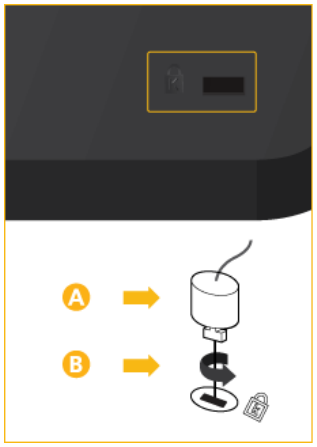
17 *LAN (LAN 接続端子)*

LAN ケーブルに接続して、**MagicInfo** モードでのインターネットまたはネットワーク アクセスを可能にします。

18 *USB(USB 接続端子)*

キーボード/マウス、マス ストレージ機器対応。

F



Kensington Lock slot

Kensington ロックは、公共の場所で製品を安全に使用できるようにロックすることができる盗難防止用の装置です。固定装置の形状と使用方法はモデルおよびメーカーによって異なるため、詳細については固定装置に付属するユーザー マニュアルを参照してください。

製品をロックするには以下の手順に従います。

1. Kensington ロック ケーブルを、デスクや椅子など大きくて動かない物体にかけます。
2. ロックのついたケーブルの端を Kensington ロック ケーブルの端の輪に通します。
3. ケンジントン ロックをディスプレイ背面にあるセキュリティ スロット (B) に挿入します。
4. ロックします (A)。

注意

- Kensington ロックを別途購入する必要があります。
- これは一般的な説明です。詳細については、ロック装置に付属するユーザー マニュアルを参照してください。
- 固定装置の購入につきましてはお買い上げいただいたお店にご確認ください。

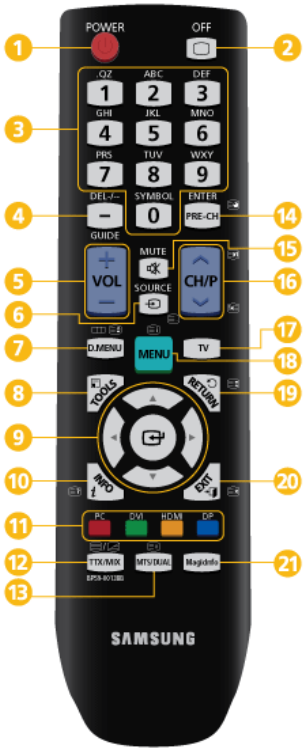
注意

ネットワーク ボックスが正常に動作するには、モニターとネットワーク ボックスの両方で電源スイッチをオンにする必要があります。

リモートコントロール

注意

リモコンの動作は TV またはその他 LCD ディスプレイ付近で動作している電子機器の影響を受ける場合があり、周波数の干渉によって誤作動することがあります。



1. POWER
2. OFF
3. ダイヤルパッド
4. DEL -/-- / GUIDE ボタン
5. + VOL -
6. SOURCE
7. D.MENU
8. TOOLS
9. 上下左右ボタン
10. INFO
11. 色ボタンと PC/DVI/HDMI/DP 選択ボタン。
12. TTX/MIX
13. MTS/DUAL
14. ENTER/PRE-CH
15. MUTE
16. CH/P
17. TV
18. MENU
19. RETURN
20. EXIT
21. MagicInfo

1 POWER	製品のオン/オフを切り替えます。
2 OFF	製品をオフにします。
3 ダイヤルパッド	OSD の調整時、または MagicInfo を使用するときにパスワードを入力するのに使用します。 押してチャンネルを変更します。
4 DEL -/-- / GUIDE ボタン	「-」ボタンはデジタル チャンネルの選択に使用します。 電子番組ガイド (EPG) 表示

注意

TV チューナー ボックス (別売り) がインストールされている場合は、TV モードでのみこのボタンを使用できます。

5 + VOL -	音声の音量を調整します。
6 SOURCE	接続されている外部入力信号または **MagicInfo** モードを選択します。 ボタンを押して、入力信号 SOURCE を切り換えます。 SOURCE の変更は、変更時に LCD ディスプレイに接続されている外部デバイスについてのみ行うことができます
7 D.MENU	DTV メニュー表示

注意

TV チューナー ボックス (別売り) がインストールされている場合は、TV モードでのみこのボタンを使用できます。

8 TOOLS	よく使う機能を素早く選択するのに使用します。

注意

この機能はこの LCD ディスプレイでは動作しません。

9 上下左右ボタン	ひとつのメニューから別のメニューに横方向、縦方向に移動したり、選択したメニューの値を調整したりします。
10 *i* INFO	画面左上に現在の画像情報が表示されます。
11 色ボタンと PC/DVI/HDMI/DP 選択ボタン。	TV モードでは、これらのボタンを使用してチャンネルのリストを設定することができます。 TV モード以外のモードでは、**PC**、**DVI**、**HDMI** または **ディスプレイ ポート** 外部入力を直接選択できます。
12 TTX/MIX	TV チャンネルは、テレテキスト経由で文字情報サービスを提供します。 - テレテキスト ボタン 6, 7, 10, 12, 13, 14, 16, 18, 19, 20

注意

この機能はこの LCD ディスプレイでは動作しません。

13 MTS/DUAL	*MTS*- MTS (マルチチャンネル テレビ ステレオ) モードを選択できます。

	音声タイプ	MTS/S_Mode	デフォルト
FM ステレオ	モノラル	モノラル	手動変更

ステレオ	モノラル ⇔ ステレオ	
SAP	モノラル ⇔ SAP	モノラル

DUAL-

STEREO/MONO、DUAL I / DUAL II および MONO/NICAM MONO/NICAM STEREO は、放送のタイプに応じて TV の視聴中にリモコンの DUAL ボタンで操作することができます。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

14 ENTER/PRE-CH

このボタンを使用して、前のチャンネルに直ちに戻ります。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

15 MUTE

音声の出力を一時的に停止（ミュート）します。これは画面の左下隅に表示されます。消音モードで MUTE または - VOL + が押されると、音声が再度聞こえるようになります。

16 ∨ CH/P ∧

TV モードで、TV のチャンネルを選択します。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

17 TV

アナログまたはデジタル TV を視聴することができます。

注意

TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

18 MENU

オンスクリーン メニューを開いたり、メニューを終了したり、調整メニューを閉じたりします。

19 RETURN

前のメニューに戻ります。

20 EXIT

メニュー画面を終了します。

21 MagicInfo

MagicInfo クイック起動ボタン

MagicInfo の使用

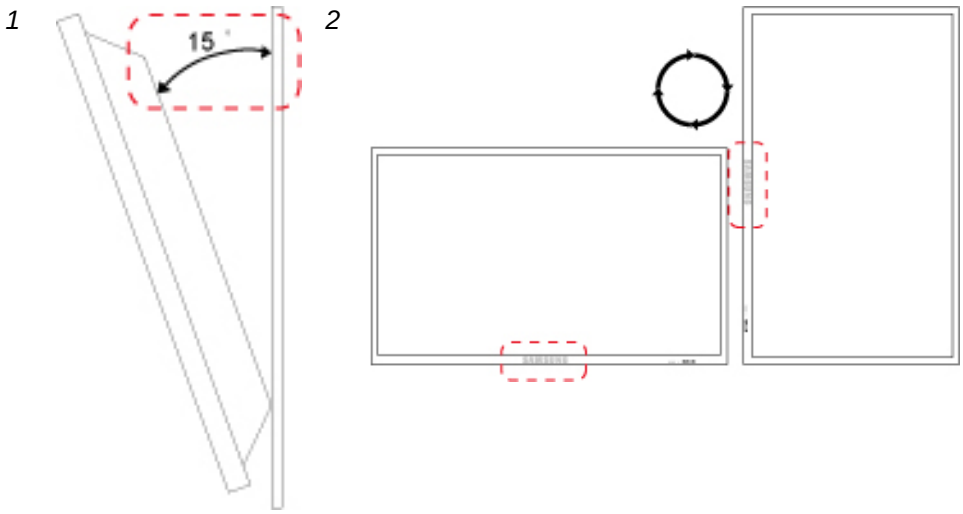
TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

ユーザー設置ガイド

注意

- 製品の設置については、Samsung Electronics の設置専門技術者にお問い合わせください。
- Samsung Electronics が承認した専門技術者以外が製品を設置した場合には、保証が無効になります。
- 詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

傾斜角度と回転

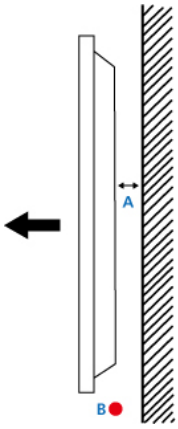


1. この製品は、垂直な壁面から最大 15 度まで傾けることができます。
2. 縦位置モードで使用するには、LED インジケータが下側にくるように時計回りに回転させます。

換気要件

1. 垂直の壁面に設置する場合

<側面図>



A :最低 40 mm

B:測定位置での気温が <35˚C

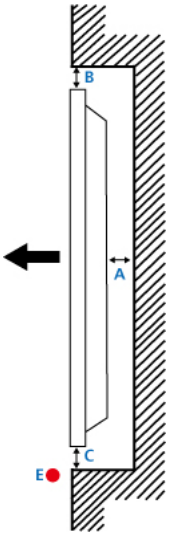
- 製品を垂直の壁面に設置する場合には、上の図に示すように製品の背面側に換気のための隙間を 40 mm 以上あけるようにして、周辺の気温が 35˚C 以下になるようにします。

注意

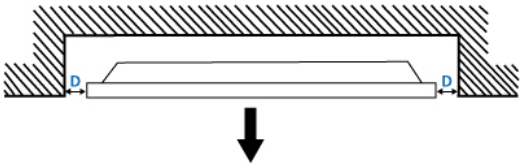
詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

2. 埋め込み設置ガイド

<側面図>



<上面図>



A :最低 40 mm

B :最低 70 mm

C :最低 50 mm

D :最低 50 mm

E :測定位置での気温が <35˚C

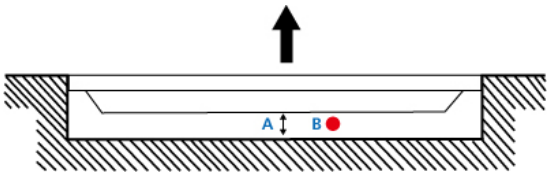
- 製品を垂直の壁面に埋め込む場合には、上の図に示すように製品の周辺に換気のための隙間をあけるようにして、周辺の気温が 35˚C 以下になるようにします。

注意

詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

3. 床置き設置ガイド

<側面図>



A :最低 50 mm

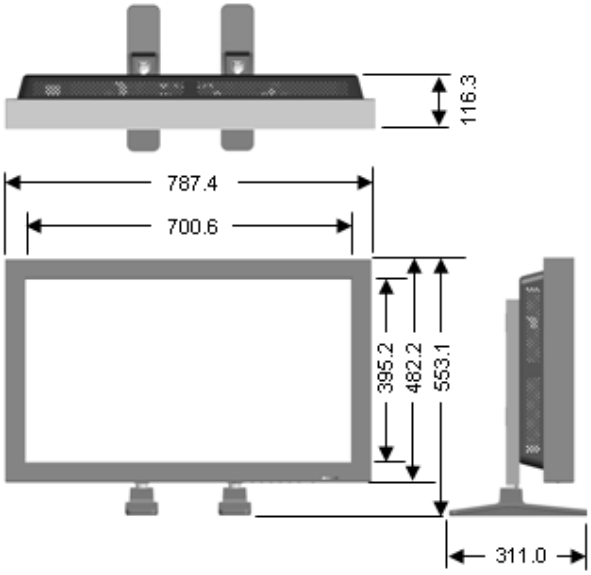
B:測定位置での気温が <20˚

- 製品を床面に埋め込んで設置する場合には、上の図に示すように製品の背面側に換気のための隙間を 50 mm 以上あけるようにして、周辺の気温が 20˚C 以下になるようにします。

注意

詳細については Samsung Electronics のサービス センターにお問い合わせください。

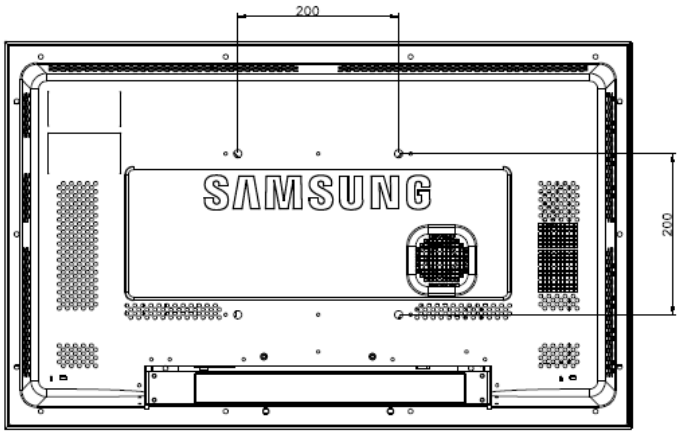
物理的レイアウト



オプションスタンド (別売品：別売を行わない地域もあります)

- VESA を取り付けるときには、国際 VESA 規格に準拠してください。
- VESA ブラケットの購入と設置についての情報:お近くの SAMSUNG 販売店にご注文ください。ご注文後、取り付け担当者がお伺いし、ブラケットの取り付けを行います。
- LCD ディスプレイを運搬するには、少なくとも 2 名の人員が必要です。
- SAMSUNG は、お客様による取り付けによって発生した損害および負傷について、責任を負うものではありません。

寸法

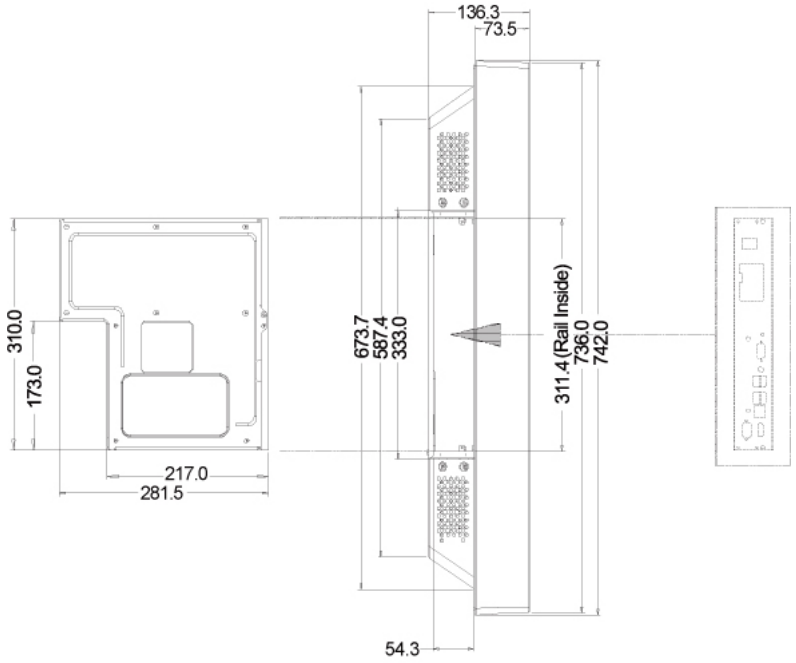


注意

ブラケットを壁に固定するには、6 mm 径で長さ 8 ～ 12 mm のネジだけを使用するようにしてください。

アクセサリ (別売り：別売を行わない地域もあります)

- 他のアクセサリを取り付けた場合の寸法



ウォールブラケットの取り付け

- ウォールブラケットの取り付けについては、技術者にご相談ください。
- お客様が自ら取り付けを行った場合には、SAMSUNG Electronics は製品の損傷およびお客様の傷害について責任を負いかねます。
- この製品は、セメント製の壁に設置するためのものです。この製品は、合板または木製の壁に取り付けることはできません。

部品

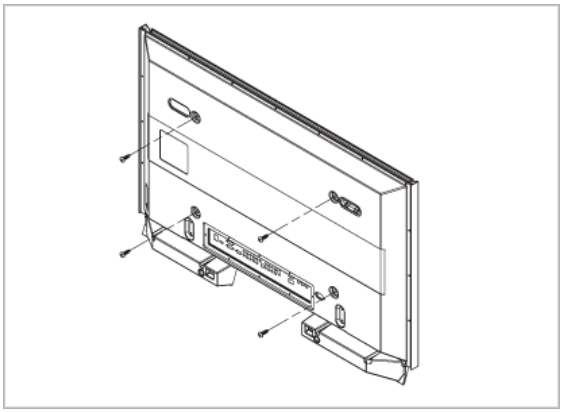
製品に付属している部品およびアクセサリのみを使用してください。

ウォール ブラケット (1)	ヒンジ (左 1、右 1)	プラスチック ハンガー (4)	ネジ (A) (11)	ネジ (B) (4)	アンカー (11)

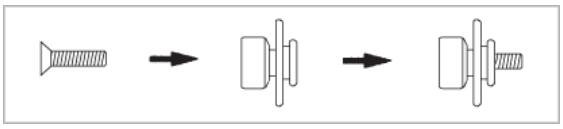
ウォール ブラケットに製品を取り付けるには

製品の形状はモデルによって異なります。(プラスティックハンガーおよびネジは同じです)

1. 製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。



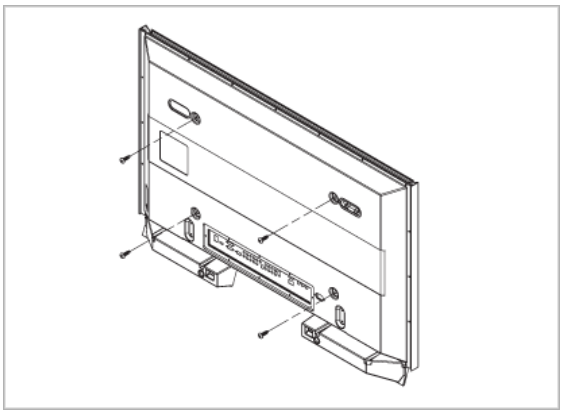
2. ネジ (B) をプラスチックハンガーに挿入します。



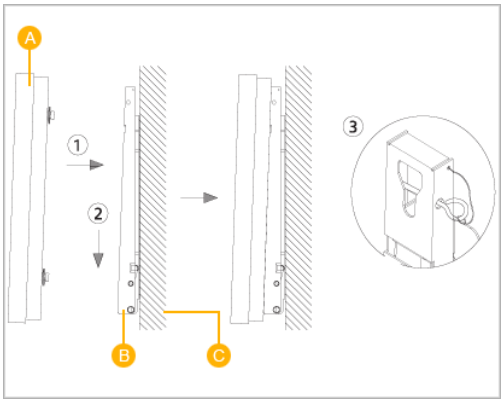
注意

- ウォールブラケットに製品を取り付けたら、左右のプラスチックハンガーに正しく固定されていることを確認してください。
- 製品をブラケットに取り付けるときには、穴に指が挟まれないように注意してください。
- ウォールブラケットが壁にしっかりと固定されていることを確認してください。取り付け後に製品が動いてしまうことがあります。

3. 手順 2 で取り付けた 4 本のネジ (プラスチック ハンガー + ネジ (B)) を、製品の背面の穴に固定します。



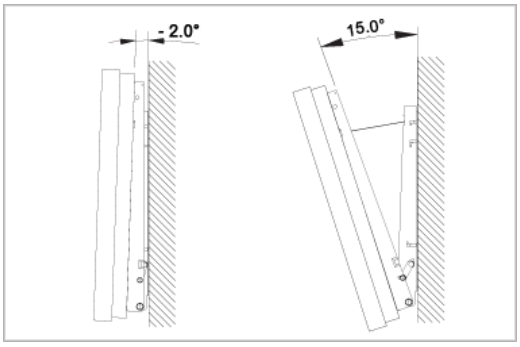
4. 安全ピン (3) を取り外して 4 個の製品ホルダーを対応するブラケット ホール (1) に挿入します。続いて、製品 (2) をブラケットにしっかりと固定されるように配置します。安全ピン (3) をしっかりと最挿入して締め付け、製品をブラケットに固定します。



A - LCD ディスプレイ
B - ウォールブラケット
C - 壁

ウォール ブラケットの角度調整

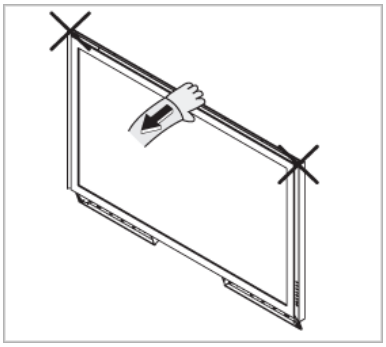
壁に取り付ける前に、ブラケットの角度を -2° に調整してください。



1. 製品をウォールブラケットに固定します。
2. 製品の上部中央を持ち、前 (矢印の方向) に引っ張って角度を調整します。

注意

ブラケットの角度は -2°～ 15° の範囲で調整できます。



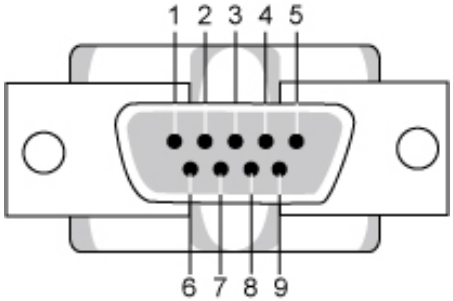
角度を調整する際に、製品の側面を持たないようにしてください。必ず製品の上部中央を持ってください。

リモコン (RS232C)

ケーブル接続

インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No.2) RxD (No.3) GND (No.5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15 m (シールド タイプのみ)

- ピン配置

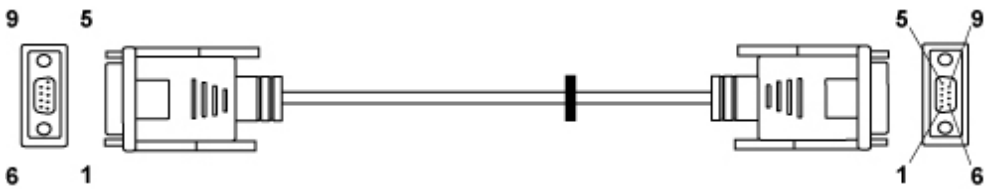


ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	データ端末レディ
5	信号グラウンド
6	データ セット レディ
7	送信要求
8	受信準備完了
9	リング インジケータ

- RS232C ケーブル

  コネクタ:9 ピン D-Sub

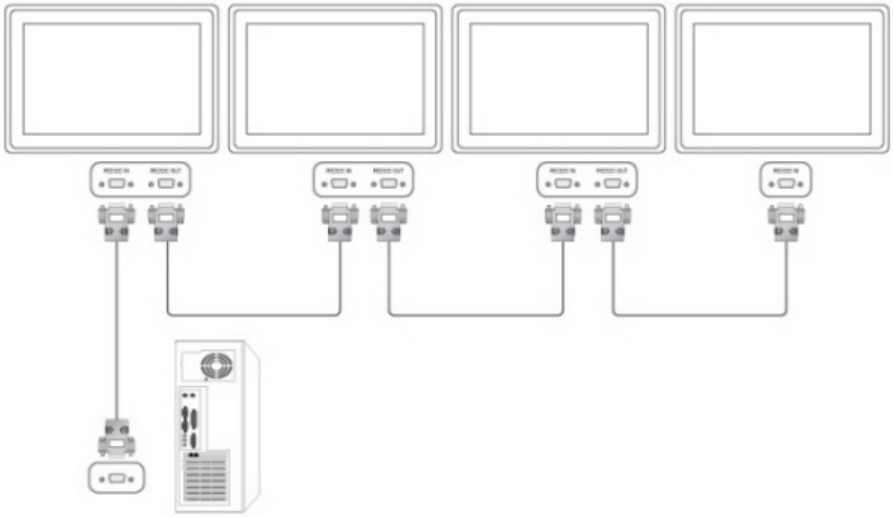
  ケーブル:クロス (反転) ケーブル



-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス	Rx	2	--------->	3	Rx	メス

Tx	3	<---------	2	Tx
Gnd	5	----------	5	Gnd

- 接続方法



制御コード

- Get コントロール

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		0	

- 制御の取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		1	値	

- コマンド語句

番号	コマンド タイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	-
4	画面モード制御	0x18	-
5	画面サイズ制御	0x19	0~255
6	PIP オン/オフ制御	0x3C	0~1
7	自動調整制御	0x3D	0
8	ビデオ ウォール モード制御	0x5C	0~1
9	安全ロック	0x5D	0~1

- ID は割り当てられた ID の 16 進数の値を示しますが、ID 0 は 0xFF でなければなりません。

- すべての通信は 16 進数で行われ、チェックサムはすべての残りの合計です。それが 2 桁を超える数になる場合、例えば 11+FF+01+01=112 のような場合には、以下に示すように最初の 1 桁を捨てます。

例) PowerOn&ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0x11		1	電源	

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	12
0xAA	0x11		1	1	

シリアルケーブルに接続されているすべてのメカニズムを ID に関係なく制御したい場合は、ID 部分を「0xFE」に設定してコマンドを送信します。そのとき、各 SET にはコマンドが続きますが、ACK には反応しません。

- 電源制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニタの電源をオン/オフします。

  - 電源のオン/オフステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

  - 電源のオン/オフ設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	電源	

    電源 :TV/モニタに設定する電源コード

    1 : 電源オン

    0 : 電源オフ

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x11	電源	

    電源 :同上

  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x11	ERR	

    ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 音量制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニタの音量を変更します。

  - 音量ステータスの取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

  - 音量の設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	音量	

    音量 :TV/モニタに設定する音量値コード (0 ～ 100)

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x12	音量	

    音量 :同上

  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x12	ERR	

    ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 入力信号制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニタの入力信号を変更します。

  - 入力信号ステータスの取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

  - 入力信号の設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	入力信号	

    入力信号 :TV/モニタに設定する入力信号

0x14	PC
0x1E	BNC
0x18	DVI
0x0C	AV
0x04	S-Video
0x08	コンポーネント
0x20	MagicInfo
0x1F	DVI_VIDEO
0x30	RF(TV)
0x40	DTV
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC
0x25	DisplayPort

警告

DVI_VIDEO, HDMI1_PC, HDMI2_PC → 取得のみ

MagicInfo の場合、MagicInfo を含むモデルでのみ可能

TV の場合、TV を含むモデルでのみ可能

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x14	入力信号	

入力信号 :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x14	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 画面モード制御

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニターの画面モードを変更します。

    画像分割 がオンになっているときには、制御できません。

    警告

    TV を含むモデルでのみ作動します。

- 画面モードステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x18		0	

- 映像サイズ設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x18		1	画面モード	

画面モード :TV/モニタに設定する画面モードコード

0x01	16 : 9
0x04	ズーム
0x31	ワイドズーム
0x0B	4 : 3

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x18	画面モード	

画面モード :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x18	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 画面サイズ制御

- 機能

パーソナルコンピュータが TV/モニタの画面サイズを認識します。

- 画面サイズステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x19		0	

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x19	画面サイズ	

画面サイズ :TV/モニタの画面サイズ (範囲 : 0 ～ 255、単位 : インチ)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x19	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- PIP (同時画面) オン/オフ制御

  - 機能

    PC が TV/モニタの PIP 機能をオン/オフします。

    これは MagicInfo モードでは作動しません。

  - PIP のオン/オフステータスを取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x3C		0	

  - PIP のオン/オフを設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3C		1	PIP (同時画面)	

PIP (同時画面) :TV/モニタに設定する PIP (同時画面) オン/オフコード

1 : PIP オン

0 : PIP オフ

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3C	PIP (同時画面)	

PIP (同時画面) :同上

  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x3C	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 自動調整制御 (PC、BNC のみ)

- 機能

  パーソナルコンピュータが PC システム画面を自動的に制御します。

- 自動調整ステータス取得

  なし

- 自動調整設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3D		1	自動調整	

  自動調整 :0x00 (常時)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3D	自動調整	

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x3D	ERR	

  ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- ビデオウォールモード制御

  - 機能

    ビデオウォール (画面分割) がオンのとき、パーソナルコンピュータが TV/モニタのビデオウォールモードを変換します。

    ビデオウォール (画面分割) がオンのとき TV/モニタでのみ作動します。

    MagicInfo では作動しません。

  - ビデオウォールモードの取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

  - ビデオウォールモードの設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	ビデオウォールモード	

    ビデオウォールモード :TV/モニタに設定するビデオウォールモードコード

    1 : **フルモード**

0 : **ナチュラルモード**

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x5C	ビデオウォールモード	

ビデオウォールモード :同上

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x5C	ERR	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

- 安全ロック

  - 機能

    パーソナルコンピュータが TV/モニタの安全ロック機能をオン/オフします。

    電源のオン/オフにかかわらず作動できます。

  - 安全ロックのステータス取得

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

  - 安全ロック有効化/無効化の設定

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	安全ロック	

    安全ロック :TV/モニタに設定するロックコード

    1 : オン

    0 : オフ

  - Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x5D	安全ロック	

    安全ロック :同上

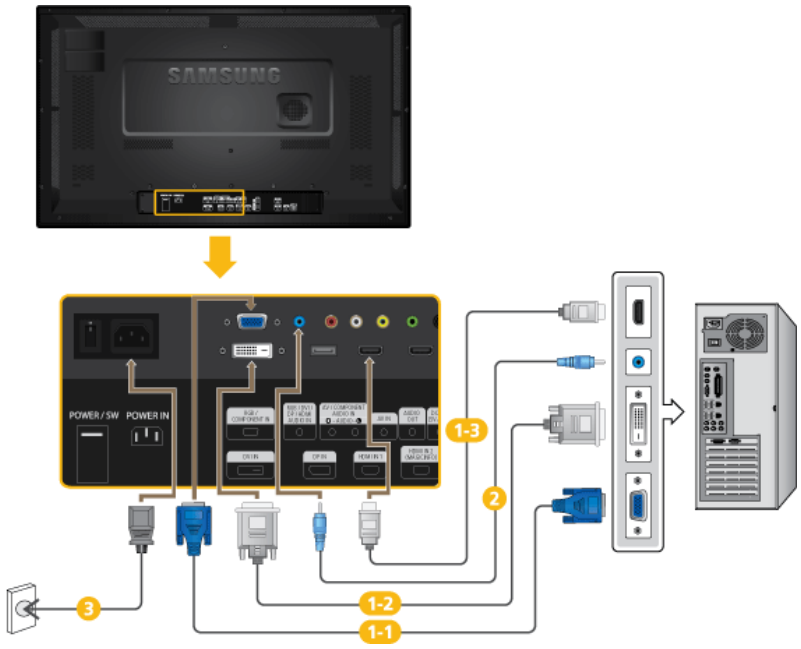
  - Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値 1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x5D	安全ロック	

ERR :発生したエラーを示すエラーコード

接続

コンピュータの接続



1 コンピュータをモニターに接続するにはいくつかの方法があります。以下のオプションから選択してください。

1-1 ビデオカードの D-sub (アナログ) コネクタを使用します。

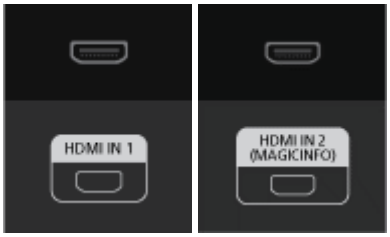
- D-sub は、LCD ディスプレイ背面の 15-pin の *[RGB/COMPONENT IN]* ポートとコンピュータの 15-pin D-sub ポートを接続します。

1-2 ビデオカードの DVI (デジタル) コネクタを使用します。

- DVI ケーブルは、LCD ディスプレイ背面の *[DVI IN]* ポートとコンピュータの DVI ポートを接続します。

1-3 ビデオカードの D-sub (デジタル) コネクタを使用します。

- LCD ディスプレイの *[HDMI IN 1]* / *[HDMI IN 2]* ポートと PC の HDMI ポートを HDMI ケーブルを使用して接続します。



注意

HDMI ケーブルで PC に接続しているときには、入力信号として **HDMI2** または **HDMI1** を選択します。

PC からの画像と音声を正常に出力するには、**外部入力名編集** で **PC** を選択する前に **HDMI2** または **HDMI1** を選択します。

DVI 装置 が選択されているときに音声を有効にするには、ステップ (2) を使用して接続されていることを確認します。

2. お使いのコンピュータのオーディオ ケーブルを、コンピュータ背面のオーディオ ポートに接続します。
3. LCD ディスプレイの電源コードを LCD ディスプレイ背面の電源ポートに接続します。電源スイッチをオンにします。

注意

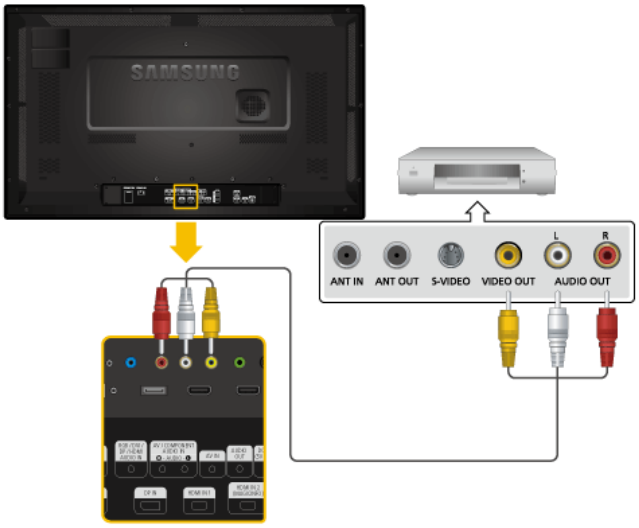
オプション品の購入については、SAMSUNG のお近くの販売店にお問い合わせください。

他のデバイスへの接続

注意

- お使いのコンピュータだけでなく、DVD プレイヤー、VCR またはカムコーダーなどの AV 入力機器を LCD ディスプレイに接続することができます。AV 入力デバイスの接続の詳細については、「LCD ディスプレイの調整」の内容を参照してください。
- LCD ディスプレイの背面の構成は、LCD ディスプレイのモデルによって若干異なる場合があります。

AV デバイスの接続



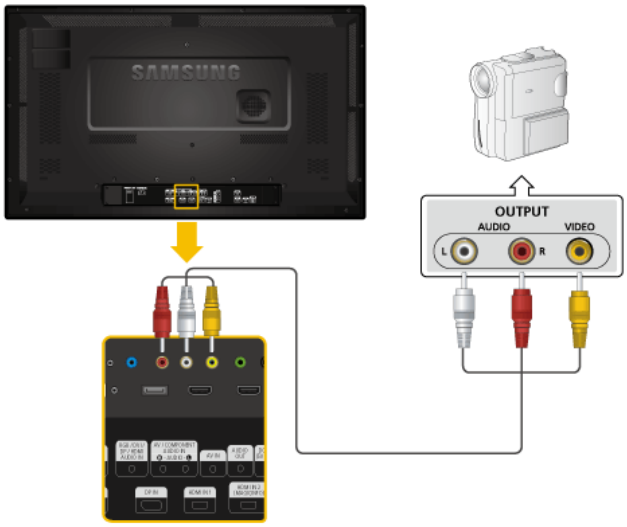
1. オーディオ ケーブルを製品の *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* と VCR や DVD プレイヤーなどの外部デバイスのオーディオ ポートに接続します。

2. ビデオ ケーブルを製品の *[AV IN]* と外部デバイスのビデオ出力ポートに接続します。

3. 次に、DVD またはテープを挿入して、DVD、VCR、またはカムコーダーをスタートさせます。

4. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**AV**」を選択します。

カムコーダーへの接続



1. カムコーダーの AV 出力ジャックの場所を確認します。通常は、カムコーダーの側面または背面にあります。カムコーダーの VIDEO OUTPUT ジャックと LCD ディスプレイの *[AV IN]* をビデオ ケーブルで接続します。

2. オーディオ ケーブルをカムコーダーの AUDIO OUTPUT ジャックと LCD ディスプレイの *[AV /COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* に接続します。

3. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**AV**」を選択します。

4. 続いて、テープを挿入したカムコーダーをスタートします。

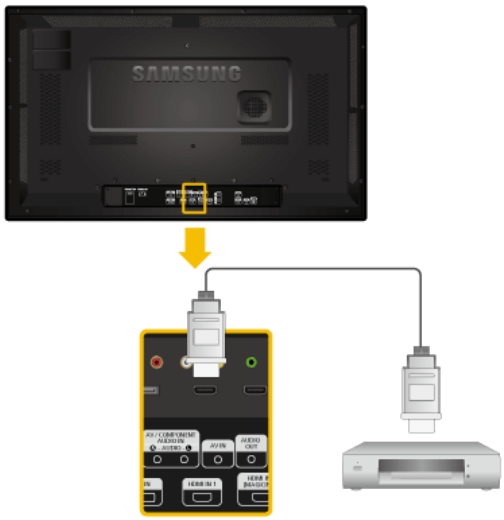
注意

ここに示した音声ビデオ ケーブルは、通常カムコーダーに付属しています。

(付属していない場合には、お近くの電器店でご購入ください)

カムコーダーがステレオの場合には、2 本のケーブルを接続する必要があります。

HDMI ケーブルを使用して接続する



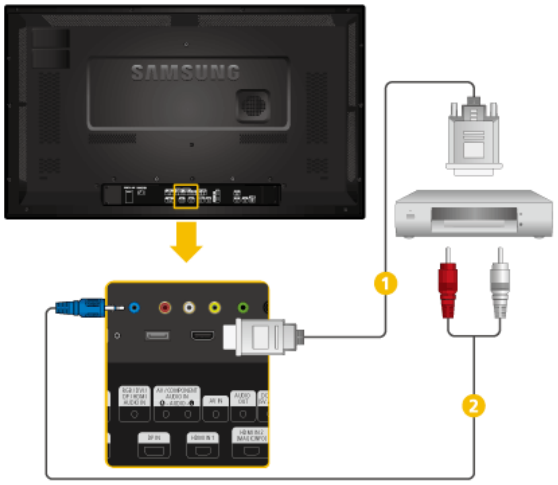
1. HDMI ケーブルを製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* または *[HDMI IN 1]* とデジタル デバイスの HDMI 出力ポートに接続します。

2. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**HDMI1 / HDMI2**」を選択します。

注意

HDMI モードでは、PCM フォーマットの音声のみサポートしています。

DVI - HDMI ケーブルを使用して接続する

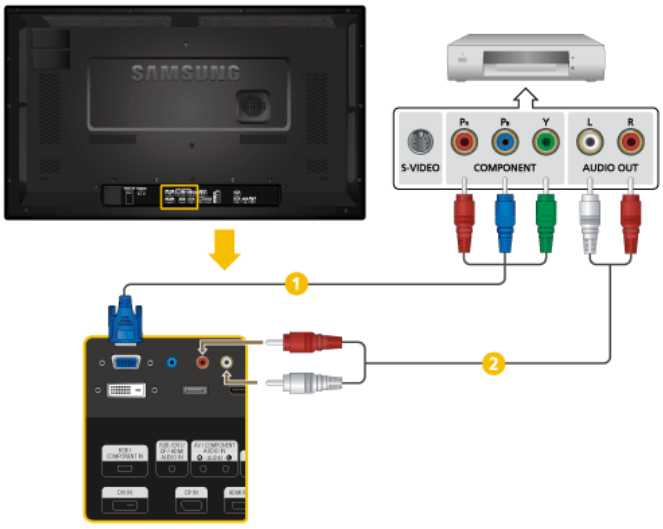


1. DVI-HDMI ケーブルを製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* または *[HDMI IN 1]* とデジタル デバイスの DVI 出力ポートに接続します。

2. RCA - ステレオ (PC 用) ケーブルの赤および白のジャックをデジタル出力デバイスの同じ色の音声出力端子に接続し、反対側のジャックを LCD ディスプレイの *[RGB/DVI/DP/HDMI AUDIO IN]* 端子に接続します。

3. 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**HDMI1 / HDMI2**」を選択します。

DVD プレイヤーの接続



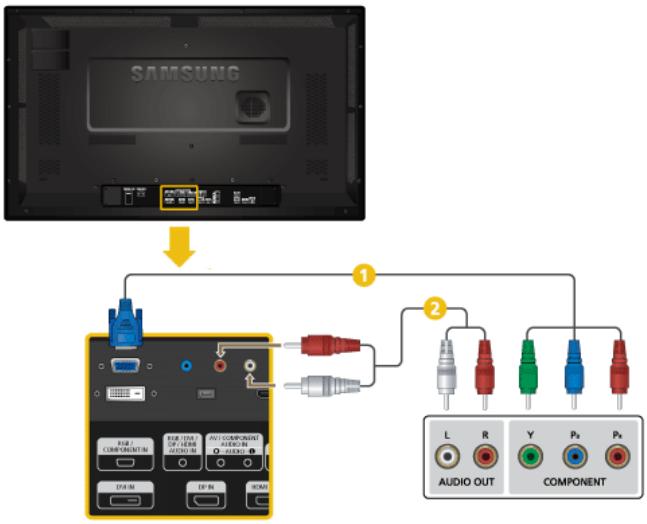
1. RGB to Component ケーブルで LCD ディスプレイの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートと DVD プレイヤーの P_R, Y, P_B ジャックを接続します。

2. オーディオ ケーブルのセットを LCD ディスプレイの *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* と DVD プレイヤーの AUDIO OUT ジャックの間に接続します。

注意

- 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**コンポーネント**」を選択します。
- 次に、DVD ディスクを挿入して DVD プレイヤーをスタートさせます。
- RGB to Component ケーブルはオプションです。
- コンポーネント ビデオについては、お使いの DVD のマニュアルを参照してください。

DTV セットトップ (ケーブル/衛星) ボックスの接続

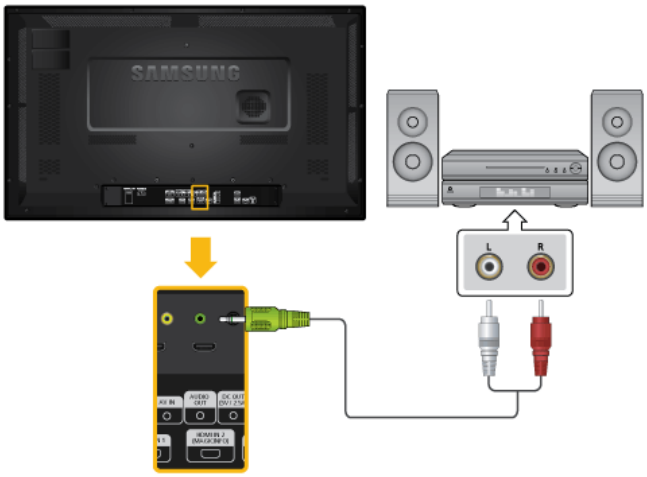


1. RGB to Component ケーブルで LCD ディスプレイの *[RGB/COMPONENT IN]* ポートとセットトップ ボックスの P_R, Y, P_B ジャックを接続します。
2. オーディオ ケーブルのセットを LCD ディスプレイの *[AV/COMPONENT AUDIO IN [R-AUDIO-L]]* とセットトップ ボックスの AUDIO OUT ジャックの間に接続します。

注意

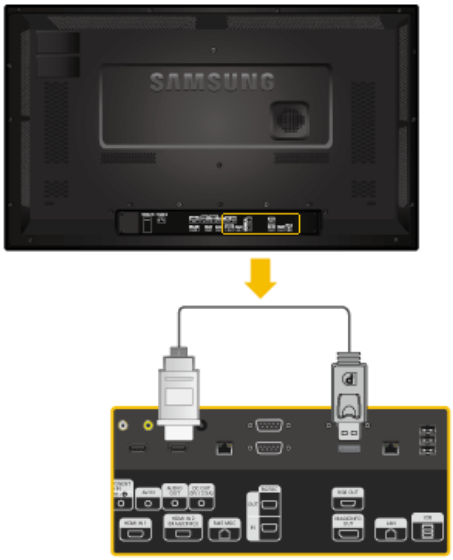
- 製品またはリモコンの *SOURCE* を押して「**コンポーネント**」を選択します。
- コンポーネント ビデオについては、お使いのセットトップ ボックスのマニュアルを参照してください。

オーディオ システムへの接続



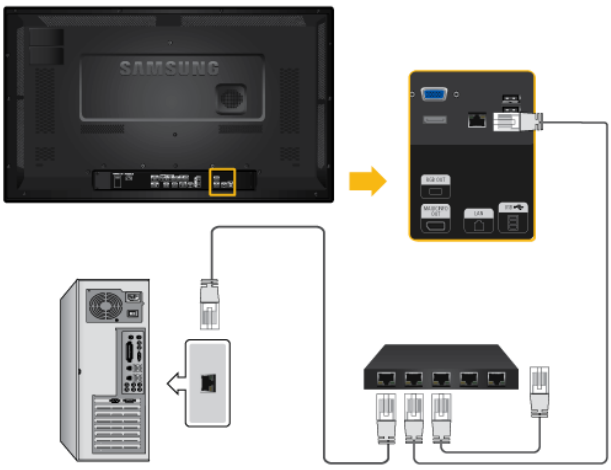
1. オーディオ システムの AUX L、R ジャックと LCD ディスプレイの *[AUDIO OUT]* をオーディオ ケーブルで接続します。

MAGICINFO OUT への接続



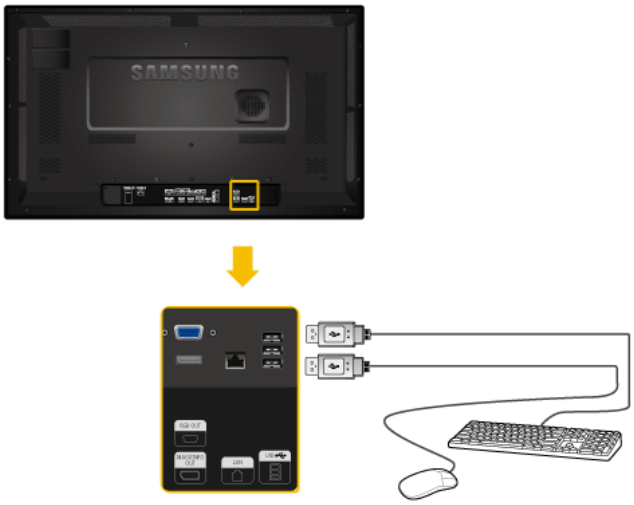
DP to HDMI ケーブルを使用して、[MAGICINFO OUT] 端子と製品の [HDMI IN 2 (MAGICINFO)] 端子を接続します。

LAN ケーブルの接続



製品の [LAN] ポートと PC の [LAN] ポートを LAN ケーブルで接続します。

USB デバイスの接続



マウスやキーボードなどの USB 機器を接続することができます。

ソフトウェアの使用

モニター ドライバ

注意

オペレーティング システム が モニタードライバを要求してきたら、このモニターに同梱されている CD-ROM を挿入して下しさい。インストール方法はオペレーティング システムによって多少異なります。お使いのオペレーティング システムに対応する指示に従ってください。

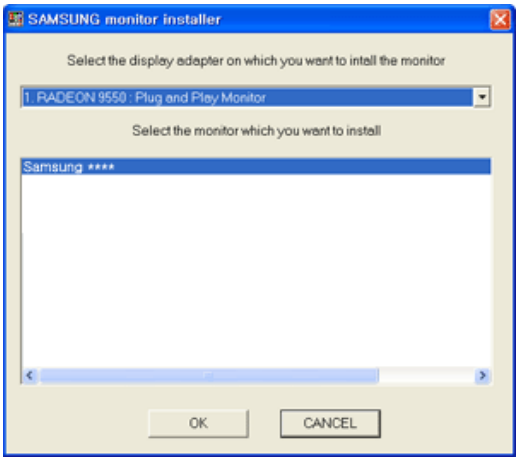
空のディスクを用意して、以下に示すインターネット Web サイトのドライバ プログラム ファイルをダウンロードします。

ハードディスクにコピーしてご利用ください。
インターネット Web サイト:

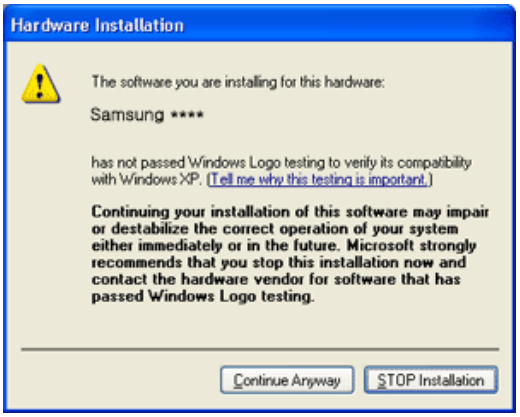
http://www.samsung.com/

モニター ドライバのインストール (自動)

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [Windows] をクリックします。
3. モデル一覧でお使いのモニターのモデルを選択し、["OK" (OK)] をクリックします。



4. 以下のメッセージが表示される場合には、["Continue Anyway" (続行)] ボタンをクリックします。続いて ["OK"] ボタン (Microsoft® Windows® XP/2000 オペレーティング システム) をクリックします。



注意

このモニター ドライバは Microsoft が承認したもので、インストールしてもシステムにダメージを与えることはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

http://www.samsung.com/

モニター ドライバのインストール (手動)

Microsoft® Windows Vista™、オペレーティング システム

1. マニュアル CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [ ] (スタート) をクリックし、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。次に、"デスクトップのカスタマイズ" をダブルクリックします。

3. ["Personalization" (個人設定)]、続いて ["Display Settings" (画面の設定)] をクリックします。

4. ["Advanced Settings..." (詳細設定...)] をクリックします。

5. ["Monitor" (モニタ)] タブで ["Properties" (プロパティ)] をクリックします。["Properties" (プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、モニターの設定が完了していないことを示しています。そのままでも、モニターを使用することは可能です。

   下の図に示すように ["Windows needs..." (Windows の設定が必要です...)] というメッセージが表示された場合には、["Continue" (続行)] をクリックします。

Generic PnP Monitor and NVIDIA GeForce 6600 LE (Microsoft Co...
Adapter
Monitor
Troubleshoot
Color Management
Monitor Type
Generic PnP Monitor
Properties
Monitor Settings
Screen refresh rate:
60 Hertz
Hide modes that this monitor cannot display
Clearing this check box allows you to select display modes that this monitor cannot display correctly. This may lead to an unusable display and/or damaged hardware.
OK
Cancel
Apply

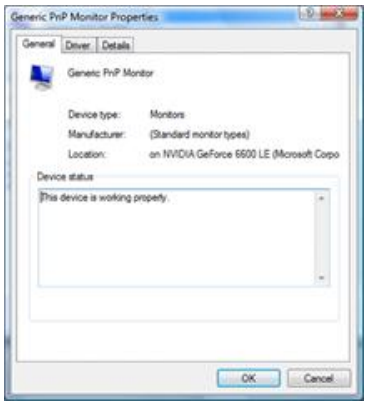
注意

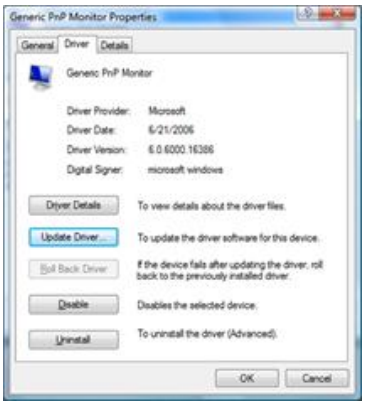
このモニター ドライバーは MS ロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

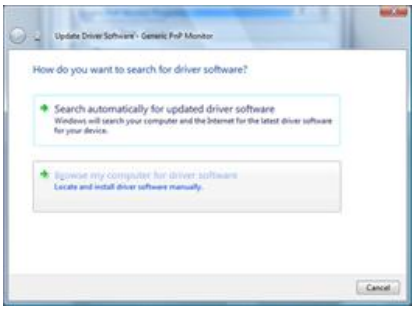
http://www.samsung.com/

6. ["Update Driver..." (ドライバのアップデート...)] タブで ["Driver" (ドライバ)] をクリックします。

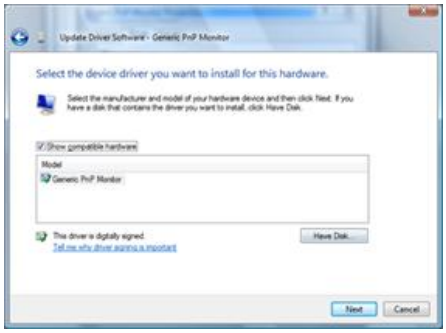


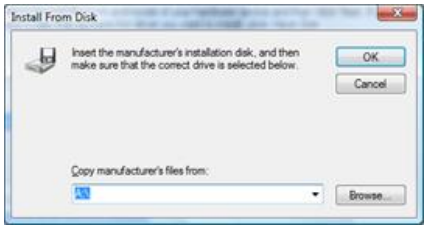


7. ["Browse my computer for driver software" (コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します)] チェックボックスをチェックして、["Let me pick from a list of device drivers on my computer" (コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します)] をクリックします。

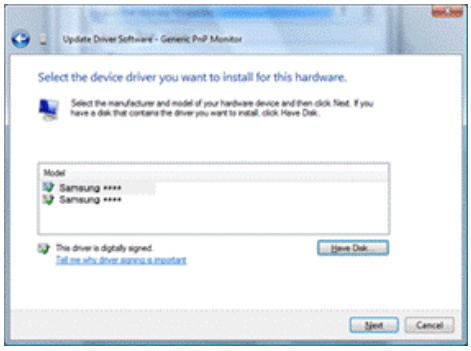


8. ["Have Disk..." (ディスク使用)] をクリックして、ドライバ セットアップファイルのあるフォルダ (たとえば D:\Drive) を選択し、[OK] をクリックします。

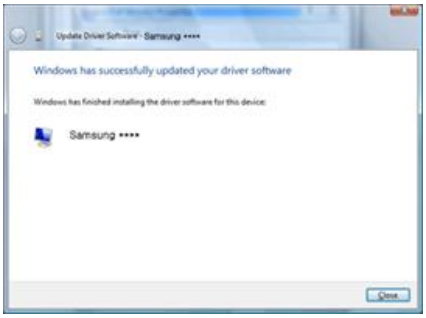


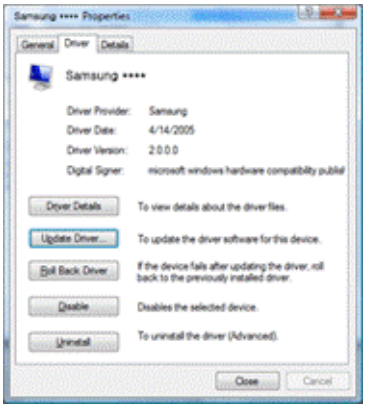


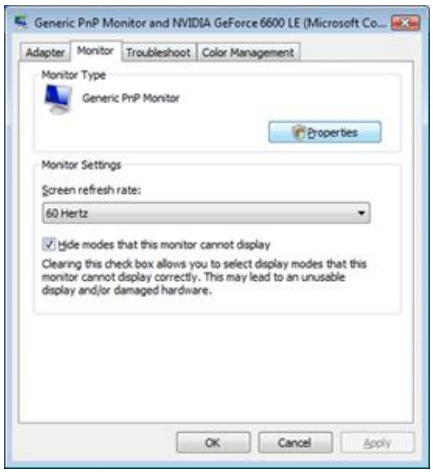
9. 画面上のリストからお使いのモニターモデルに一致するモデルを選択し、["Next" (次へ)] をクリックします。

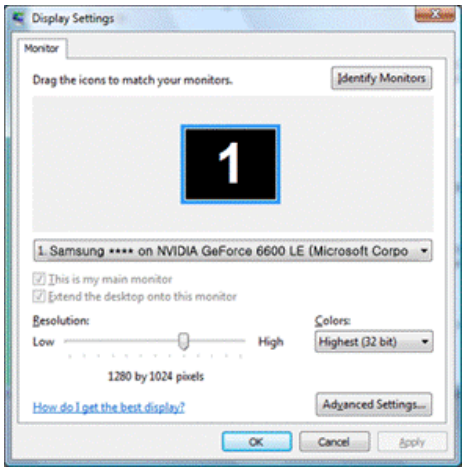


10. 続いて表示される画面で、["Close" (閉じる)] → ["Close" (閉じる)] →["OK" (OK)] → ["OK" (OK)]] をクリックします。



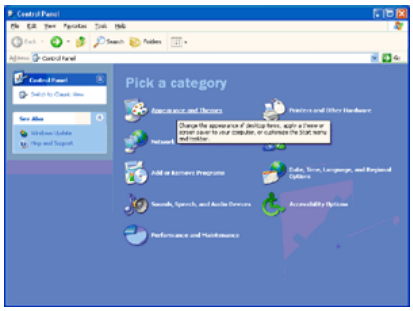



Generic PnP Monitor and NVIDIA GeForce 6600 LE (Microsoft Co...
Adapter
Monitor
Troubleshoot
Color Management
Monitor Type
Generic PnP Monitor
Properties
Monitor Settings
Screen refresh rate:
60 Hertz
Hide modes that this monitor cannot display
Clearing this check box allows you to select display modes that this monitor cannot display correctly. This may lead to an unusable display and/or damaged hardware.
OK
Cancel
Apply

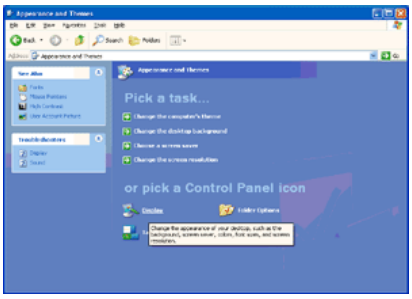


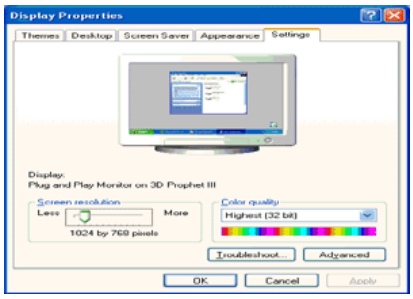
Microsoft® Windows® XP オペレーティング システム

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ["Start" (スタート)] → ["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックし、["Appearance and Themes" (デスクトップの表示とテーマ)] アイコンをクリックします。

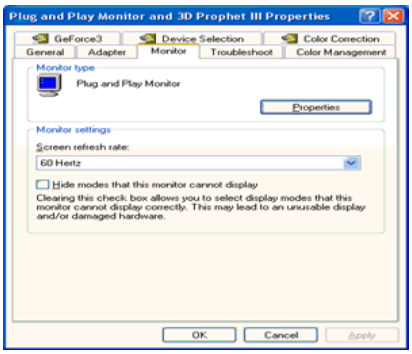


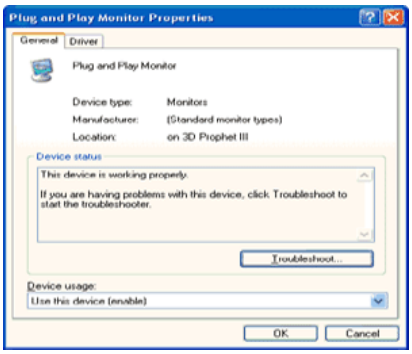
3. ["Display" (画面)] アイコンをクリックして ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced..." (詳細設定)] をクリックします。



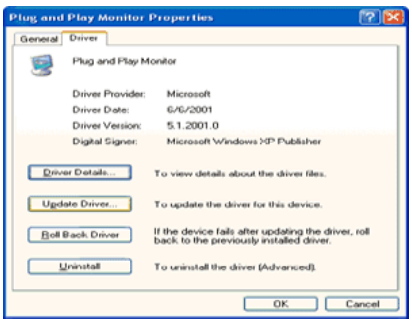


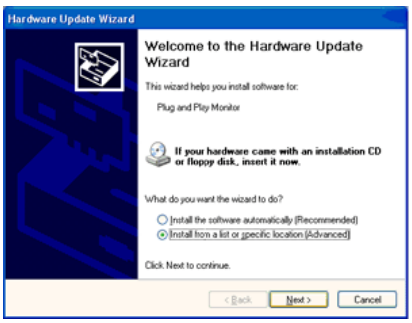
4. ["Monitor" (モニター)] タブで ["Properties" (プロパティ)] ボタンをクリックし、["Driver" (ドライバ)] タブを選択します。



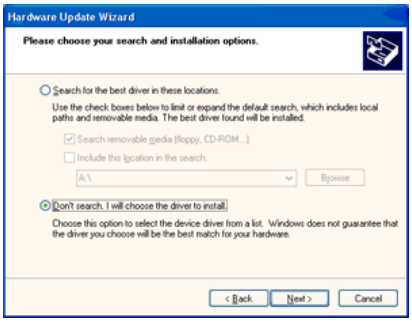


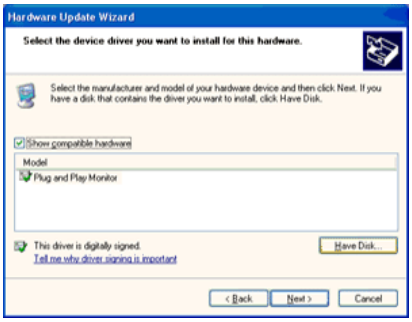
5. ["Update Driver..." (ドライバの更新...)] をクリックして、["Install from a list or..." (一覧または特定の場所からインストールする)] を選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。



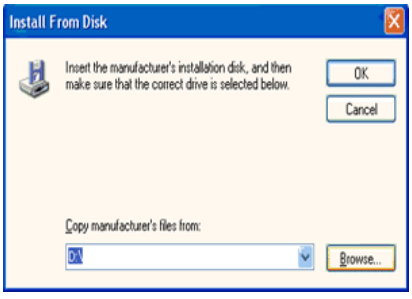

Hardware Update Wizard
Welcome to the Hardware Update Wizard
This wizard helps you install software for:
Plug and Play Monitor
If your hardware came with an installation CD or floppy disk, insert it now.
What do you want the wizard to do?
Install the software automatically (Recommended)
Install from a list or specific location (Advanced)
Click Next to continue.
< Back
Next >
Cancel

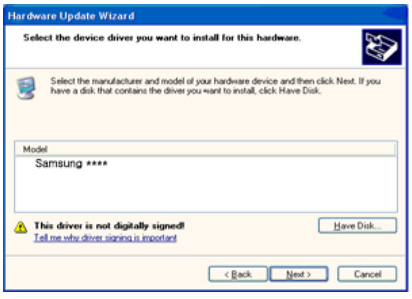
6. ["Don't search, I will..." (検索しないで、インストールするドライバを選択する)] を選択して [Next (次へ)] をクリックし、["Have disk" (ディスク使用)] をクリックします。


Hardware Update Wizard
Please choose your search and installation options.
Search for the best driver in these locations.
Use the check boxes below to limit or expand the default search, which includes local paths and removable media. The best driver found will be installed.
Search removable media (floppy, CD-ROM...)
Include this location in the search:
A:\
Browse
Don't search. I will choose the driver to install.
Choose this option to select the device driver from a list. Windows does not guarantee that the driver you choose will be the best match for your hardware.
< Back
Next >
Cancel

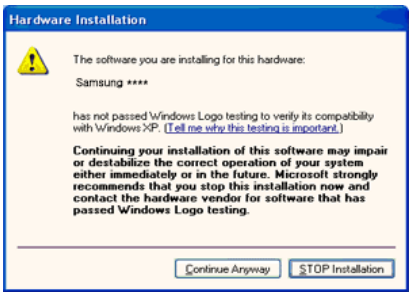

Hardware Update Wizard
Select the device driver you want to install for this hardware.
Select the manufacturer and model of your hardware device and then click Next. If you have a disk that contains the driver you want to install, click Have Disk.
Show compatible hardware
Model
Plug and Play Monitor
This driver is digitally signed.
Tell me why driver signing is important
Have Disk...
< Back
Next >
Cancel

7. ["Browse" (参照)] ボタンをクリックしてから A:(D:\Driver) を選択し、モデル一覧からお使いのモデルを選択して、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。




Hardware Update Wizard
Select the device driver you want to install for this hardware.
Select the manufacturer and model of your hardware device and then click Next. If you have a disk that contains the driver you want to install, click Have Disk.
Model
Samsung ****
This driver is not digitally signed!
Tell me why driver signing is important
Have Disk...
< Back
Next >
Cancel

8. 以下のメッセージが表示される場合には、["Continue Anyway" (続行)] ボタンをクリックします。続いて ["OK"] ボタンをクリックします。


Hardware Installation
The software you are installing for this hardware:
Samsung ****
has not passed Windows Logo testing to verify its compatibility with Windows XP. (Tell me why this testing is important.)
Continuing your installation of this software may impair or destabilize the correct operation of your system either immediately or in the future. Microsoft strongly recommends that you stop this installation now and contact the hardware vendor for software that has passed Windows Logo testing.
Continue Anyway
STOP Installation

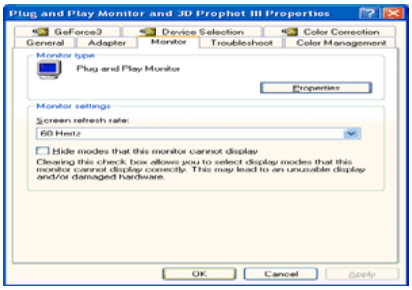
注意

このモニター ドライバは Microsoft が承認したもので、インストールしてもシステムにダメージを与えることはありません。

承認済みのドライバは、Samsung モニターのホームページに掲載されます。

http://www.samsung.com/

9. [Close (閉じる)] ボタンをクリックし、続けて [OK] ボタンをクリックします。



10. モニター ドライバのインストールが完了します。

Microsoft® Windows® 2000 オペレーティング システム

モニター上に["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] と表示された場合は、以下の手順を行います。

1. ["Insert disk" (ディスク挿入)] ウィンドウで ["OK" (OK)] ボタンを選択します。
2. ["File Needed" (必要なファイル)] ウィンドウで ["Browse" (参照)] ボタンをクリックします。
3. A:(D:\Driver) を参照してから ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続いて ["OK"] ボタンをクリックします。

インストール方法

1. ["Start" (スタート)]、["Setting" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。

2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
4. ["Monitor" (モニタ)] を選択します。

   ケース 1:["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効でない場合には、モニターが適切に設定されていることを意味します。インストールを中止してください。

   ケース 2:[Properties (プロパティ)] ボタンが有効になっている場合には、[Properties (プロパティ)] ボタンをクリックして次の手順に進みます。
5. ["Driver" (ドライバ)] をクリックし、続いて ["Update Driver..." (ドライバの更新...)] をクリックして ["Next" (次へ)] をクリックします。
6. ["Display a list of the known drivers for this device so that I can choose a specific driver" (このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する)] を選択して ["Next" (次へ)] をクリックし、["Have disk" (ディスク使用)] をクリックします。
7. ["Browse" (参照)] ボタンをクリックして A:(D:\Driver) を選択します。
8. ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続けて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
9. お使いのモニターのモデルを選択して、[Next (次へ)] ボタンをクリックします。続いて [Next (次へ)] ボタンをクリックします。
10. ["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

    ["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] というウィンドウが表示された場合には、["Yes" (はい)] ボタンをクリックします。[Finish (完了)] ボタンをクリックし、続いて [Close (閉じる)] ボタンをクリックします。

Microsoft® Windows® Millennium オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)]、["Setting" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
4. ["Monitor" (モニタ)] タブを選択します。
5. ["Monitor Type" (モニタ タイプ)] 領域で、["Change" (変更)] ボタンをクリックします
6. ["Specify the location of the driver" (ドライバの場所を指定)] を選択します。
7. ["Display a list of all the driver in a specific location..." (特定の場所にあるすべてのドライバ一覧を表示し、インストールドライバを選択する)] を選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
8. ["Have Disk" (ディスク使用)] ボタンをクリックします。
9. A:\ (D:\driver) を指定して、["OK"] ボタンをクリックします。
10. ["Show all devices" (すべてのデバイスを表示)] を選択し、コンピュータに接続されているものに対応するモニターを選択して、["OK" (OK)] をクリックします。
11. [画面のプロパティ] ダイアログボックスが閉じるまで、["Close" (閉じる)] ボタンをクリックしてから ["OK" (OK)] ボタンをクリックする操作を繰り返します。

Microsoft® Windows® NT オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)]、["Settings" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックし、続いて ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。

2. [登録情報の表示] ウィンドウで、[設定] タブをクリックしてから ["All Display Modes" (すべての表示モード)] をクリックします。

3. 使用したいモード (解像度、色数および垂直周波数) を選択し、OK をクリックします。

4. ["Apply" (適用)] ボタンをクリックし、["Test" (テスト)] をクリックして画面が正常に表示されるか確認します。画面が正常に表示されない場合には、別のモード (解像度、色数または周波数がより低いモード) に変更します。

注意

[すべての表示モード] にモードが表示されない場合には、ユーザー ガイドのプリセット タイミング モードを参照して、解像度と 垂直周波数 を選択します。

IRTOUCH

タッチスクリーン コントロール パネルによるドライバのインストール

デスクトップのショートカットをダブルクリックするか、[スタート] -> [すべてのプログラム] -> [IR-TouchSystems] -> [TouchScreen Control Panel] (図 5) に移動して、タッチスクリーンのコントロール パネルを開きます。

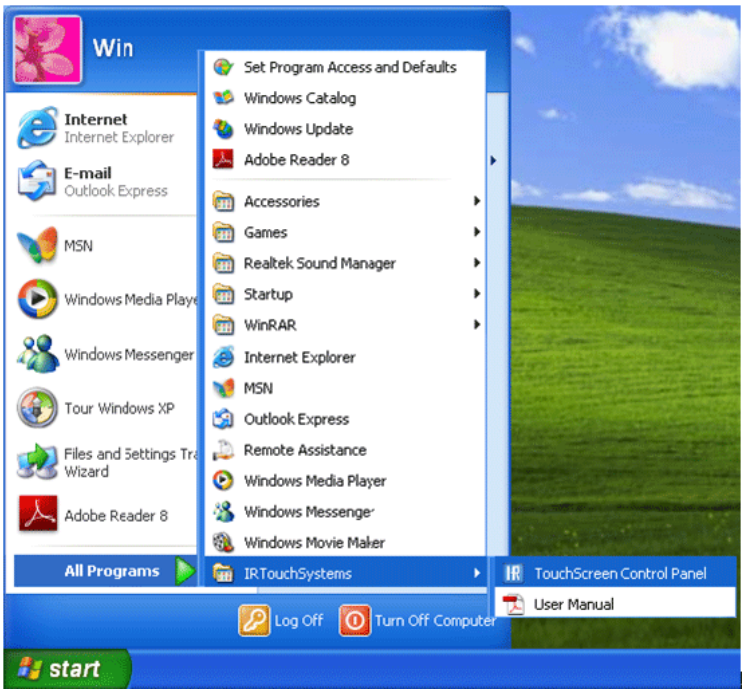


図 (5)

コントロール パネルの全般メニュー

図 (6)

1. Mapping

コントロール パネルを使って、USB 接続の調整や設定を行い、同じ PC に接続された複数のタッチスクリーンをサポートすることができます。このパネルには、タッチスクリーンの基本情報が表示され、キャリブレーションを行うことができます。PC に複数のタッチスクリーンが取り付けられていて、ステータスが「multi-screens display」に設定されている場合には、Touchscreen List に複数のタッチスクリーンが表示されます。[Mapping] を使用して、それぞれのタッチスクリーンを選択してキャリブレーションすることができます。これを行わなければタッチスクリーンは機能しません。複数のタッチスクリーンの設定は、以下の手順に従ってください。[Mapping] をクリックして、各モニターの中央に優先順位の順にボタンマークを表示させます。ボタンマークの中央をクリックして、取り付けられているタッチスクリーンを確認します。タッチスクリーンについての情報がない場合には、Esc を押すか 30 秒待つと、プログラムが現在のタッチスクリーンの設定をスキップして自動的に次のタッチスクリーンに移動します。

2. Calibrate

この機能は、シングル モードとデュアルビュー モードで動作します。キャリブレーションするタッチスクリーンを選択するリストで [Calibrate] をクリックします。赤い円をタップしてすべてが青のアイコンに変わったら、キャリブレーションは完了です。

3. Region Calibrate

この機能はすべてのモード、特にデュアル モード (横位置または縦位置モード) で使用できます。

手順

1. タッチスクリーン コントロール パネルの [TouchScreen List] で、[Calibrate of the TouchScreen] を選択して [Region Calibrate] をクリックします。

2. キャリブレーション領域をドラッグします。200 x 200 以上の大きさにします。

3. 4 点のキャリブレーションが終了したら、選択した領域だけをタッチできるようになります。

キャリブレーションを行うには、以下の手順に従ってください。情報リストからタッチスクリーンを選択し、キャリブレーション ウィンドウが表示されたら [Calibrate] ボタンをクリックします。4 個の標的の中心に順に触れて、キャリブレーションを完了します。キャリブレーションを終了するには、[Esc] ボタンを押します。キャリブレーション後、[ReCalibrate]、[OK] および [Cancel] ボタンが表示され

ます。再度キャリブレーションを行うには [ReCalibrate] を、保存して終了するには [OK] を、保存せずに終了するには [Cancel] を選択します。

設定

設定ウィンドウは 8 つの領域に分かれています (図 7)。

1. Modes
2. Enable Touch
3. Hide Cursor
4. Enable Double Click
5. Enable Right Click
6. Enable Drag Delay
7. Enable Delay Touch
8. Enable Beep

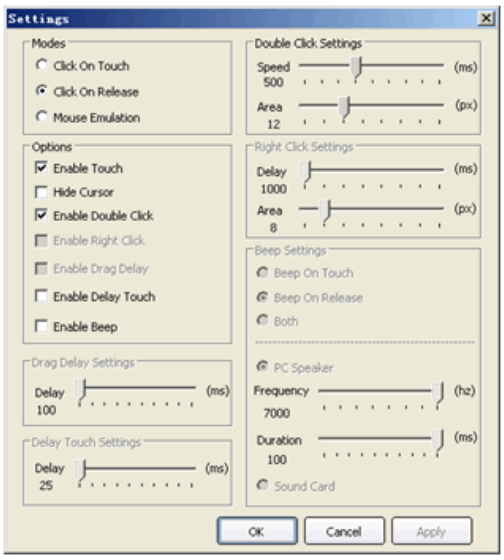


図 (7)

モード

3 つのタッチ モードがあります。“Click on touch,” “Click on Release,” “Mouse Emulation.”

1. Click on touch

指がタッチスクリーンに触れると、クリックとして認識されます。オブジェクトをドラッグできない点に注意してください。タッチスクリーンはこのモードで応答が最も速くなり、大型ボタンを使う用途にはこのモードをお勧めします。

2. Click on Release

これがデフォルトのモードになっています。指を画面から離したときにクリックとして認識されます。このモードでは正確なコントロールを行うことができ、POS やその他の Web アプリケーションなど、小型のボタンやハイパーリンクを使用する用途にお勧めします。

3. Mouse Emulation

左クリック、移動、クリック解除、ドラッグなどのマウス機能をエミュレートします。この機能は、文章入力、描画、地図のドラッグが必要な場合に推奨されます。

オプション

1. Enable Touch

タッチスクリーンを有効 (デフォルト) または無効にします。

2. Hide Cursor

アプリケーションによってはマウス カーソルを使用しないものがあります。この機能により、マウス機能を無効にすることなくカーソルを非表示にすることができます。これは大型のボタンを使用してアニメーションを再生したり、Click On Touch モードを使用する教育用アプリケーションにお勧めします。

3. Enable Double Click

ダブルクリックは、マウスと同様にタッチスクリーンでも機能します。画面上を素早く続けて 2 回タップします。“Double Click Settings で、ダブルクリックの反応を最適な状態に調整することができます。“Speed は、ミリ秒単位で設定します。値を大きくすると、ダブルクリックとして認識される 2 回のクリックの間隔が長くなります。“Area (ピクセル単位) で、ダブルクリックとして認識される 2 回のクリックの距離を増減させます。値 (ピクセル単位) を大きくすると、タッチスクリーンがダブルクリックをより敏感に検出するようになります。ダブルクリックは、Click on touch、Click on Release、および Mouse Emulation モードでサポートされています。

4. Enable Right Click

右クリック機能を有効にします。画面の任意の部分を 2 秒間押したままにします。コンテキスト メニューが表示されます。右クリック機能は、マウス エミュレーション モードのみで使用することができます。コンテキスト メニューが表示されるまでの時間は、[Right Click Settings] の [Delay] で調整できます。

注意

値を大きくすると、コンテキスト メニューが表示されるのが遅くなります。“Delay は、ミリ秒単位で設定します。[area] は、エラー限界内に収まるタッチ画面のゆらぎ範囲 (ピクセル単位) を決定します。値を大きくするほどゆらぎの範囲が広がります。コンテキスト メニューは、画面のこの範囲を指で押し続けている間表示されます。

5. Enable Drag Delay

この機能は、オプションがクリックされた後に [Drag Delay] が有効になる時間をミリ秒単位で表示します。オブジェクトが正確に選択できない、またはタッチスクリーンに触れるとカーソルが揺らぐ場合には、ドラッグ遅延を (ミリ秒単位で) 調整できます。

6. Enable Delay Touch

この機能を有効にすると、タッチスクリーンは素早いタッチや画面をひっかく動作には反応しなくなります。このモードは、画面の指定した領域を一定時間押す必要がある場合に便利です。

7. Enable Beep

この機能により、PC の内蔵スピーカーからのビープ音を有効または無効にし、ビープ音のサイクルと高さを設定します。[Enable touch] を選択してから [Apply] ボタンを押してビープ音を有効または無効にすることができます。3 つのビープ音モードがあります。 “Beep on touch,” “Beep on Release,” “Both.”

1. Beep on touch : 指がタッチスクリーンに触れると、クリックとして認識されます。

2. Beep on Release : 指がタッチスクリーンから離れるとクリックとして認識されます。

3. Both : 指がタッチスクリーンに触れ、再度画面から離れたときにクリックとして認識されます。

4. PC Speaker : ドライバをインストールすると、PC カードが起動したときにデフォルトでビープ音が鳴ります。ビープ音のサイクルと音を変更することができる。

5. Sound Card : サウンド カード経由で音が再生されます。

注意

ハードウェアの状況とその他の要素に応じて、性能を最大化するようにパラメータを設定できます。

ドライバのアンインストール

[コントロール パネル] -> [プログラムの追加と削除] (図 8) をダブルクリックして、[IRTOUCHSYSTEMS TouchScreen Driver] を選択して [Remove] をクリックし、ドライバをアンインストールします。

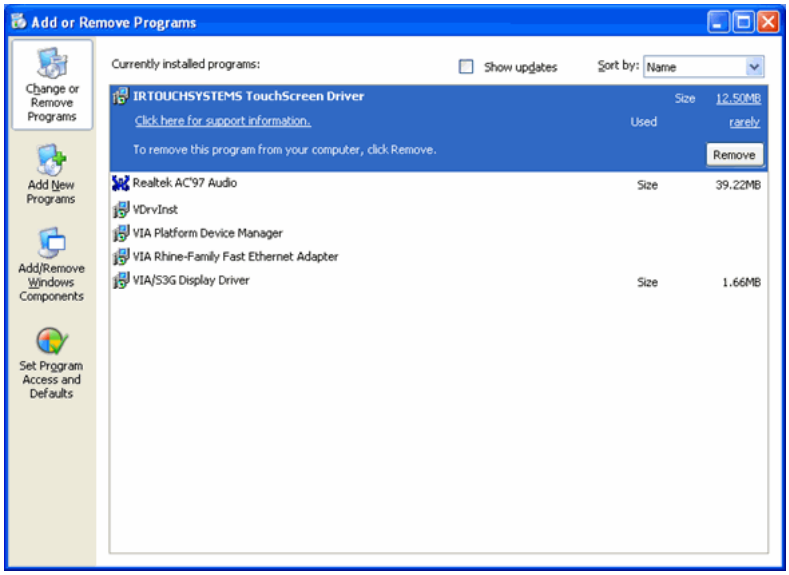
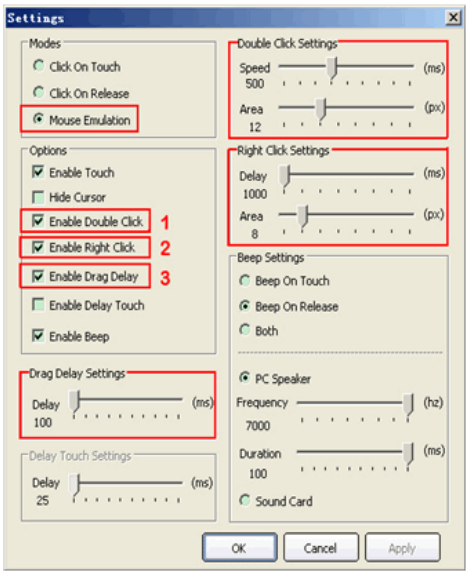


図 (8)

タッチスクリーンの一般的な設定 (参考)

Mouse Emulation モードを選択し、続いて Enable Touch、Send Right Click、and “Enable Double Click を選択します。For general use、Enable Delay Touch はタッチスクリーンの応答が遅くなるため推奨されません。タッチスクリーンは、画面を素早くタップしたりドラッグすると応答しません。



インストール

1. Enable Double Click

ダブルクリックは、マウスと同様にタッチスクリーンでも機能します。画面上のオブジェクトを 2 回素早く続けてタップすると、オブジェクトが開きます。“[Speed] は 500 ～ 550 ミリ秒に、[Area] は 32 ピクセルに設定します。

2. Enable Right Click

右クリック機能を有効にします (デフォルト)。

画面の任意の部分を 2 秒間押したままにします。コンテキスト メニューが表示されます。右クリック機能は、マウス エミュレーション モードのみで使用することができます。“[Delay] は 1000 ミリ秒 (1 秒) に、[Area] は 32 ピクセルに設定します。

3. Enable Drag Delay

この機能は、オプションに触れた後に [Drag Delay] が有効になる時間をミリ秒単位で表示します。オブジェクトが正確に選択できない、またはタッチスクリーンに触れるとカーソルが揺らぐ場合には、ドラッグ遅延を (ミリ秒単位で) 調整できます。

MDC (Multiple Display Control)

インストール方法

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. MDC System のインストール プログラムをクリックします。

   注意

   ソフトウェアのインストール画面が表示されない場合には、CD-ROM の MDC フォルダにある MDC System 実行ファイルを使用してインストールします。
3. インストール ウィザードの画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。
4. 「License Agreement」画面が表示されます。[Yes] をクリックします。
5. 「Customer Information」ウィンドウが表示されます。ユーザー情報を登録して [Yes] をクリックします。
6. 「Choose Destination Location」ウィンドウが表示されます。インストールするファイルの場所を指定して [Next] をクリックします。

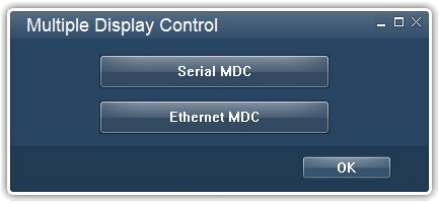
注意

ファイルの場所を指定しない場合には、プログラムはデフォルトの場所にインストールされます。

7. 「Start Copying Files」ウィンドウが表示されます。ファイルの場所を確認して [Next] をクリックします。
8. インストールの進行状況を示す画面が表示されます。
9. 「InstallShield Wizard Complete」画面が表示されます。[Finish] をクリックします。

注意

[Launch MDC System]を選択し、[Finish] をクリックします。MDC プログラムが直ちに実行されます。



10. インストールが正常に完了したら、MDC System を素早く実行できるアイコンがデスクトップに表示されます。

MDC 実行アイコンは、コンピュータ システムまたはモニターの仕様によっては表示されない場合があります。表示されない場合には、F5 キーを押してください。

インストール時のトラブル

MDC のインストールは、ビデオ カード、マザーボードおよびネットワーク環境の影響を受けます。

アンインストール

MDC プログラムは、Windows® コントロールパネルの ["Add or Remove Programs" (プログラムの追加と削除)] オプションでのみ削除することができます。

MDC を削除するには、以下の手順に従います。

["Start" (スタート)] メニューの ["Setting/Control Panel" (設定/コントロール パネル)] を選択し、["Add/Delete a program" (プログラムの追加と削除)] をダブルクリックします。

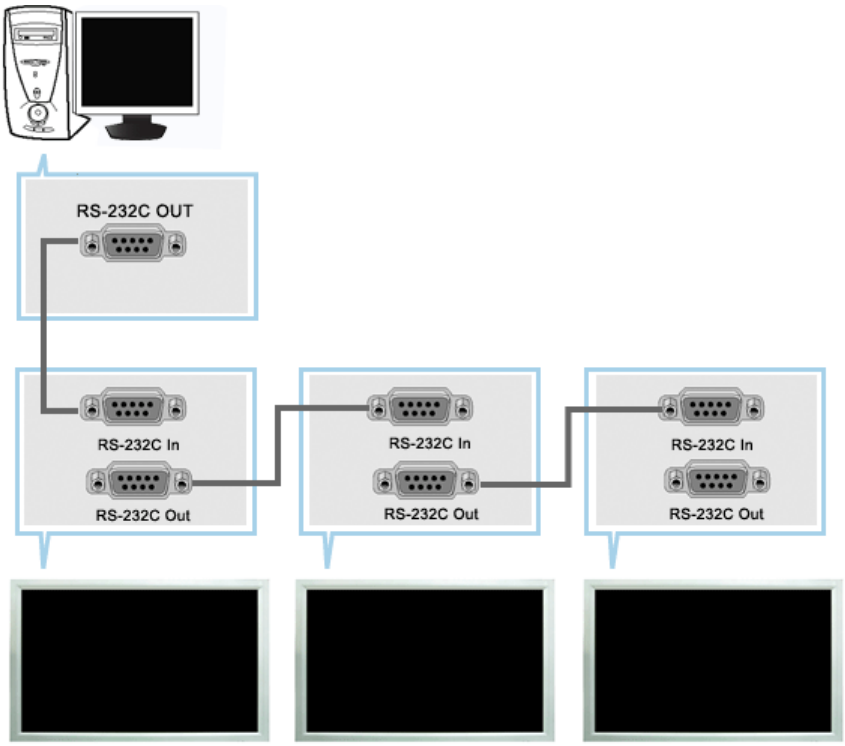
リストから MDC System を選択し、["Add/Delete" (変更と削除)] ボタンをクリックします。

■ Serial MDC の使用

■ Ethernet MDC の使用

Multiple Display Control
MDC System

準備

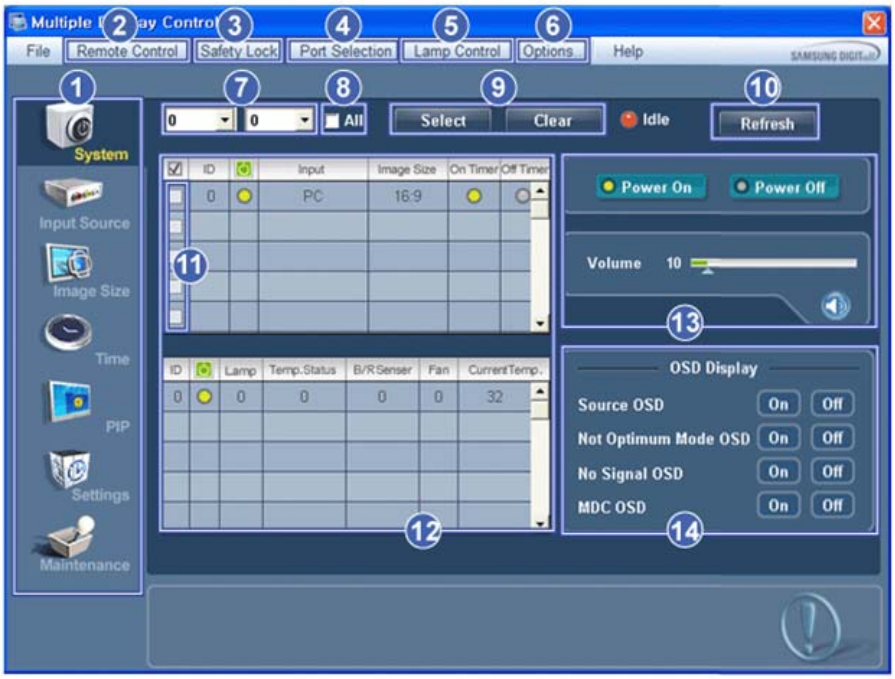


マルチディスプレイコントロール(MDC)は、様々な表示をPC上で容易にしかも一度に作動させることができるアプリケーションです。シリアル通信の規格 RS-232Cは、PCとディスプレイ間の通信のために使用されます。そのために、シリアルケーブルが、PC上のシリアルポートとディスプレイにあるシリアルポート間を接続する必要があります。

メイン画面

スタート > プログラム > マルチディスプレイコントロールの順にクリックし、プログラムをスタートさせます。

セットを選択して、スライダ内で選択されたセットのボリュームを見ます。



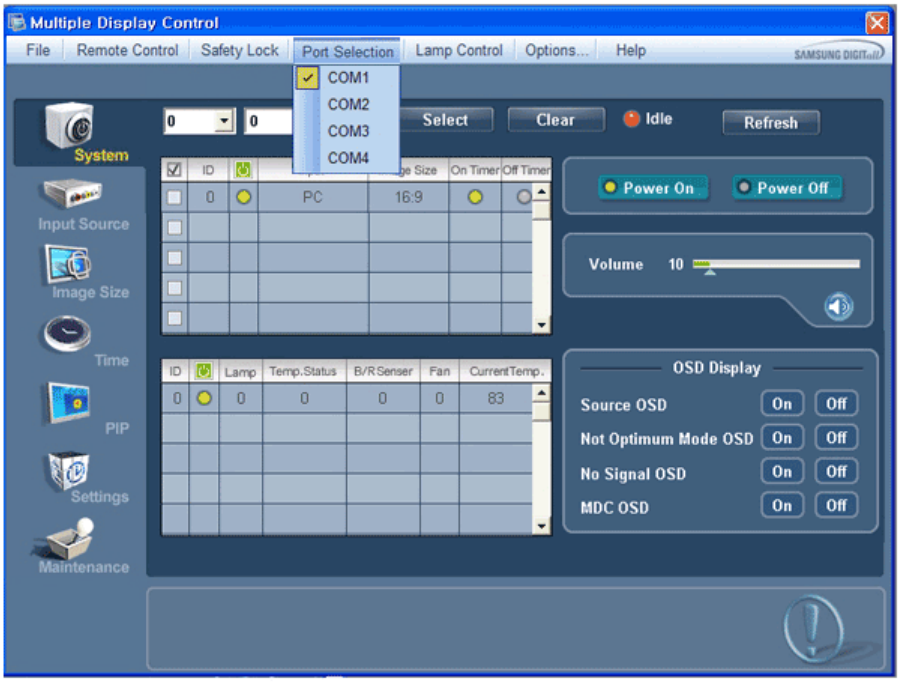
1. メインアイコン
2. Remote Control
3. Safety Lock
4. Port Selection
5. Lamp Control
6. Option...
7. ドロップダウン セレクタ
8. All
9. 選択ボタン
10. Refresh
11. ディスプレイ選択
12. 情報グリッド
13. コントロールツール
14. OSD Display

---

1. メインアイコンを使用して、それぞれの画面に切り換えます。
2. 表示装置の機能を受信するリモートコントロール信号を有効または無効にすることができます。
3. ロック機能の設定。
   ロック機能を設定しているときには、リモコンと本体の電源およびロック ボタンのみが使用できます。
4. PCのシリアルポート設定を変更できます。既定値はCOM1です。
5. Lamp 調整モードを選択します。
6. LFD ID の数と検索を繰り返す間隔を調整します。
7. 表示する LFD ID の範囲を決定します。Select または Clear ボタンを使用して表示する ID を選択または選択解除できます。
8. すべてのモニターを選択または選択解除できます。
9. 7 および 8 を設定して、表示される LFD ID を選択 (Select) または選択解除 (Clear) します。
10. モニターを検索します。Max LFD Id フィールドに最大数が表示されます。
11. ディスプレイ選択からディスプレイを選択します。
12. グリッドを使用して、選択したディスプレイの簡単な情報を表示します。
13. コントロールツールを使用して、表示を調整します。
14. OSD 機能の On/Off を切り替えます。
    - 製品によってはサポートされない場合があります。

<注意> リモートコントロールの有効/無効機能は、電源がOnであるかOffであるかを操作します。これは、MDCに接続された表示にあるすべてに適用されます。但し、ステータスに関係なく、MDCがシャットダウンしている時は、すべての表示機能を受信するリモートコントロール信号が、MDCが閉じている時に有効となるように初期化されています。

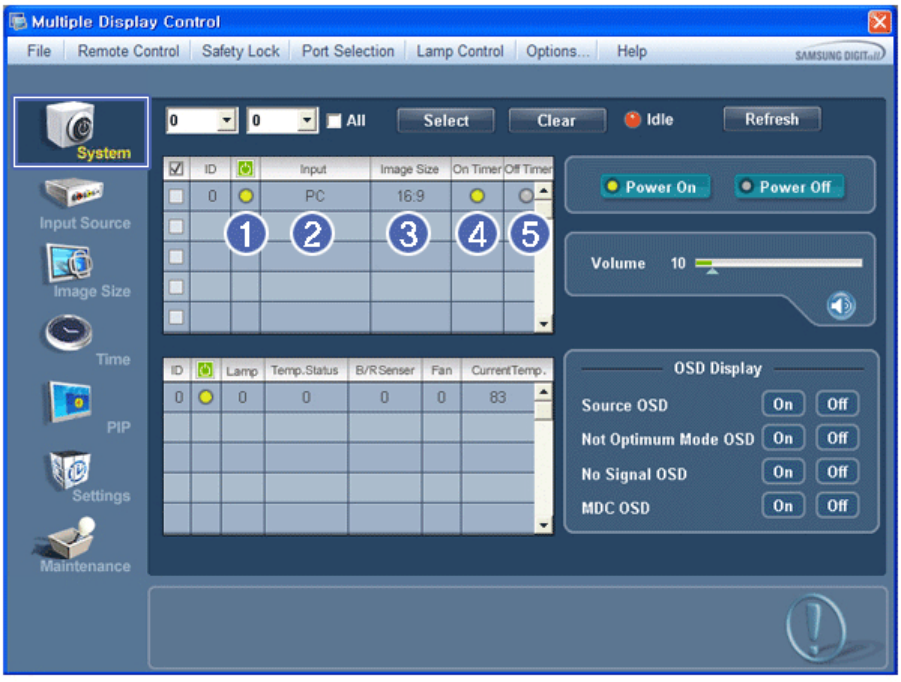
ポートの設定



1. マルチプルディスプレイコントロールはデフォルトでCOM1に設定されています。
2. COM1以外のポートが使用されている場合、ポート選択メニューでCOM1からCOM4が設定可能です。
3. シリアルケーブルを使用してモニターに接続されている正確なポート名が選択されていない場合、通信できません。
4. 選択したポートがプログラムに保存され、次のプログラムでも使用されます。

System

1. メイン メニューで System をクリックして、システム調整画面を開きます。



✱ Info Gridが、Systemに必要な基本情報を表示します。

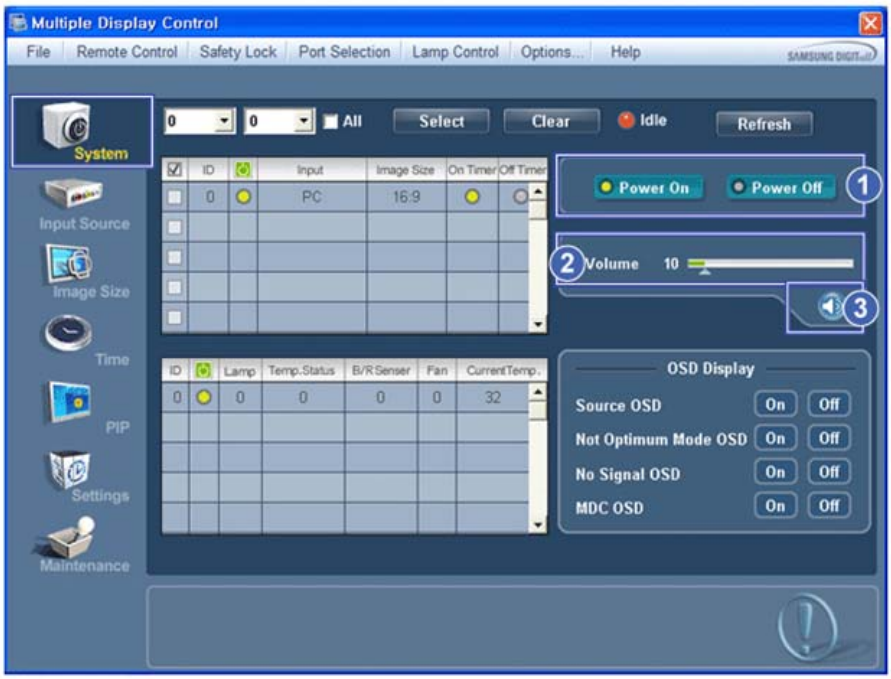
1) 電源のステータス
2) Input

3) Image Size

4) On Timer

5) Off Timer

2. Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。



✱ ☑ 電源調節により、選択された表示のある機能を調節することができます。

1) Power (電源) On/Off

- 選択された表示の電源をOn/Offに切り替えます。

2) Volume (ボリューム) の調節

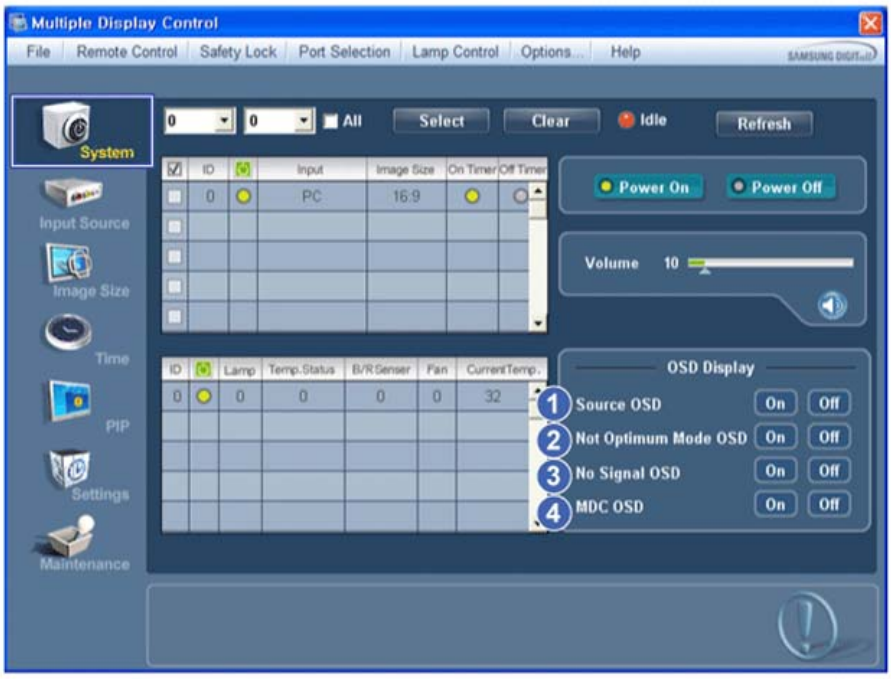
- 選択された表示のボリュームレベルを調節します。選択された表示のボリュームレベルをセットから受信して、スライダに表示します。(1 台またはすべてのディスプレイの選択を解除した場合には、デフォルト値の 10 に戻ります。)

3) Mute(ミュート)のOn/Off

- 選択された表示のミュートをOn/Offに切り替えます。選択されたセットが、すでにMUTEに設定されているならば、あるとき一つのセットを選択する場合に、MUTEディスプレイに印をつける必要があります。(選択を取り消す、または、すべて選択を選択すると、その値は、デフォルト値に戻ります。)

✱ **Volume機能とMute機能は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

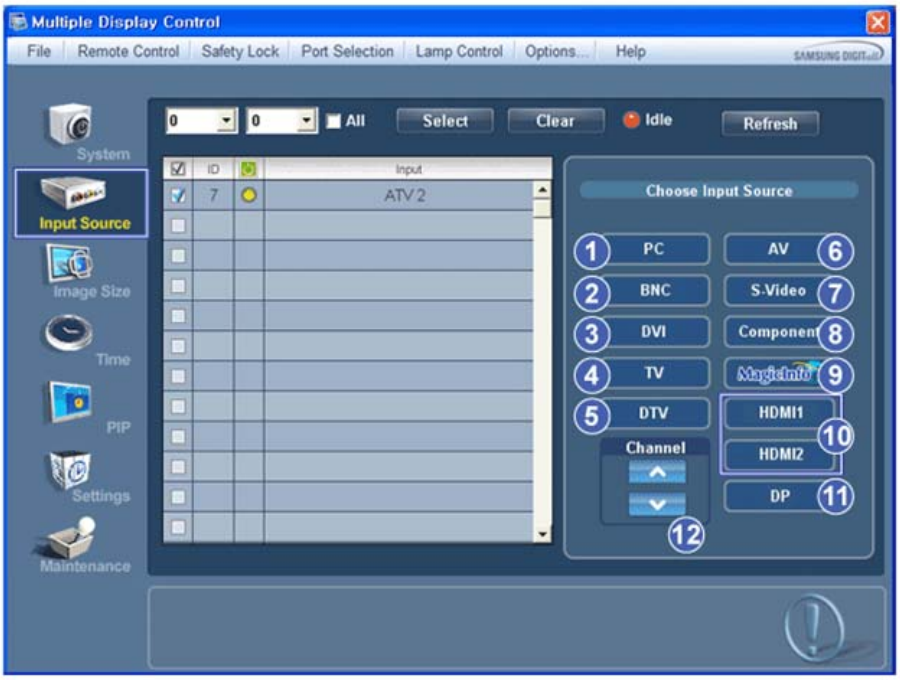
3. OSD Display メニューを使用してメニュー画面を表示するか否かを選択します。



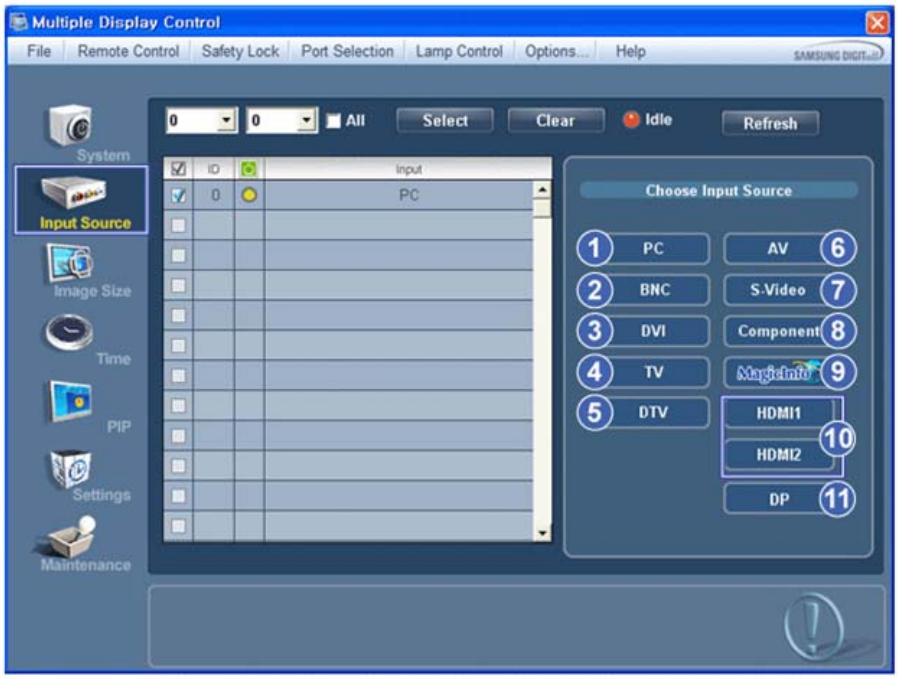
1) Source OSD
   - 入力信号の OSD を表示して Source が変更されたときに表示するか否かを設定します。
2) Not Optimum Mode OSD
   - 現在のモードがサポートされているかどうかを示すために、最適なモードの OSD を表示するか否かを設定します。
3) No Signal OSD
   - 信号なし OSD を表示して入力信号がないことを示すか否かを設定します。
4) MDC OSD
   - MDC を使用して設定が変更されたことを示すのに、MDC OSD を表示するか否かを設定します。

入力ソースの調節

1. メインアイコンの入力ソースをクリックすると、入力ソース調節画面が表示されます。
   Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。
   - TV モード



• PC モード



✱ Info Gridが、入力ソースの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PC
   - 選択された表示の入力ソースをPCに切り替えます。
2) BNC
   - 選択された表示の入力ソースをBNCに切り替えます。
3) DVI
   - 選択された表示の入力ソースをDVIに切り替えます。
4) TV
   - 選択された表示の入力ソースをTVに切り替えます。
5) DTV
   - 選択された表示の入力ソースをDTVに切り替えます。
6) AV

- 選択された表示の入力ソースをAVに切り替えます。

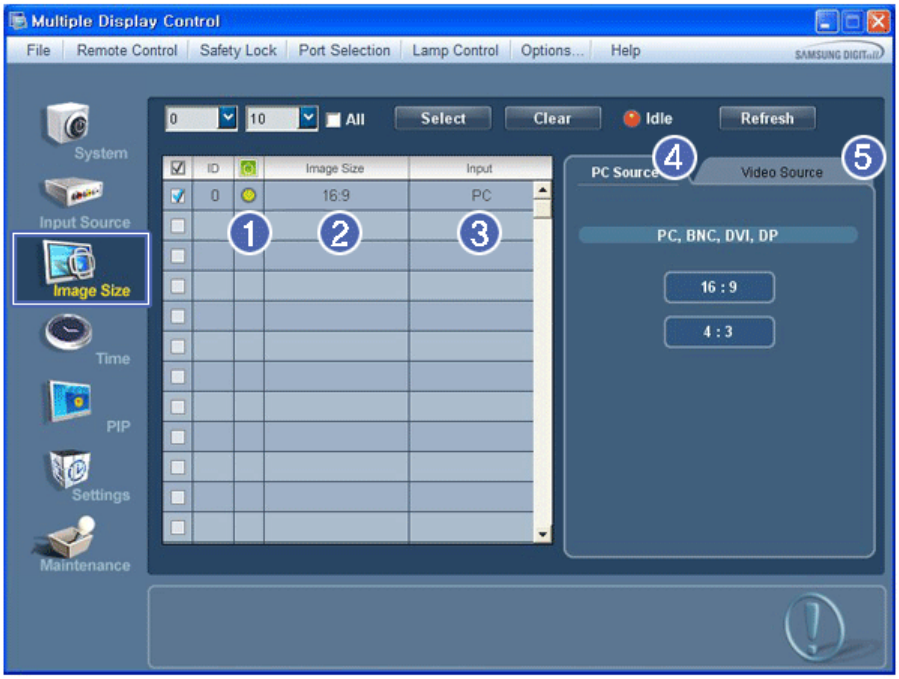
7) S-Video
   - 選択された表示の入力ソースをS-Videoに切り替えます。
8) コンポーネント
   - 選択された表示の入力ソースをコンポーネントに切り替えます。
9) MagicInfo
   - MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。
10) HDMI1/HDMI2
   - 選択された表示の入力ソースをHDMIに切り替えます。
11) DP
   - 選択した Display の入力信号を DP に切り替えます。
12) Channel
   - Input Source（入力信号）がTVのとき、チャンネルの矢印が表示されます。

* **HDMI2 は製品によってはサポートされない場合があります。**
* **DP は製品によってはサポートされない場合があります。**
* **TV信号はTV機能のある製品でのみ選択でき、チャンネルの制御は入力信号がTVのときにのみ行えます。**
* **入力ソースの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

イメージサイズの調節

PC, BNC, DVI, DP

1. メインアイコンのイメージサイズをクリックすると、イメージサイズ調節画面が表示されます。



* Info Gridが、イメージサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) Power(電源)
   - 現在の表示の電源ステータスを調節します。
2) Image Size(イメージのサイズ)
   - 使用している表示の現在のイメージサイズを示します。
3) Input
   - 情報グリッドは、入力信号が PC、BNC、DVI および DP のときにのみ表示されます。
4) PC Source
   - イメージサイズをクリックすると、PC、BNC、DVI および DP タブが最初に表示されます。
   - Image Size 制御ボタンは、PC、BNC、DVI および DP で使用できる Image Size を制御します。

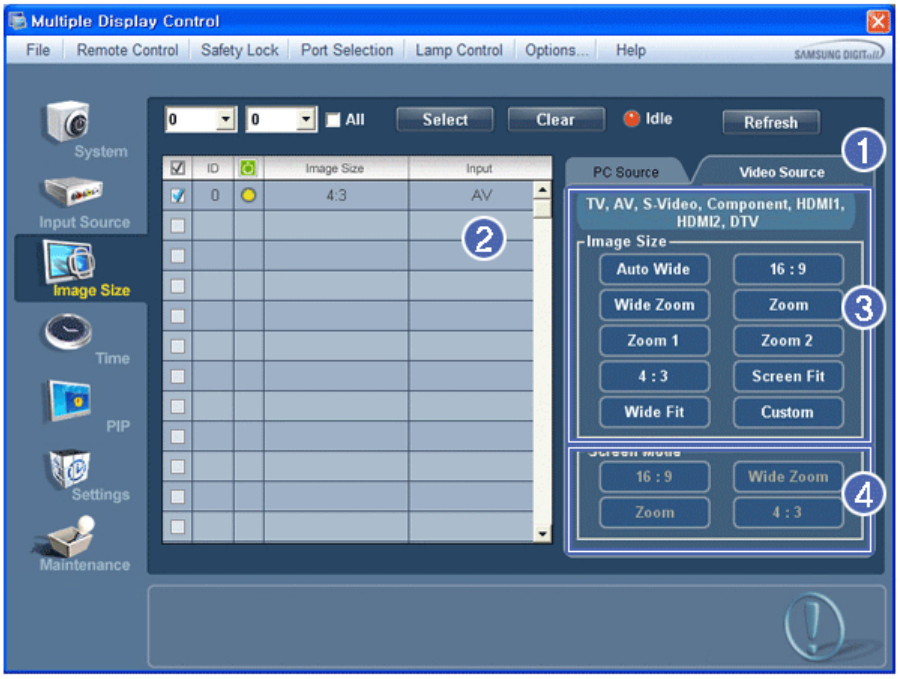
5) Video Source
- Image Size 調整ボタンを使用して、画像サイズを PC、BNC、DVI および DP で使用できる値に調整することができます。

* **DP は製品によってはサポートされない場合があります。**
* **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**
* **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**
* **イメージサイズの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

イメージサイズの調節

TV, AV, S-Video, コンポーネント, DVI(HDCP), HDMI1, HDMI2, DTV

1. メインアイコンのイメージサイズをクリックすると、イメージサイズ調節画面が表示されます。



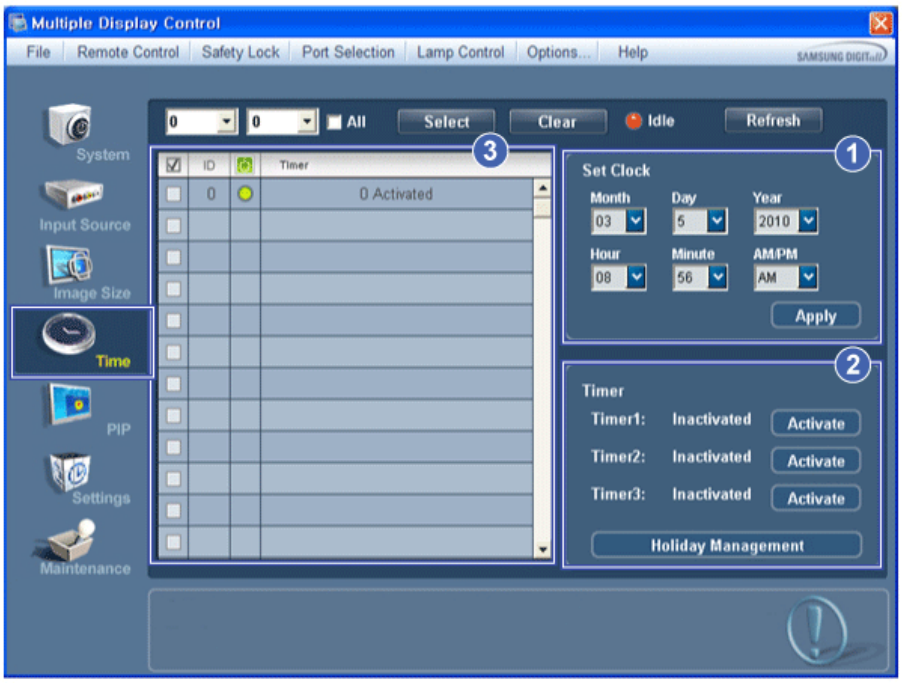
* Info Gridが、時間の調節に必要な基本情報を表示します。

1) TV、AV、S-Video、Component、HDMI1、HDMI2 または DTV モードで Image Size を調整するには、Video Source タブをクリックします。
Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。
2) Info Gridは、入力ソースがTV, AV、S-Video、コンポーネント, HDMI1, HDMI2, DTVを入力ソースとして持っている表示だけを示します。
3) 選択された表示のイメージサイズをランダムに切り替えます。
4) 画面モードはTV (PAL のみ) が接続されていて、Image Size (画像サイズ) 項目が Auto Wide (オートワイド) に設定されているときにのみ調整できます。
(Auto Wide モードは、TV、AV、および S-Video でのみ使用できます。)

* **製品によっては HDMI2 はサポートされていません。**
* **Custom は製品によってはサポートされない場合があります。**
* **Auto Wide(オートワイド)、Zoom1(ズーム1)およびZoom2(ズーム2)は、コンポーネントとDVI(HDCP)の入力信号タイプが720pまたは1080iのときにのみ選択できます。**
* **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**
* **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**
* **イメージサイズの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

時間の調節

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調節画面が表示されます。



✱ Info Gridが、イメージサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) Set clock
   - 選択された表示のために現在の時間を設定します。(PC Time)
   - 現在の時間を変更するには、最初にPCの時間を変更します。
2) Timer
   - Timer1、Timer2、Timer3 および Holiday Management を設定します。
3) Timer が有効になっているかどうかを表示します。

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **タイムコントロールは、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

Time

Timer と Holiday Management を設定します。

1. 1. Timer1、Timer2 および Timer3 の設定

1) On Time

- 選択したモニターをオンにする時刻を時、分、および AM/PM で設定します。

2) Off Time
- 選択したモニターをオフにする時刻を時、分、および AM/PM で設定します。

3) Volume
- 選択したモニターがオンになったときの音量を選択します。

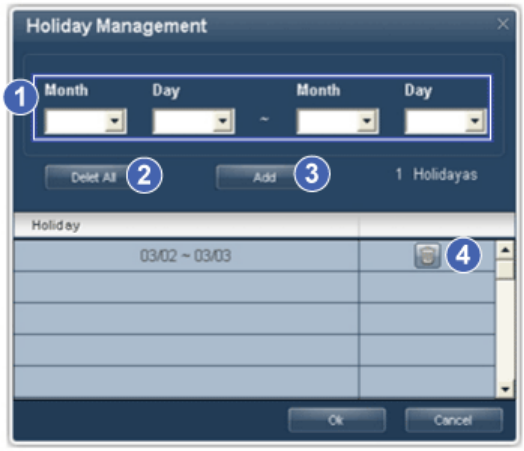
4) Source
- 選択したモニターを音にしたときの外部入力信号を選択します。

5) Holiday
- Holiday Management 機能を Timer に適用します。

6) Repeat
- Once、EveryDay、Mon~Fri、Mon~Sat、Sat~Sun、および Manual のいずれかを選択できます。
  - Once:Timer は 1 回だけ動作します。
  - EveryDay:Timer 毎日繰り返します。
  - Mon~Fri:Timer は月曜から金曜まで繰り返します。
  - Mon~Sat:Timer は月曜から土曜まで繰り返します。
  - Sat~Sun:Timer タイマーは土曜と日曜に動作します。
  - Manual:タイマーを動作させる曜日を選択します。

2. Holiday Management の設定

Holiday Management 機能は、Timer でモニターをオンまたはオフにする日を指定します。



1) 日付を指定します。

2) Delete All
- すべての休日を削除します。

3) Add
- 指定した日付を追加します。

4)
- 選択した行のスケジュールを削除します。

*** Holiday Management 機能は、Timer 設定メニューでオン/オフを切り替える事ができます。**

*** MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

*** TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

*** タイムコントロールは、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

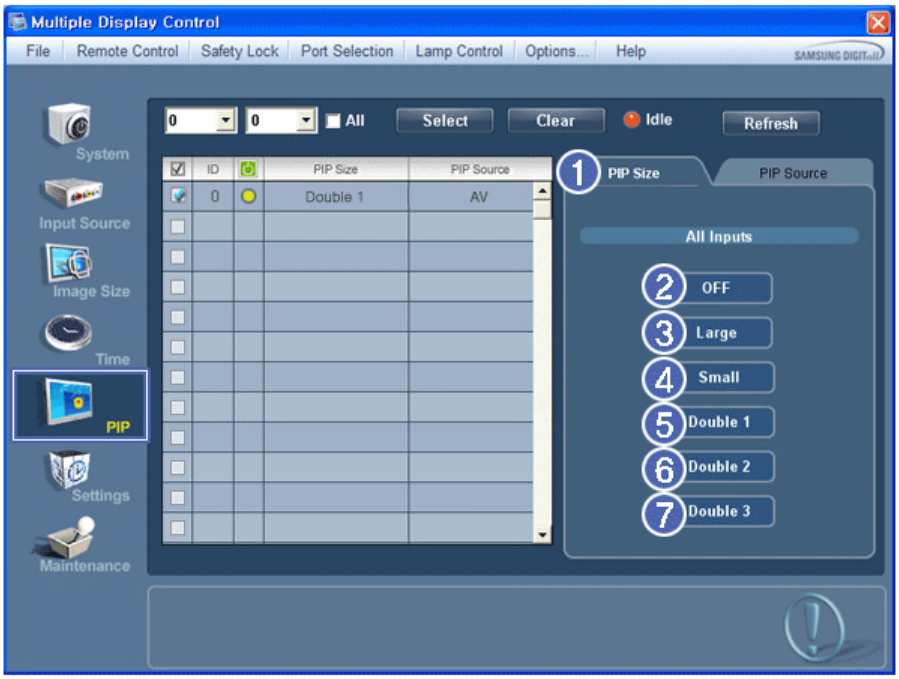
*** On Time モードで Source が TV に設定されているときに TV についてのみ有効になります。**

*** On Time モードで Source が MagicInfo に設定されているときに、MagicInfo がインストールされているモデルでのみ有効になります。**

PIP

PIP サイズ

1. メインアイコンのPIPをクリックすると、PIPの調節画面が表示されます。
   Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。



✱ Info Gridが、PIPサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PIP Size(PIP サイズ)
   - 使用している表示の現在のPIPサイズを示します。
2) OFF
   - 選択された表示のPIPをOffにします。
3) Large
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズをLargeに変更します。
4) Small
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズをSmallに変更します。
5) Double1
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 1変更します。
6) Double2
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 2変更します。
7) Double3 (Picture By Picture)
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 3変更します。

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

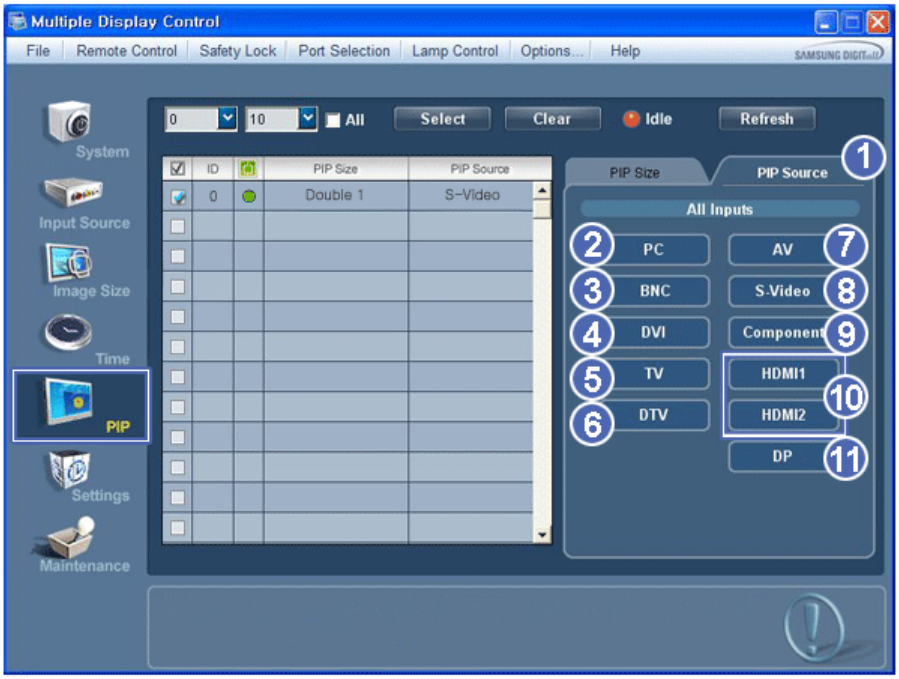
✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **選択された表示の電源をOn/Offに切り替えます。**

PIP

PIP ソース

1. メインアイコンのPIPをクリックすると、PIPの調節画面が表示されます。



✱ Info Gridが、PIPソースの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PIP Source
- PIP サイズは、モニターの電源をOnにして調節することができます。

2) PC
- 選択された表示のPIPソースをPCに切り替えます。

3) BNC
- 選択された表示のPIPソースをBNCに切り替えます。

4) DVI
- 選択された表示のPIPソースをDVIに切り替えます。

5) TV
- 選択された表示のPIPソースをTVに切り替えます。

6) DTV
- 選択された表示のPIPソースをDTVに切り替えます。

7) AV
- 選択された表示のPIPソースをAVに切り替えます。

8) S-Video
- 選択された表示のPIPソースをS-Videoに切り替えます。

9) コンポーネント
- 選択された表示のPIPソースをコンポーネントに切り替えます。

10) HDMI1 / HDMI2
- 選択された表示のPIPソースをHDMIに切り替えます。

11) DP
- 選択したディスプレイの PIP 入力信号を DP に切り替えます。

✱ **HDMI2 は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **DP は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **主画面の外部入力信号タイプによって、同時画面外部入力が選択できないことがあります。**

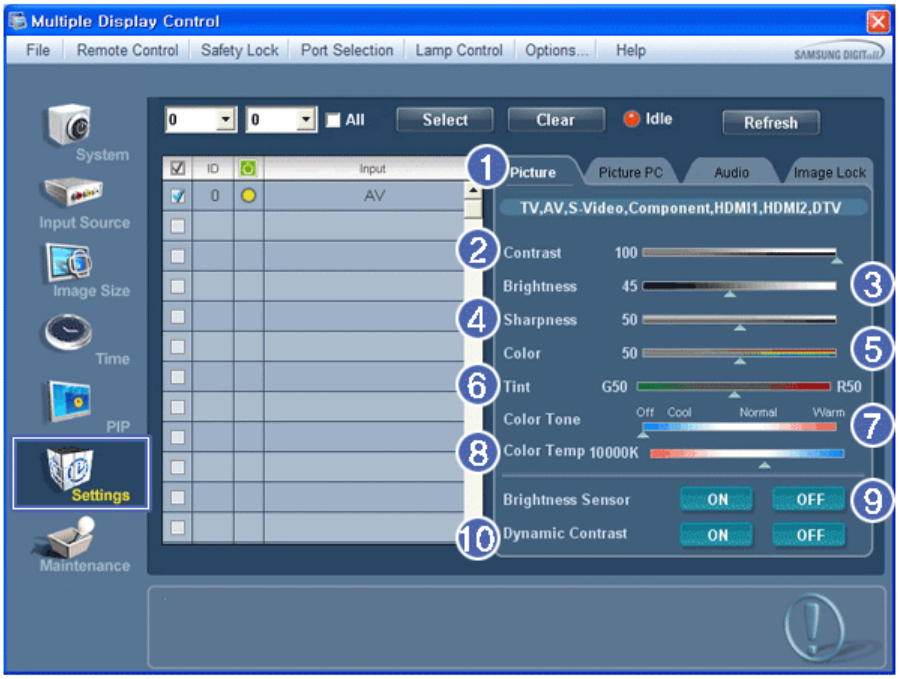
✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **同時画面コントロール機能は、電源ステータスおよび同時画面機能がオンのディスプレイで利用可能です。**

設定の調整

ピクチャー

1. メインアイコンの時間をクリックすると、設定の調整画面が表示されます。



✱ Picture を調整するのに必要な基本情報がメインメニューに表示されます。接続したモニターの 1 台を選択するとそのモニターの設定が表示され、All および Select をクリックしてすべてのモニターを選択するとデフォルト設定が表示されます。この画面であたいを変更すると、現在のモードが自動的にカスタム モードに切り替わります。

1) Picture(ピクチャー)
   - AV, S-Video, コンポーネント, HDMI1, HDMI2, DVIにのみ有効となります。
2) Contrast(コントラスト)
   - 選択された表示のコントラストを調整します。
3) Brightness(明るさ)
   - 選択された表示の明るさを調整します。
4) Sharpness(鮮明さ)
   - 選択された表示の鮮明さを調整します。
5) Color(色)
   - 選択された表示の色を調整します。
6) Tint(濃淡)
   - 選択された表示の濃淡を調整します。
7) Color Tone(色温度)
   - 選択したディスプレイの Color Tone を調整します。
8) Color Temp
   - 選択されたディスプレイのColor Tempを調整します。
9) Brightness Sensor
   - 選択されたディスプレイのBrightness Sensorを調整します。
10) Dynamic Contrast
   - 選択されたディスプレイのDynamic Contrastを調整します。

✱ **HDMI2 は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **Brightness Sensor は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。**

設定の調整

ピクチャーPC

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。

✱ 調整の必要な基本情報が表示されます。ディスプレイの ID を選択すると対応する SET の設定がインポートされてスライダに表示され、All および Select をクリックしてすべてのディスプレイ ID を選択するとデフォルト設定が表示されます。この画面であたいを変更すると、現在のモードが自動的にカスタム モードに切り替わります。

1) ピクチャーPC
   - PC、BNC、DVI および DP でのみ使用できます。
2) Contrast(コントラスト)
   - 選択された表示のコントラストを調整します。
3) Brightness(明るさ)
   - 選択された表示の明るさを調整します。
4) Red
   - 選択された表示の色の温度を調節します。(Red)
5) Green
   - 選択された表示の色の温度を調節します。(Green)
6) Blue
   - 選択された表示の色の温度を調節します。(Blue)
7) Color Tone
   - 選択したディスプレイの Color Tone を調整します。
8) Color Temp
   - 選択されたディスプレイのColor Tempを調整します。
9) Brightness Sensor
   - 選択されたディスプレイのBrightness Sensorを調整します。
10) Dynamic Contrast
   - 選択されたディスプレイのDynamic Contrastを調整します。

✱ **DP は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **Brightness Sensor は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

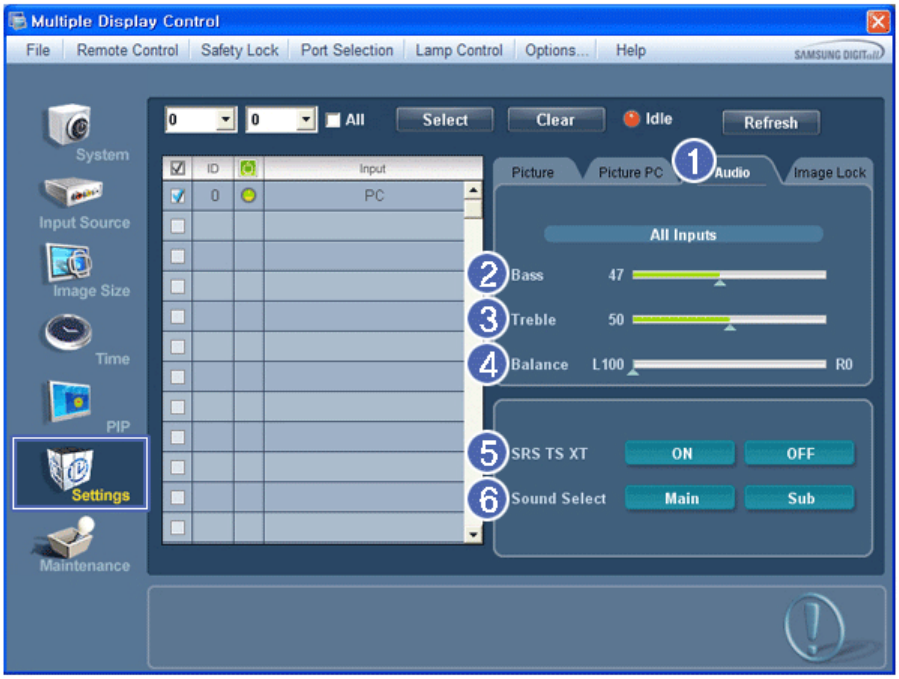
✱ **色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。**

✱ **この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。**

設定の調整

オーディオ（Audio）

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



✱ Audio を調整するのに必要な基本情報ディスプレイ ウィンドウに表示されます。ディスプレイの ID を選択すると対応する SET の設定がインポートされてスライダに表示され、All および Select をクリックしてすべてのディスプレイ ID を選択するとデフォルト設定が表示されます。この画面であたいを変更すると、現在のモードが自動的にカスタム モードに切り替わります。

1) Audio(オーディオ)
   - すべての入力ソースのために、オーディオ設定をコントロールします。
2) Bass(低音)
   - 選択された表示の低音を調整します。
3) Treble(高音)
   - 選択された表示の高音を調整します。
4) Balance(バランス)
   - 選択された表示のバランスを調整します。
5) SRS TS XT
   - 選択された表示のSRS TS XTサウンドのOn/Off。
6) 音の選択
   - PIP がオンの場合、メインまたはサブのどちらかを選択することができます。

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

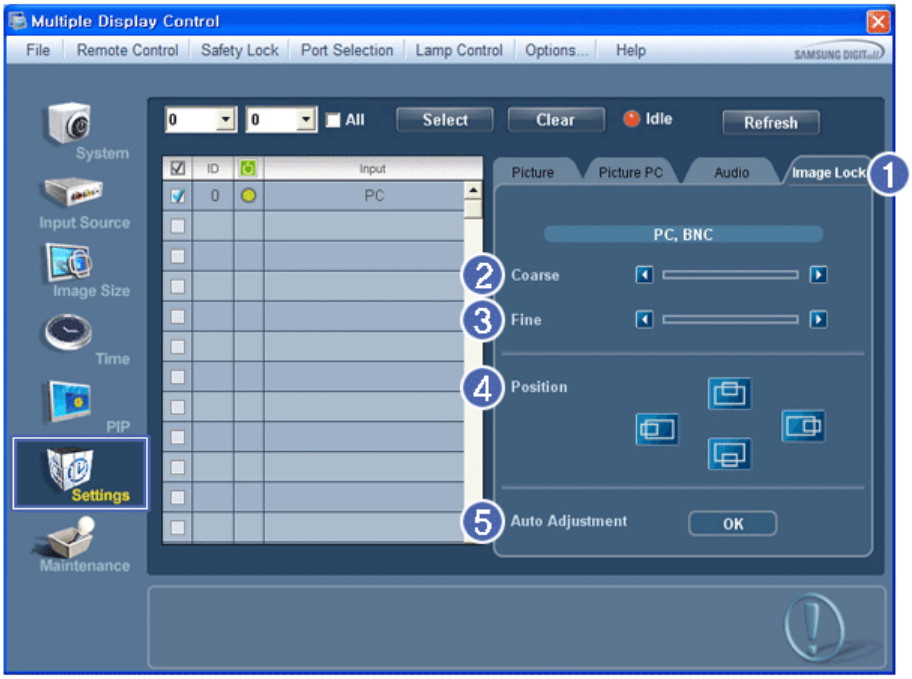
✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。**

設定の調整

Image Lock (イメージロック)

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



✱ Info Gridが、時間の調整に必要な基本情報を表示します。

1) Image Lock (イメージロック)
   - PC, BNCにのみ有効。
2) Coarse(粗調整)
   - 選択された表示の粗調整を調整します。
3) Fine(微調整)
   - 選択された表示の微調整を調整します。
4) Position(場所)
   - 選択された表示の場所を調整します。
5) Auto Adjustment(Auto (オート)調整)
   - 入ってくるPC信号に対して自動調整する。

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

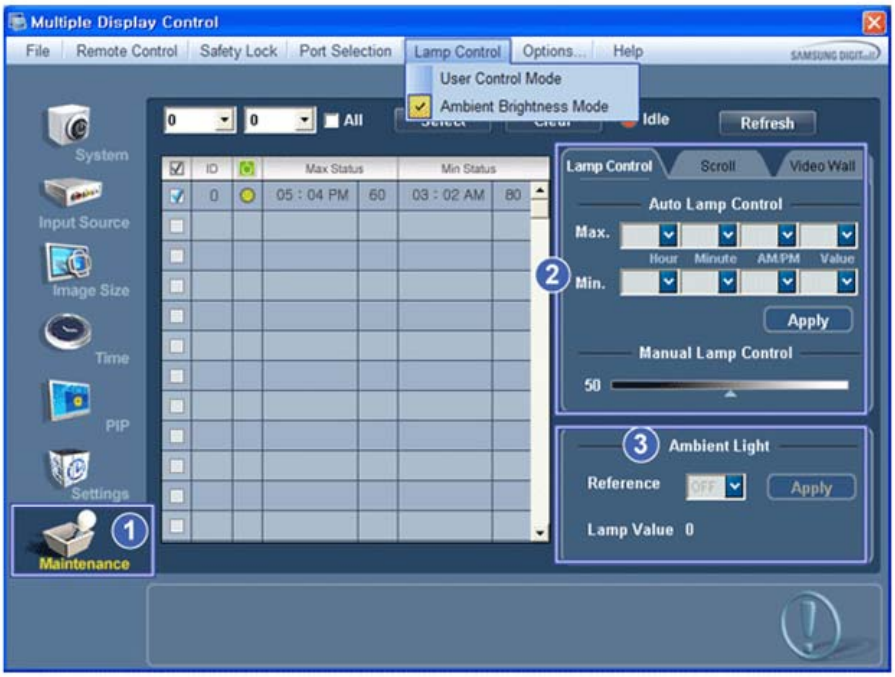
✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **設定の調整は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

メンテナンス

ランプコントロール

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



✱ 数種の基本データ項目を示す“インフォグリッド”が表示されます。

1) Maintenance(メンテナンス)
   - すべての外部入力に対してメンテナンスコントロール機能を許可します。

2) Lamp Control(ランプコントロール)
   - 選択したディスプレイのバックライトを一定時間自動的に調整します。
     Auto Lamp Control を使用して調整すると、Manual Lamp Control が自動的にオフになります。
   - 選択したディスプレイのバックライトを、時間に関わらず調整できるようにします。
     Manual Lamp Control を使用して調整すると、Auto Lamp Control が自動的にオフになります。

3) Ambient Light
   - 指定したモニター周辺の光の強さを検出して、画像の明るさを自動的に調整します。
   - Reference 値を指定して、周囲の光の強さに基づいて Lamp Value (ランプからの光の強度) を自動的に決定するモニターを指定できます。

✱ **Ambient Light は輝度センサーのあるモデルでのみサポートされ、Lamp Control メニューでAmbient Brightness Mode が選択されているときにのみ有効になります。**

✱ **Auto Lamp Control および Manual Lamp Control は、Lamp Control メニューで User Control Mode が選択されているときにのみ有効になります。**

✱ **メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。**

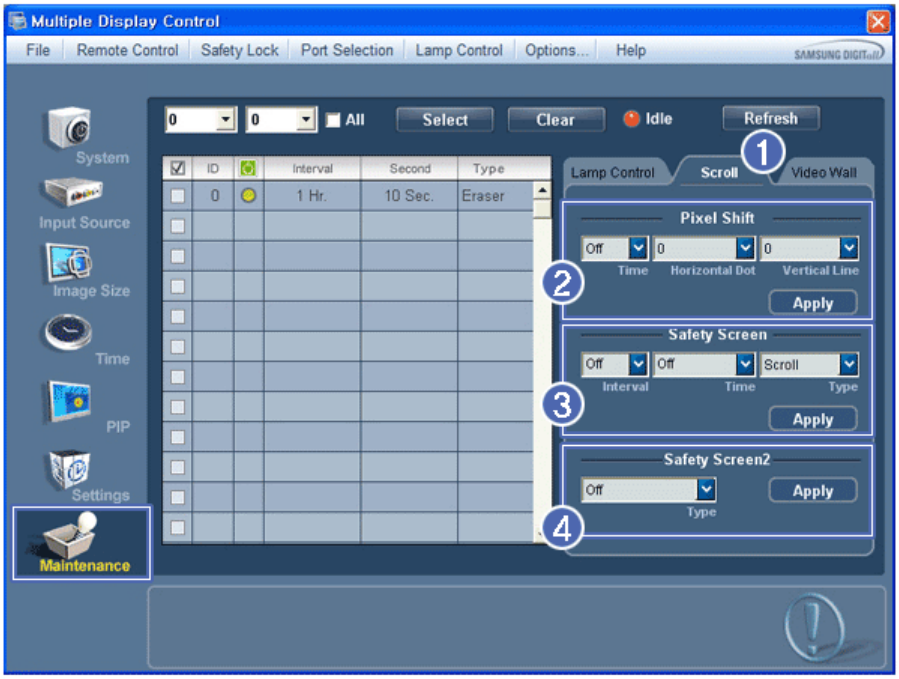
✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

メンテナンス

Scroll

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



1) Scroll
   - この機能は、選択されたディスプレイ上に長時間静止画が表示されたときに発生する残像を除去するのに使用します。
2) Pixel Shift
   - これによって、画面の位置を指定した時間間隔で細かく動かすことができます。
3) Safety Screen
   - Safety Screen (安全画面) 機能は、静止画がモニター上に長時間表示されたときに発生する残像を防止するのに使用します。 Interval (間隔) 項目は繰り返しのサイクルを時間単位で指定するのに使用し、Time (時刻) 項目は Safety Screen (安全画面) 機能を実行する時刻を設定するのに使用します。
     Type (タイプ) 項目は、Scroll (スクロール)、Pixel (ピクセル)、Bar (バー)、Eraser (消去)、All White (オールホワイト)、または Pattern (パターン) のいずれかに設定できます。
4) Safety Screen2
   - この機能は、残像の発生を防止するのに使用します。5 種類のタイプから選択して、この機能を制御することができます。

*** Scroll (スクロール) タイプの場合は、Time (時刻) 項目は 1、2、3、4 または 5 に設定できます。Bar (バー) および Eraser (消去) タイプの場合は、10、20、30、40 または 50 に設定できます。All White (オールホワイト) および Pattern (パターン) タイプの場合は、1、5、10、20 または 30 に設定できます。**

*** MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

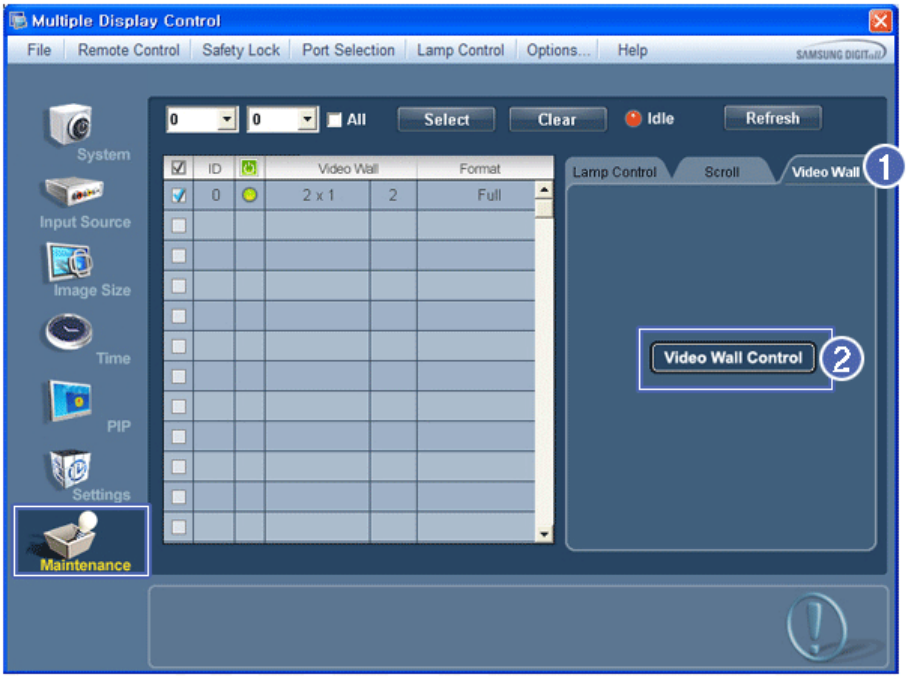
*** TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

*** メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。**

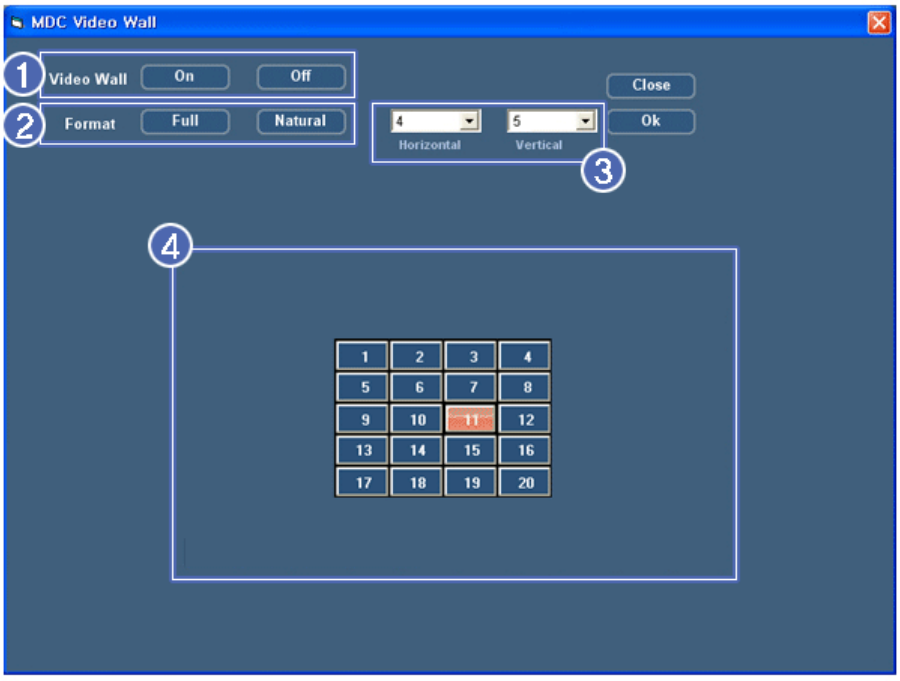
メンテナンス

Video Wall

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



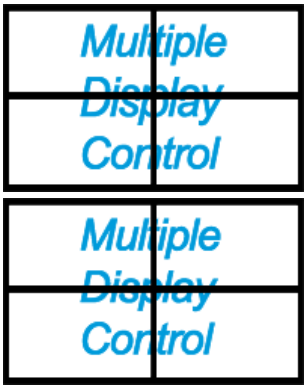
1) Video Wall
   - Video Wall は、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。
2) Video Wall Control
   - Video Wall プロパティを設定できます。



1) On / Off
   - 選択したディスプレイのビデオウォール機能のオン/オフを切り替えます。
2) Format
   - 分割したスクリーンを表示するフォーマットを選択できます。

- Full

- Natural



3) Video Wall (Screen Divider)
   - スクリーンは分割できます。
     多数のスクリーンを異なるレイアウトや分割方法にすることができます。
     - [Screen divider]からモードを選択します。
     - [Display Selection]からディスプレイを選択します。
     - 選択したモードの数字をオスと、配置が設定されます。
     - 配置できるモニターの最大数: Horizontal X Vertical = 100
     - 最大 15 台のモニターを 1 列に配置できます。Vertical を 15 に設定した場合の Horizontal の最大値は 6、Horizontal を 15 に設定した場合の Vertical の最大値は6 です。

4) 画面分割の表示
   - Screen Divider 設定を使用して、画面のレイアウトを表示および変更できます。

*** Screen Divider 設定の範囲は、モデルによって異なります。**

*** MagicInfo ではこの機能は動作しない場合があります。**

*** TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

*** メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。**

トラブルシューティング

1. コントロールしたい表示が、System Info Gridに示されません。
   - RS232Cの接続を確認してください。(Com1 ポートに正しく接続されているか確認します。)
   - 他の表示の何れかが同じIDを持っているかどうか見るために表示を確認します。1つ以上の表示が同じIDを持っている場合、データの衝突によりプログラムが、正しくそれらの表示を検出しません。
   - 0～99 の設定 ID をサポートしているモニターについては、設定 ID を 0～99 の範囲の値に設定する必要があります。

   <注意> モニターの 設定 ID が 0～99 の範囲の値であることを確認します (値はディスプレイ メニューを使用して設定します)。

2. コントロールしたい表示が、他のControl Info Gridsに示されません。
   - 電源コードがしっかりと接続されているか確認してください。(System Info Gridの中でこれを確認します。)
   - 表示の入力ソースを変更できるか確認してください。

3. ダイアログボックスが、繰り返し表示されます。
   - 調節したい表示が、選択されているかどうか確認します。☑

4. On Timer と Off Timerの両方が送られても異なる時間が表示されている。
   - 現在の時間を調整して、表示時計を同期化します。

5. リモート機能をオフにして、RS-232Cケーブルの接続を切り、不定期にプログラムを終了すると、リモートは、正しく機能しないことがあります。プログラムを再起動し、通常の機能を元に戻すために、リモート機能を再び実行します。

   <注意> このプログラムは、通信回路の問題、または電子機器からの障害が生じた場合、うまく機能しない場合があります。

マルチディスプレイモードにおける設定画面を表示する

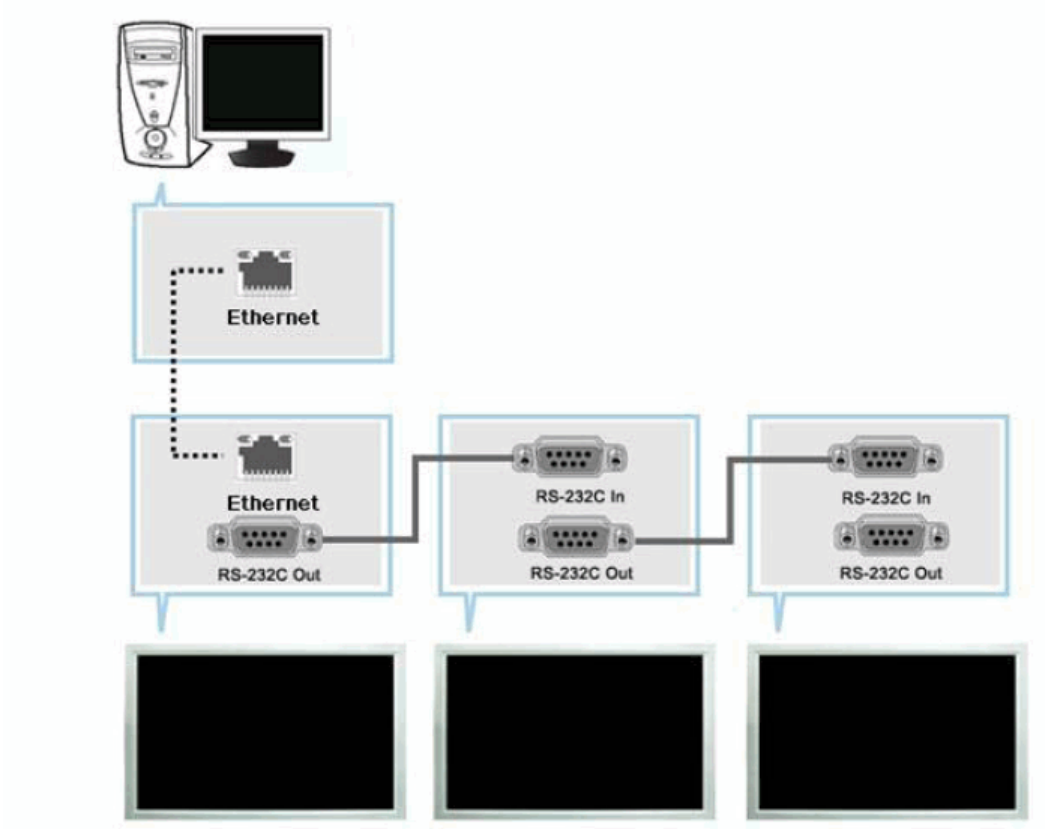
* 接続している画面が一つ以上ある場合、設定値は、以下のように表示されます。

1. 選択なし:工場出荷時の値を表示する。
2. 選択された一つの表示:選択された表示のために設定値を持ってきて表示する。
3. 選択された一つの画面 (ID1) と追加された他の画面 (ID3):ID 1の設定値を表示していたプログラムが、ID3の値を持ってきて表示します。
4. All および Select をクリックしてすべての設定を同時に選択すると、デフォルト値に戻ります。

Copyrightⓒ 2003-2010 Samsung Electronics Co. Ltd. All rights reserved.

Multiple Display Control
MDC System

準備

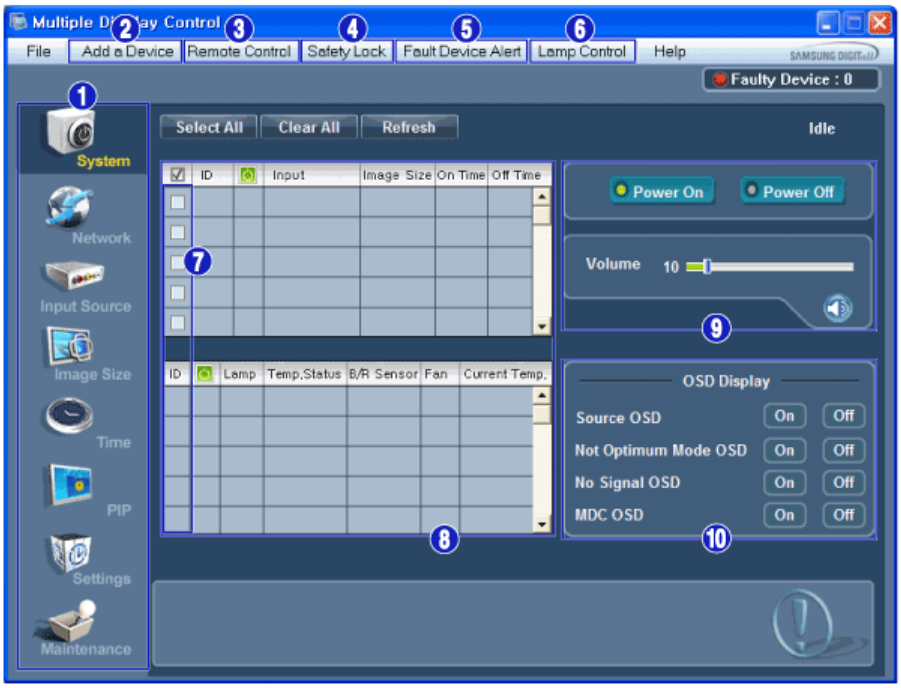


シリアル データ通信の仕様 RS-232C 使用する従来の方法とは異なり、イーサネット機能が追加されています。
IP アドレスを入力して、1 台目の表示デバイスと PC を接続します。さらに表示デバイスを接続するには、RS-232C シリアル ケーブルを使用します。上の図を参照してください。

メイン画面

Start > Program > Samsung > MDC System システムをクリックしてプログラムを開始します。

セットを選択して、スライダ内で選択されたセットのボリュームを見ます。



1 メインアイコン
2 Add a Device
3 Remote Control
4 Safety Lock
5 Fault Device Alert
6 Lamp Control
7 ディスプレイ選択
8 All
9 コントロールツール
10 OSD Display

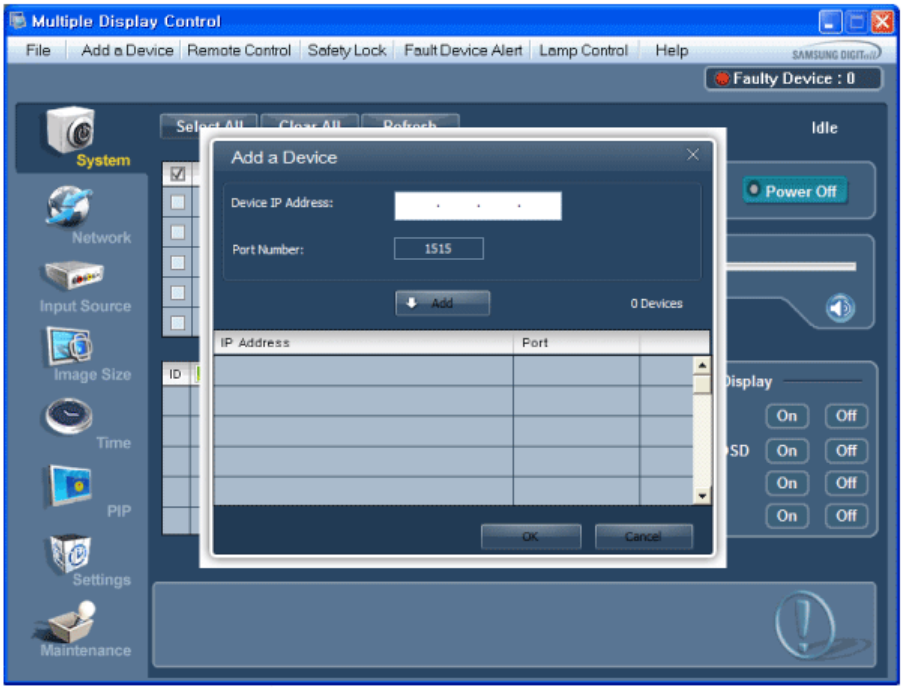
---

1. メインアイコンを使用して、それぞれの画面に切り換えます。
2. モニターに設定された IP アドレスを入力するとデバイスを追加できます。
3. 表示装置の機能を受信するリモートコントロール信号を有効または無効にすることができます。
4. ロック機能の設定。
5. モニターに接続できない場合には、電子メールで結果を転送する機能がオンまたはオフになります。
6. Lamp 調整モードを選択します。
7. ディスプレイ選択からディスプレイを選択します。
8. すべてのモニターを選択または選択解除できます。
9. コントロールツールを使用して、表示を調整します。
10. OSD 機能の On/Off を切り替えます。

    - 製品によってはサポートされない場合があります。

<注意> リモートコントロールの有効/無効機能は、電源がOnであるかOffであるかを操作します。これは、MDCに接続された表示にあるすべてに適用されます。但し、ステータスに関係なく、MDCがシャットダウンしている時は、すべての表示機能を受信するリモートコントロール信号が、MDCが閉じている時に有効となるように初期化されています。

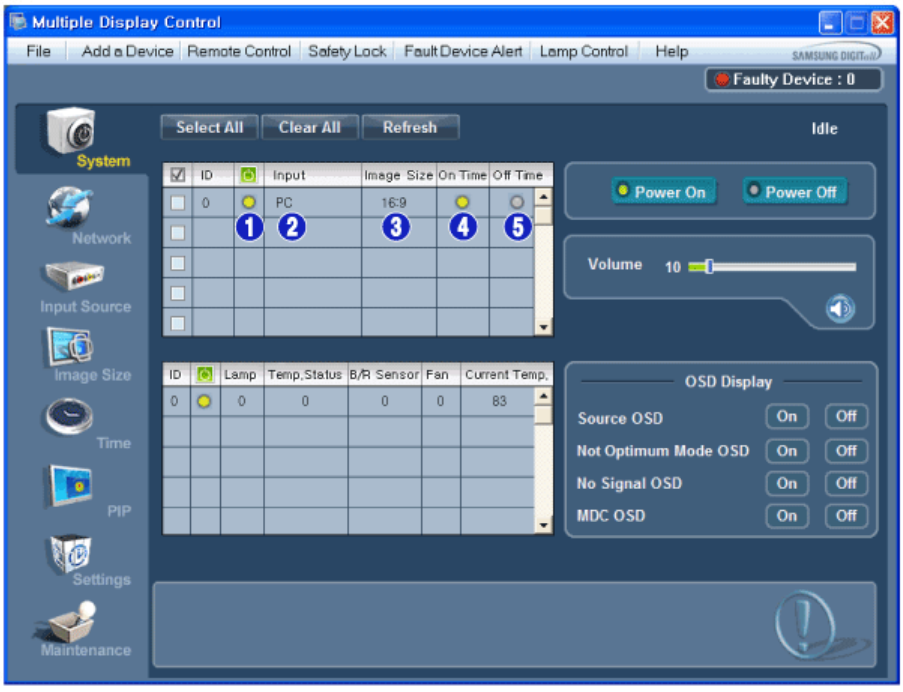
Add a Device



1. IP Adress -> ADD -> OK

System

1. メイン メニューで System をクリックして、システム調整画面を開きます。



✱ Info Gridが、電源の調節に必要な基本情報を表示します。

1) 電源のステータス

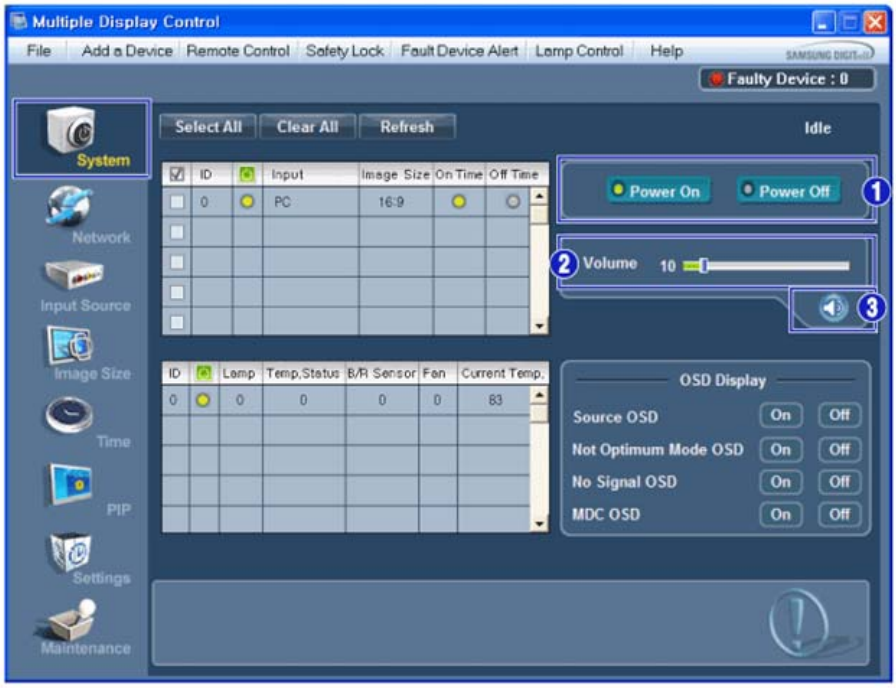
2) Input

3) Image Size

4) On Timer

5) Off Timer

2. Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。



✱ ☑ 電源調節により、選択された表示のある機能を調節することができます。

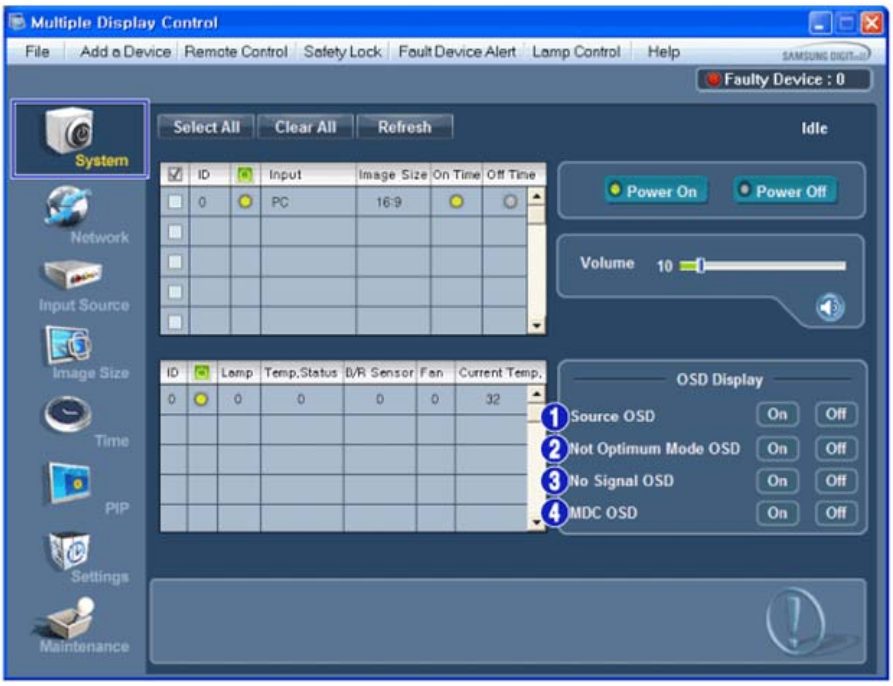
1) Power (電源) On/Off
   - 選択された表示の電源をOn/Offに切り替えます。

2) Volume (ボリューム) の調節
   - 選択された表示のボリュームレベルを調節します。選択された表示のボリュームレベルをセットから受信して、スライダに表示します。(1 台またはすべてのディスプレイの選択を解除した場合には、デフォルト値の 10 に戻ります。)

3) Mute(ミュート)のOn/Off
   - 選択された表示のミュートをOn/Offに切り替えます。選択されたセットが、すでにMUTEに設定されているならば、あるとき一つのセットを選択する場合に、MUTEディスプレイに印をつける必要があります。(選択を取り消す、または、すべて選択を選択すると、その値は、デフォルト値に戻ります。)

✱ **Volume機能とMute機能は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

3. OSD Display メニューを使用してメニュー画面を表示するか否かを選択します。



1) Source OSD
   - 入力信号の OSD を表示して Source が変更されたときに表示するか否かを設定します。
2) Not Optimum Mode OSD
   - 現在のモードがサポートされているかどうかを示すために、最適なモードの OSD を表示するか否かを設定します。
3) No Signal OSD
   - 信号なし OSD を表示して入力信号がないことを示すか否かを設定します。
4) MDC OSD
   - MDC を使用して設定が変更されたことを示すのに、MDC OSD を表示するか否かを設定します。

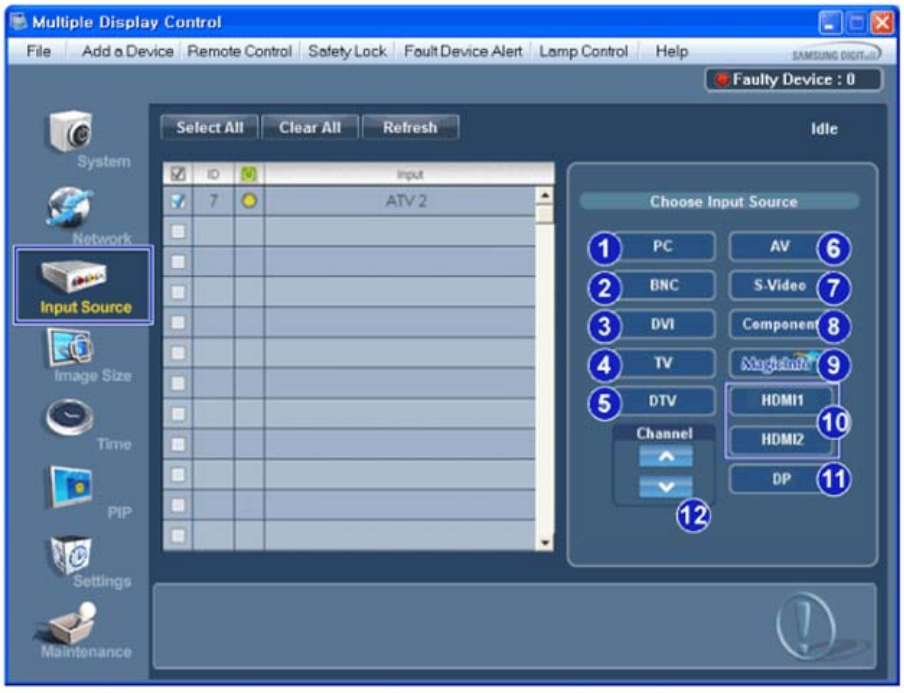
Network

1) 追加するデバイスを Select All または Clear All します。または選択したデバイスを Refresh または Delete します。
2) 接続したモニターの IP Address、ID (イーサネットまたはシリアル)、Mac Address および接続状態が表示されます。
3) 自動的に DHCP IP が設定されているかどうかを確認し、IP アドレスを設定することができます。
4) 選択したモニターの IP Address、Subnet および Gateway を自動または手動で設定して適用することができます。

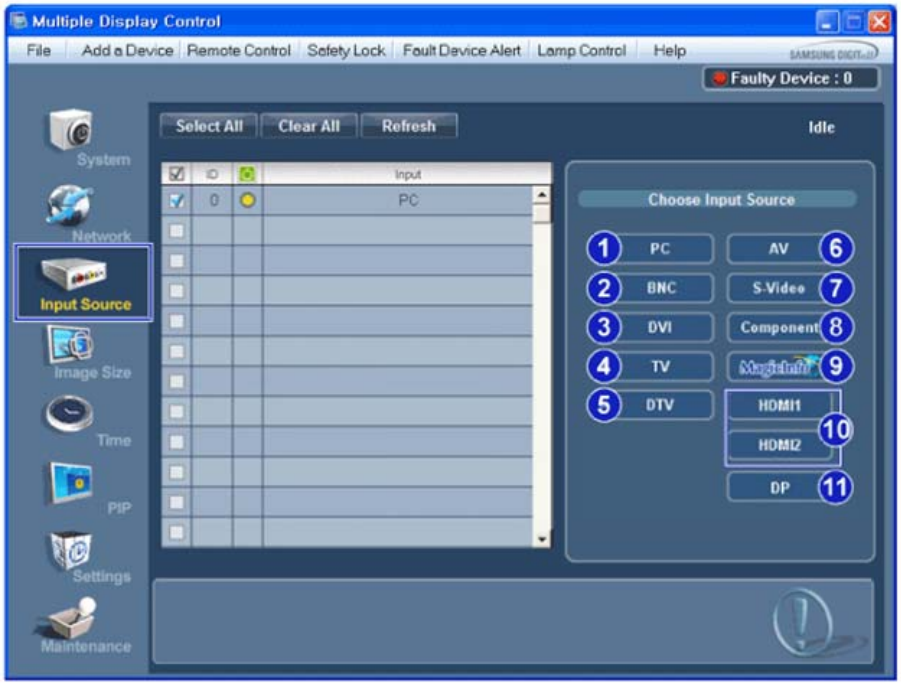
入力ソースの調節

1. メインアイコンの入力ソースをクリックすると、入力ソース調節画面が表示されます。
Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。

- TV モード



- PC モード



✱ Info Gridが、入力ソースの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PC
   - 選択された表示の入力ソースをPCに切り替えます。
2) BNC
   - 選択された表示の入力ソースをBNCに切り替えます。
3) DVI
   - 選択された表示の入力ソースをDVIに切り替えます。
4) TV
   - 選択された表示の入力ソースをTVに切り替えます。
5) DTV
   - 選択された表示の入力ソースをDTVに切り替えます。
6) AV
   - 選択された表示の入力ソースをAVに切り替えます。
7) S-Video
   - 選択された表示の入力ソースをS-Videoに切り替えます。
8) コンポーネント
   - 選択された表示の入力ソースをコンポーネントに切り替えます。
9) MagicInfo
   - MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。
10) HDMI1/HDMI2
   - 選択された表示の入力ソースをHDMIに切り替えます。
11) DP
   - 選択した Display の入力信号を DP に切り替えます。
12) Channel
   - Input Source（入力信号）がTVのとき、チャンネルの矢印が表示されます。

✱ **HDMI2 は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **DP は製品によってはサポートされない場合があります。**

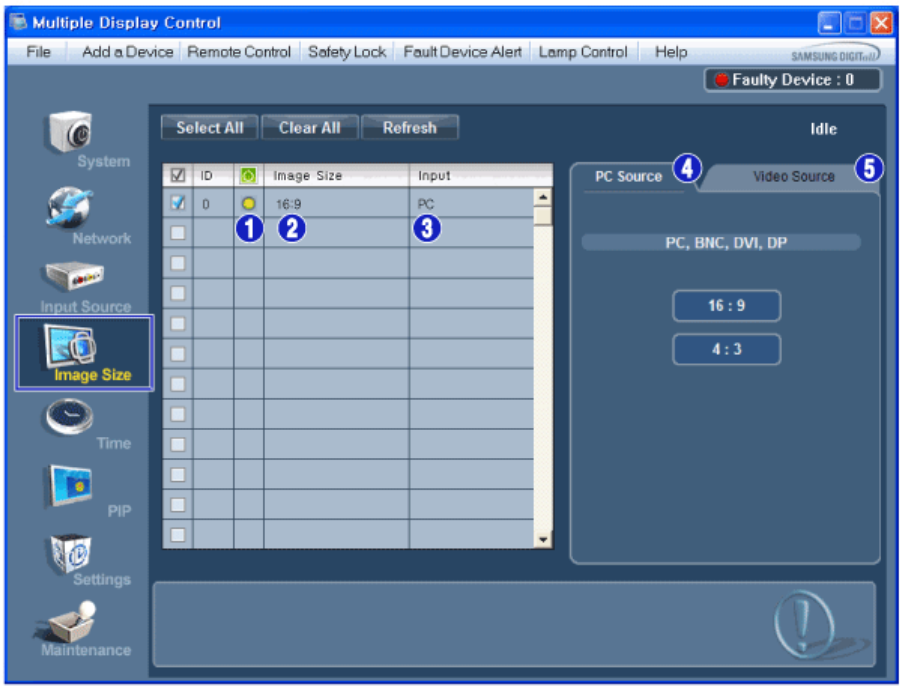
✱ **TV信号はTV機能のある製品でのみ選択でき、チャンネルの制御は入力信号がTVのときにのみ行えます。**

✱ **入力ソースの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

イメージサイズの調節

PC, BNC, DVI, DP

1. メインアイコンのイメージサイズをクリックすると、イメージサイズ調節画面が表示されます。



✱ Info Gridが、イメージサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) Power(電源)
   - 現在の表示の電源ステータスを調節します。

2) Image Size(イメージのサイズ)
   - 使用している表示の現在のイメージサイズを示します。

3) Input
   - 情報グリッドは、入力信号が PC、BNC、DVI および DP のときにのみ表示されます。

4) PC Source
   - イメージサイズをクリックすると、PC、BNC、DVIタブが最初に表示されます。
   - Image Size 制御ボタンは、PC、BNC、DVI および DP で使用できる Image Size を制御します。

5) Video Source
   - AV、S-Videoとコンポーネントタブをクリックして、それぞれの入力ソースのイメージサイズを調節します。

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

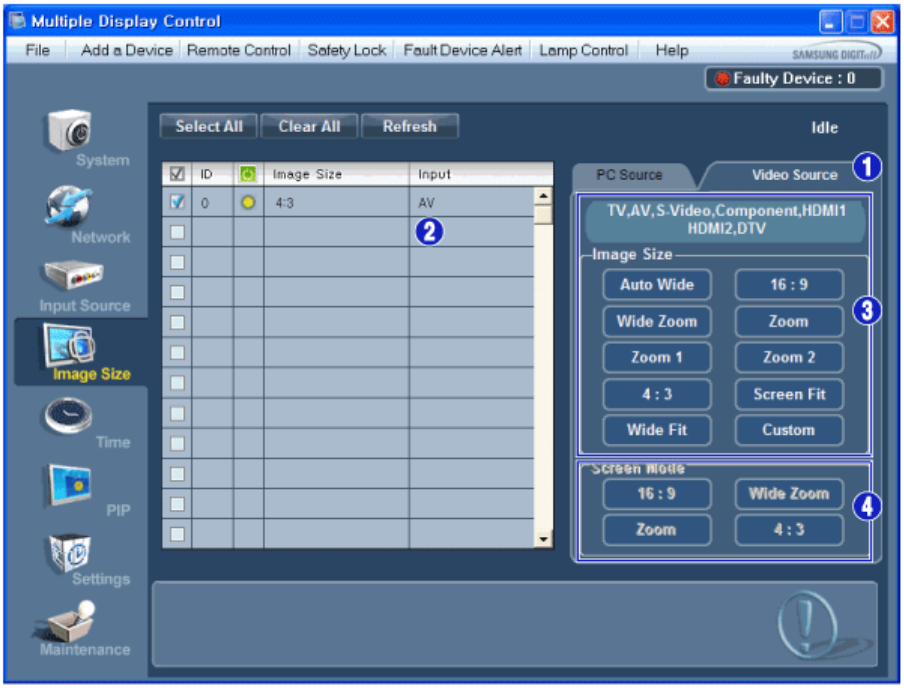
✱ **イメージサイズの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

✱ **製品によっては DP はサポートされていません。**

イメージサイズの調節

TV, AV, S-Video, Component, DVI(HDCP), HDMI1, HDMI2, DTV

1. メインアイコンのイメージサイズをクリックすると、イメージサイズ調節画面が表示されます。



✱ Info Gridが、時間の調節に必要な基本情報を表示します。

1) TV、AV、S-Video、Component、HDMI1、HDMI2 または DTV モードで Image Size を調整するには、Video Source タブをクリックします。選択ボタンを使用するかチェックボックスをチェックして、調整するディスプリを選択します。
2) 情報グリッドは、入力信号として TV、AV、S-Video、Component、HDMI1、HDMI2 または DTV があるディスプレイのみを表示します。
3) 選択された表示のイメージサイズをランダムに切り替えます。
4) 画面モードはTV (PAL のみ) が接続されていて、Image Size (画像サイズ) 項目が Auto Wide (オートワイド) に設定されているときにのみ調整できます。

✱ **Custom は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **Auto Wide(オートワイド)、Zoom1(ズーム1)およびZoom2(ズーム2)は、コンポーネントとDVI(HDCP)の入力信号タイプが720pまたは1080iのときにのみ選択できます。**
(Auto Wide モードは、TV、AV、および S-Video でのみ使用できます。)>

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

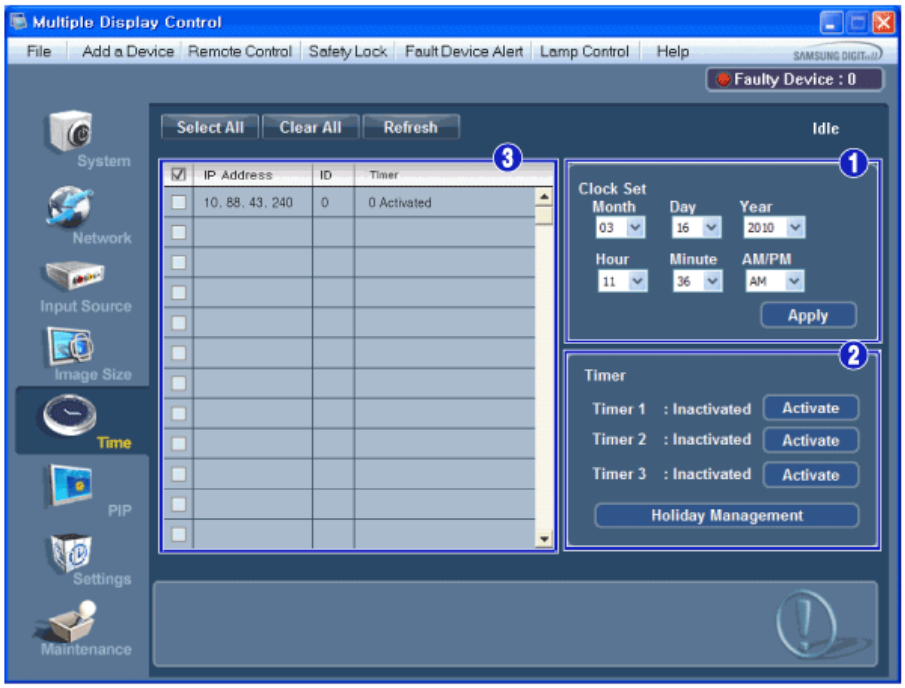
✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **イメージサイズの調節は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

✱ **HDMI2 may not be supported depending on the product.**

時間の調節

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調節画面が表示されます。



✱ Info Gridが、イメージサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) Set clock
   - 選択された表示のために現在の時間を設定します。(PC Time)
   - 現在の時間を変更するには、最初にPCの時間を変更します。
2) Timer
   - Timer1、Timer2、Timer3 および Holiday Management を設定します。
3) Timer が有効になっているかどうかを表示します。

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **タイムコントロールは、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

Time

Timer と Holiday Management を設定します。

1. 1. Timer1、Timer2 および Timer3 の設定

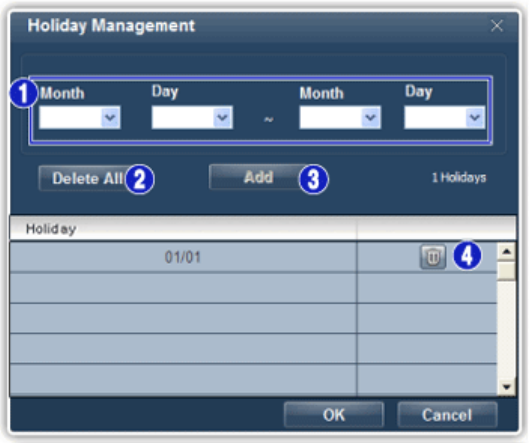
1) On Time

- 選択したモニターをオンにする時刻を時、分、および AM/PM で設定します。

2) Off Time
   - 選択したモニターをオフにする時刻を時、分、および AM/PM で設定します。
3) Volume
   - 選択したモニターがオンになったときの音量を選択します。
4) Source
   - 選択したモニターを音にしたときの外部入力信号を選択します。
5) Holiday
   - Holiday Management 機能を Timer に適用します。
6) Repeat
   - Once、EveryDay、Mon~Fri、Mon~Sat、Sat~Sun、および Manual のいずれかを選択できます。
     - Once:Timer は 1 回だけ動作します。
     - EveryDay:Timer 毎日繰り返します。
     - Mon~Fri:Timer は月曜から金曜まで繰り返します。
     - Mon~Sat:Timer は月曜から土曜まで繰り返します。
     - Sat~Sun:Timer タイマーは土曜と日曜に動作します。
     - Manual:タイマーを動作させる曜日を選択します。

2. Holiday Management の設定

   Holiday Management 機能は、Timer でモニターをオンまたはオフにする日を指定します。



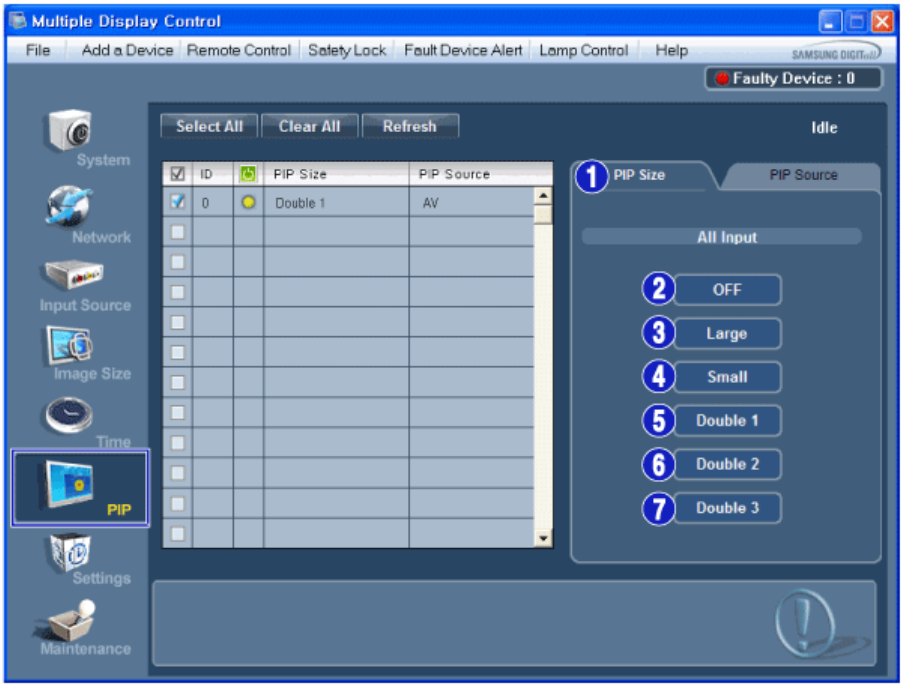
1) 日付を指定します。
2) Delete All
   - すべての休日を削除します。
3) Add
   - 指定した日付を追加します。
4)
   - 選択した行のスケジュールを削除します。

* **Holiday Management 機能は、Timer 設定メニューでオン/オフを切り替える事ができます。**
* **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**
* **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**
* **タイムコントロールは、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**
* **On Time モードで Source が TV に設定されているときに TV についてのみ有効になります。**
* **On Time モードで Source が MagicInfo に設定されているときに、MagicInfo がインストールされているモデルでのみ有効になります。**

PIP

PIP サイズ

1. メインアイコンのPIPをクリックすると、PIPの調節画面が表示されます。
   Select ボタンまたはチェックボックスを使用して調整したいディスプレイを選択します。



✱ Info Gridが、PIPサイズの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PIP Size(PIP サイズ)
   - 使用している表示の現在のPIPサイズを示します。
2) OFF
   - 選択された表示のPIPをOffにします。
3) Large
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズをLargeに変更します。
4) Small
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズをSmallに変更します。
5) Double1
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 1変更します。
6) Double2
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 2変更します。
7) Double3 (Picture By Picture)
   - 選択された表示のPIPをOnにして、サイズを Double 3変更します。

✱ **PIP Size は、LCD ディスプレイの電源をオンにしたときに制御することができます。**

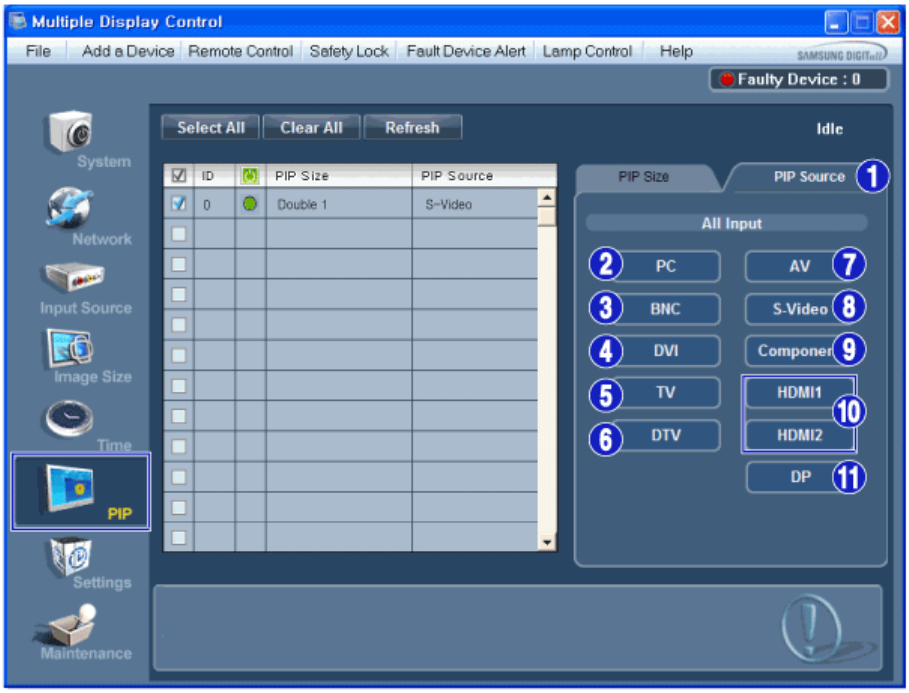
✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **選択された表示の電源をOn/Offに切り替えます。**

PIP

PIP ソース

1. メインアイコンのPIPをクリックすると、PIPの調節画面が表示されます。



✱ Info Gridが、PIPソースの調節に必要な基本情報を表示します。

1) PIP Source
- PIP サイズは、モニターの電源をOnにして調節することができます。

2) PC
- 選択された表示のPIPソースをPCに切り替えます。

3) BNC
- 選択された表示のPIPソースをBNCに切り替えます。

4) DVI
- 選択された表示のPIPソースをDVIに切り替えます。

5) TV
- 選択された表示のPIPソースをTVに切り替えます。

6) DTV
- 選択された表示のPIPソースをDTVに切り替えます。

7) AV
- 選択された表示のPIPソースをAVに切り替えます。

8) S-Video
- 選択された表示のPIPソースをS-Videoに切り替えます。

9) コンポーネント
- 選択された表示のPIPソースをコンポーネントに切り替えます。

10) HDMI 1/HDMI2
- 選択された表示のHDMI 1/HDMI2ソースをS-Videoに切り替えます。

11) DP
- 選択したディスプレイの PIP 入力信号を DP に切り替えます。

✱ **主画面の外部入力信号タイプによって、同時画面外部入力が選択できないことがあります。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **同時画面コントロール機能は、電源ステータスおよび同時画面機能がオンのディスプレイで利用可能です。**

✱ **製品によっては HDMI2 はサポートされていません。**

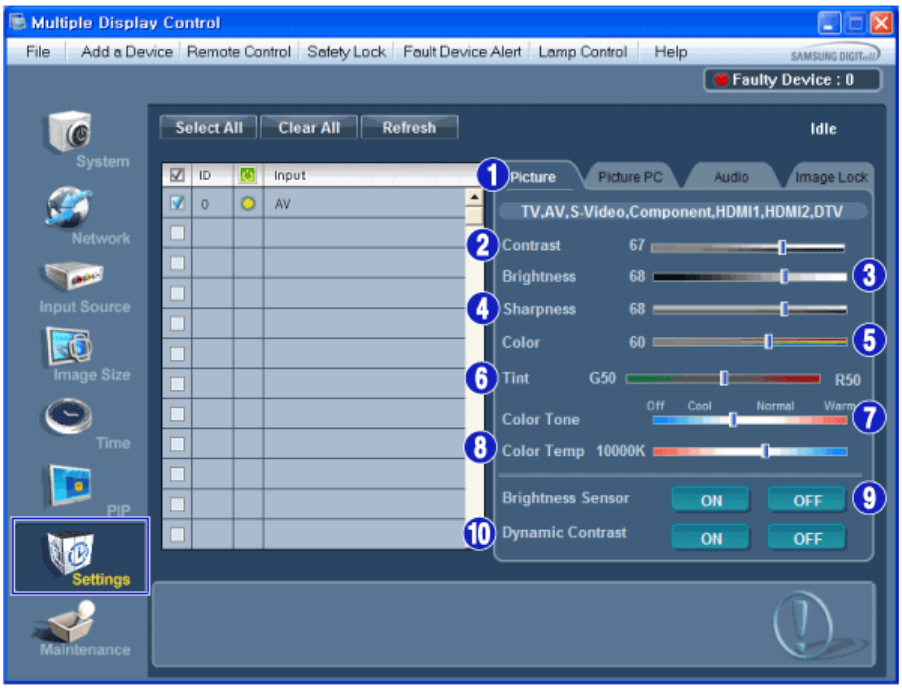
✱ **製品によっては DP はサポートされていません。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

設定の調整

ピクチャー

1. メインアイコンの時間をクリックすると、設定の調整画面が表示されます。



✱ Picture を調整するのに必要な基本情報がメインメニューに表示されます。接続したモニターの 1 台を選択するとそのモニターの設定が表示され、All および Select をクリックしてすべてのモニターを選択するとデフォルト設定が表示されます。この画面であたいを変更すると、現在のモードが自動的にカスタム モードに切り替わります。

1) Picture(ピクチャー)
   - AV, S-Video, コンポーネント, HDMI1, HDMI2, DVIにのみ有効となります。
2) Contrast(コントラスト)
   - 選択された表示のコントラストを調整します。
3) Brightness(明るさ)
   - 選択された表示の明るさを調整します。
4) Sharpness(鮮明さ)
   - 選択された表示の鮮明さを調整します。
5) Color(色)
   - 選択された表示の色を調整します。
6) Tint(濃淡)
   - 選択された表示の濃淡を調整します。
7) Color Tone(色温度)
   - 選択したディスプレイの色温度を調整します。
8) Color Temp
   - 選択されたディスプレイのColor Tempを調整します。
9) Brightness Sensor
   - 選択されたディスプレイのBrightness Sensorを調整します。
10) Dynamic Contrast
   - 選択されたディスプレイのDynamic Contrastを調整します。

✱ **Brightness Sensor は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

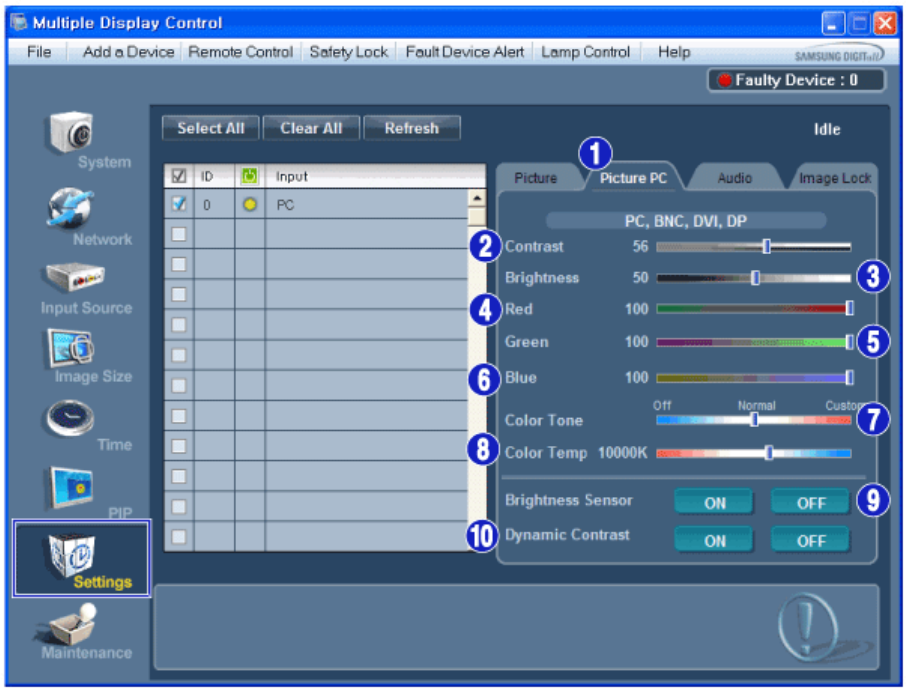
✱ **この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

設定の調整

ピクチャーPC

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



✱ 調整の必要な基本情報が表示されます。ディスプレイの ID を選択すると対応する SET の設定がインポートされてスライダに表示され、All および Select をクリックしてすべてのディスプレイ ID を選択するとデフォルト設定が表示されます。この画面であたいを変更すると、現在のモードが自動的にカスタム モードに切り替わります。

1) ピクチャーPC
   - PC、BNC、DVI および DP でのみ使用できます。
2) Contrast(コントラスト)
   - 選択された表示のコントラストを調整します。
3) Brightness(明るさ)
   - 選択された表示の明るさを調整します。
4) Red
   - 選択された表示の色の温度を調節します。(Red)
5) Green
   - 選択された表示の色の温度を調節します。(Green)
6) Blue
   - 選択された表示の色の温度を調節します。(Blue)
7) Color Tone
   - 選択されたディスプレイのColor Toneを調整します。
8) Color Temp
   - 選択されたディスプレイのColor Tempを調整します。
9) Brightness Sensor
   - 選択されたディスプレイのBrightness Sensorを調整します。
10) Dynamic Contrast
   - 選択されたディスプレイのDynamic Contrastを調整します。

✱ **Brightness Sensor は製品によってはサポートされない場合があります。**

✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **色温度 がオフに設定されている場合にのみ有効になります。**

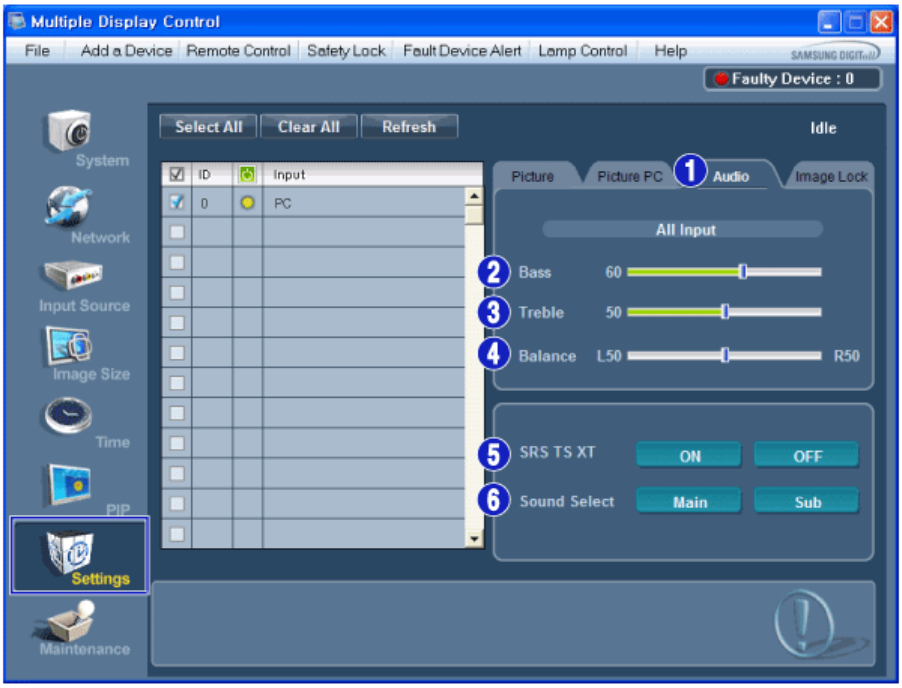
✱ **この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。**

✱ **製品によっては DP はサポートされていません。**

設定の調整

オーディオ（Audio）

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



* Audio を調整するのに必要な基本情報ディスプレイ ウィンドウに表示されます。ディスプレイの ID を選択すると対応する SET の設定がインポートされてスライダに表示され、All および Select をクリックしてすべてのディスプレイ ID を選択するとデフォルト設定が表示されます。この画面であたいを変更すると、現在のモードが自動的にカスタム モードに切り替わります。

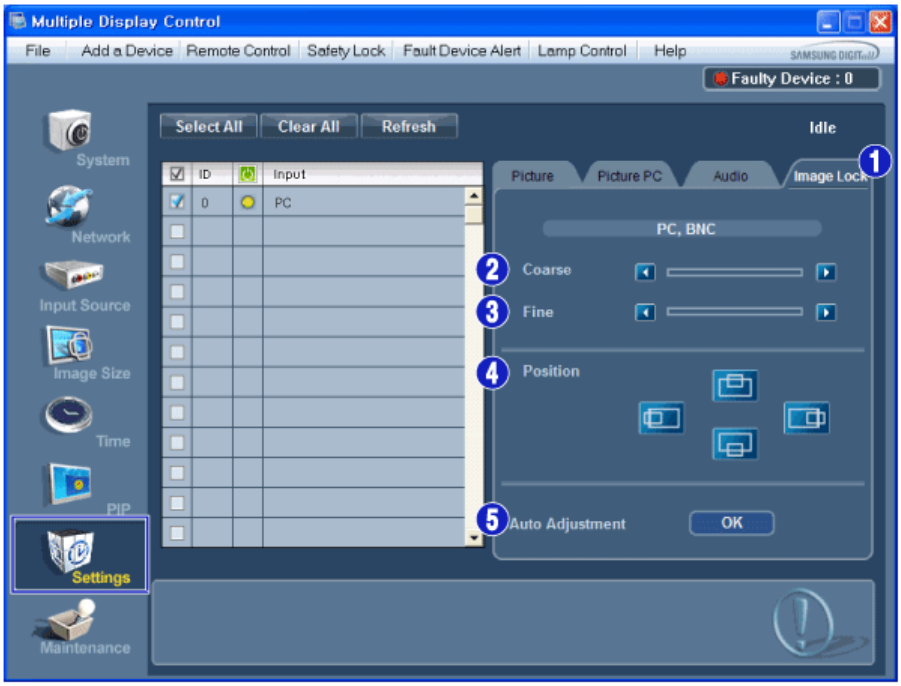
1) Audio(オーディオ)
   - すべての入力ソースのために、オーディオ設定をコントロールします。
2) Bass(低音)
   - 選択された表示の低音を調整します。
3) Treble(高音)
   - 選択された表示の高音を調整します。
4) Balance(バランス)
   - 選択された表示のバランスを調整します。
5) SRS TS XT
   - 選択された表示のSRS TS XTサウンドのOn/Off。
6) Sound Select (音の選択)
   - PIP がオンの場合、メインまたはサブのどちらかを選択することができます。

* **この機能は電源ステータスがオンのディスプレイのみ使用可能です。また、何も選択されていない場合、工場出荷時のデフォルト値が表示されます。**
* **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**
* **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

設定の調整

Image Lock (イメージロック)

1. メインアイコンの時間をクリックすると、時間の調整画面が表示されます。



✱ Info Gridが、時間の調整に必要な基本情報を表示します。

1) Image Lock(イメージロック)
   - PC, BNCにのみ有効。
2) Coarse(粗調整)
   - 選択された表示の粗調整を調整します。
3) Fine(微調整)
   - 選択された表示の微調整を調整します。
4) Position(場所)
   - 選択された表示の場所を調整します。
5) Auto Adjustment(Auto (オート)調整)
   - 入ってくるPC信号に対して自動調整する。

✱ **Maintenance 制御機能は、電源ステータスがオンになっているディスプレイについてのみ使用できます。**

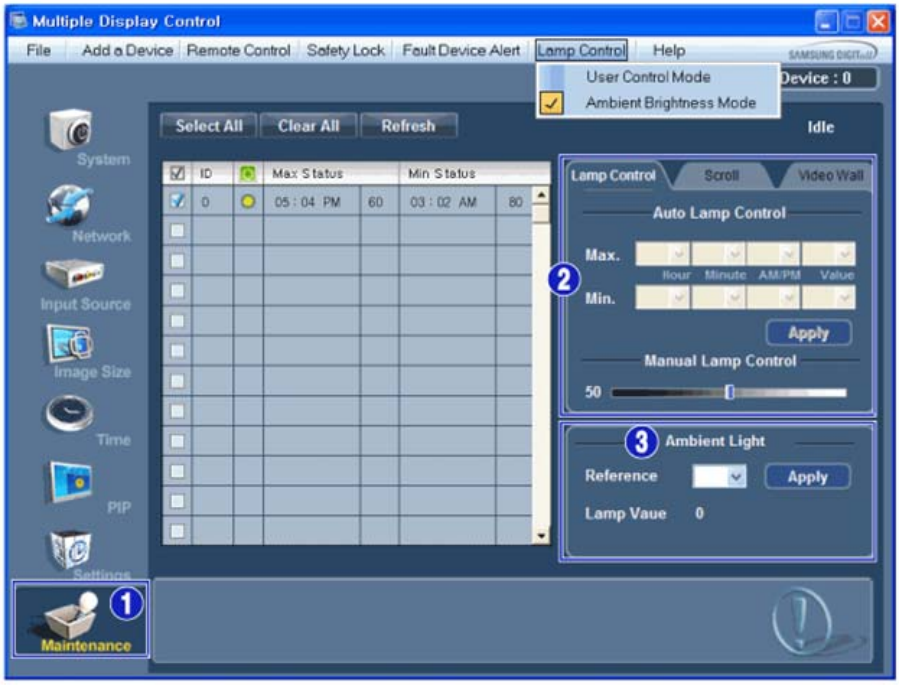
✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

✱ **設定の調整は、電源ステータスがONの表示にだけ有効となります。**

メンテナンス

ランプコントロール

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



✱ 数種の基本データ項目を示す“インフォグリッド”が表示されます。

1) Maintenance(メンテナンス)
   - すべての外部入力に対してメンテナンスコントロール機能を許可します。

2) Lamp Control(ランプコントロール)
   - 選択したディスプレイのバックライトを一定時間自動的に調整します。
     手動ランプコントロール機能を利用して調整した場合、自動ランプコントロール機能は自動的にオフになります。
   - 選択したディスプレイのバックライトを、時間に関わらず調整できるようにします。
     手動ランプコントロール機能を利用して調整した場合、自動ランプコントロール機能は自動的にオフになります。

3) Ambient Light
   - 指定したモニター周辺の光の強さを検出して、画像の明るさを自動的に調整します。
   - Reference 値を指定して、周囲の光の強さに基づいて Lamp Value (ランプからの光の強度) を自動的に決定するモニターを指定できます。

✱ **Ambient Light は輝度センサーのあるモデルでのみサポートされ、Lamp Control メニューでAmbient Brightness Mode が選択されているときにのみ有効になります。**

✱ **Auto Lamp Control および Manual Lamp Control は、Lamp Control メニューで User Control Mode が選択されているときにのみ有効になります。**

✱ **メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。**

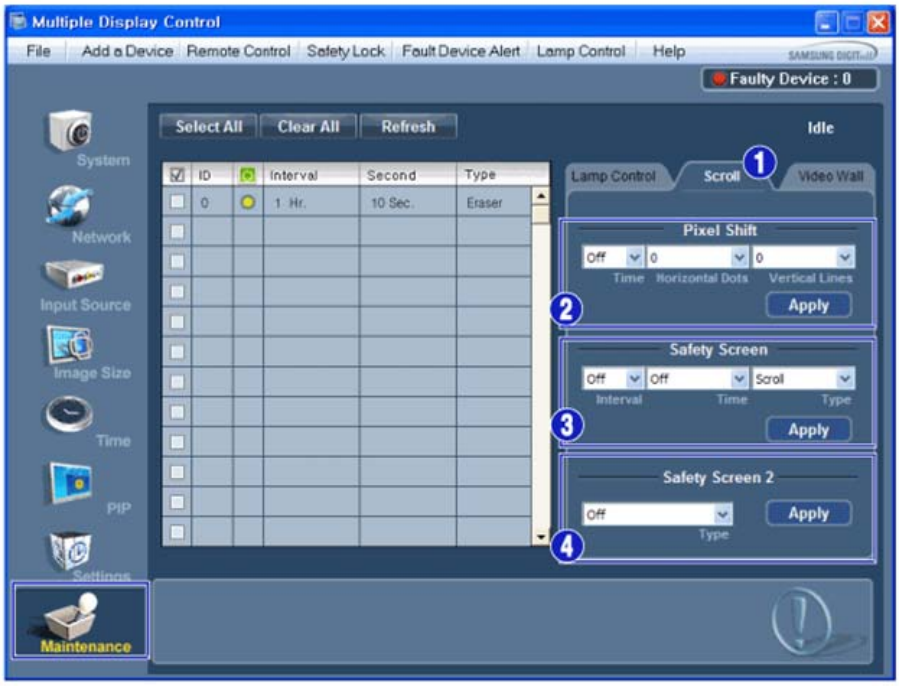
✱ **MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

✱ **TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

メンテナンス

Scroll

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



1) Scroll
   - この機能は、選択されたディスプレイ上に長時間静止画が表示されたときに発生する残像を除去するのに使用します。
2) Pixel Shift
   - これによって、画面の位置を指定した時間間隔で細かく動かすことができます。
3) Safety Screen
   - Safety Screen (安全画面) 機能は、静止画がモニター上に長時間表示されたときに発生する残像を防止するのに使用します。 Interval (間隔) 項目は繰り返しのサイクルを時間単位で指定するのに使用し、Time (時刻) 項目は Safety Screen (安全画面) 機能を実行する時刻を設定するのに使用します。
     Type (タイプ) 項目は、Scroll (スクロール)、Pixel (ピクセル)、Bar (バー)、Eraser (消去)、All White (オールホワイト)、または Pattern (パターン) のいずれかに設定できます。
4) Safety Screen2
   - この機能は、残像の発生を防止するのに使用します。5 種類のタイプから選択して、この機能を制御することができます。

*** Scroll (スクロール) タイプの場合は、Time (時刻) 項目は 1、2、3、4 または 5 に設定できます。Bar (バー) および Eraser (消去) タイプの場合は、10、20、30、40 または 50 に設定できます。All White (オールホワイト) および Pattern (パターン) タイプの場合は、1、5、10、20 または 30 に設定できます。**

*** メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。**

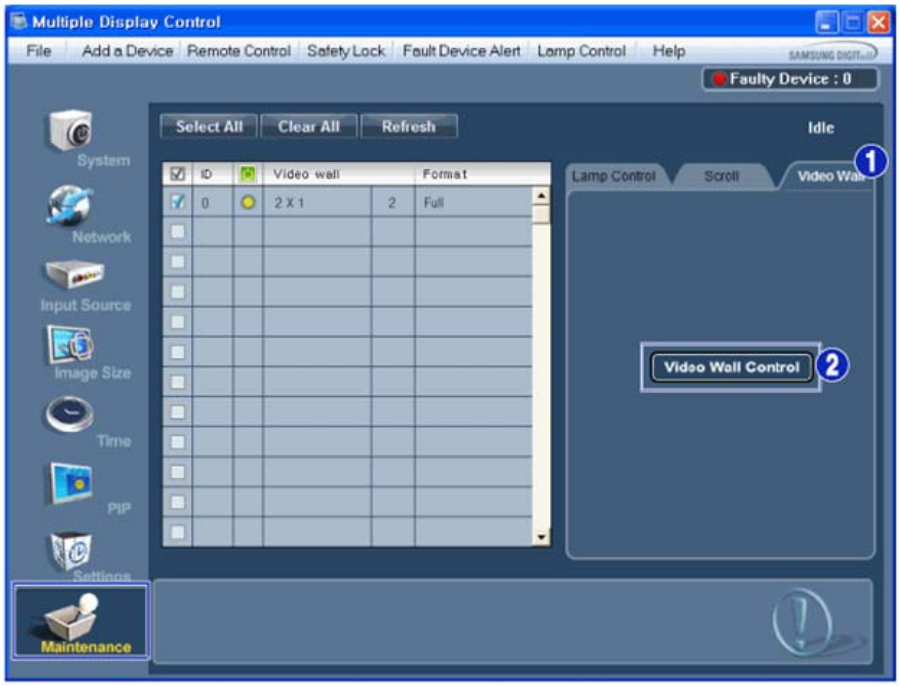
*** MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。**

*** TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。**

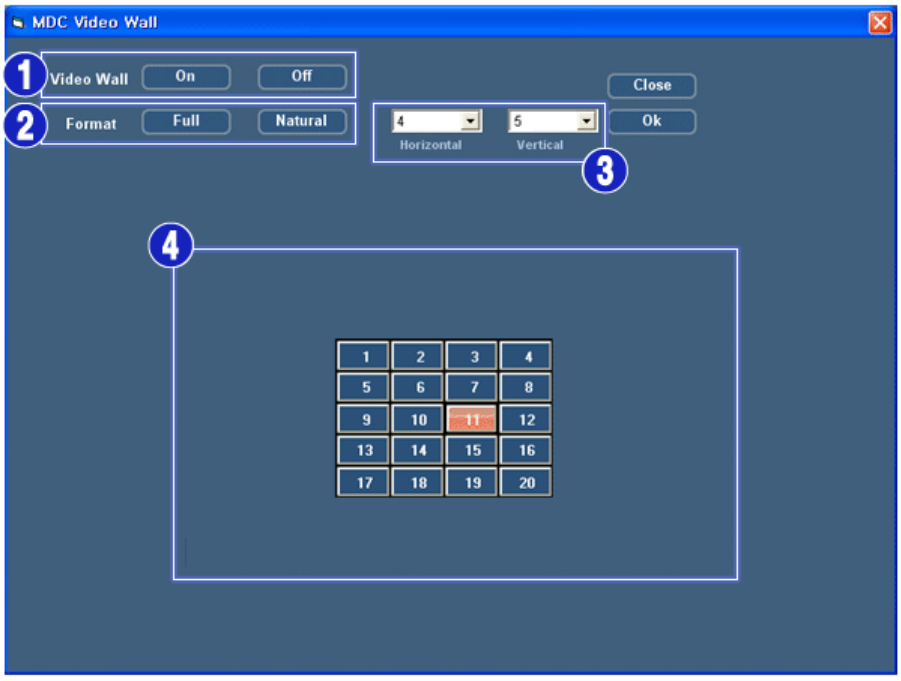
メンテナンス

Video Wall

1. メインアイコン欄の“メンテナンス”アイコンをクリックしてメンテナンス画面を表示します。



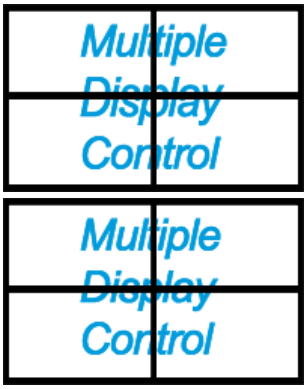
1) Video Wall
   - ビデオウォールは、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。
2) Video Wall Control
   - Video Wall プロパティを設定できます。



1) On / Off
   - 選択したディスプレイのビデオウォール機能のオン/オフを切り替えます。
2) Format
   - 分割したスクリーンを表示するフォーマットを選択できます。

- Full

- Natural



3) Video Wall (Screen Divider)
   - スクリーンは分割できます。
     多数のスクリーンを異なるレイアウトや分割方法にすることができます。
     - [Screen divider]からモードを選択します。
     - [Display Selection]からディスプレイを選択します。
     - 選択したモードの数字をオスと、配置が設定されます。
     - 配置できるモニターの最大数: Horizontal X Vertical = 100
     - 最大 15 台のモニターを 1 列に配置できます。Vertical を 15 に設定した場合の Horizontal の最大値は 6、Horizontal を 15 に設定した場合の Vertical の最大値は6 です。
4) 画面分割の表示
   - Screen Divider 設定を使用して、画面のレイアウトを表示および変更できます。

Screen Divider 設定の範囲は、モデルによって異なります。

MagicInfo の入力ソースは、MagicInfo モデルでのみ有効です。

TV の入力ソースは、TV モデルでのみ有効です。

メンテナンスコントロール機能は、電源ステータスがオンのディスプレイで利用可能です。

トラブルシューティング

1. コントロールしたい表示が、System Info Gridに示されません。
   - 入力した IP アドレスが正しいことを確認し、イーサネット ケーブルの接続状態をチェックします。
   - 他の表示の何れかが同じIDを持っているかどうか見るために表示を確認します。1つ以上の表示が同じIDを持っている場合、データの衝突によりプログラムが、正しくそれらの表示を検出しません。
   - 0～99 の設定 ID をサポートしているモニターについては、設定 ID を 0～99 の範囲の値に設定する必要があります。.

   <注意>モニターの 設定 ID が 0～99 の範囲の値であることを確認します (値はディスプレイ メニューを使用して設定します)。

2. コントロールしたい表示が、他のControl Info Gridsに示されません。
   - 電源コードがしっかりと接続されているか確認してください。(System Info Gridの中でこれを確認します。)
   - 表示の入力ソースを変更できるか確認してください。

3. ダイアログボックスが、繰り返し表示されます。
   - 調節したい表示が、選択されているかどうか確認します。☑

4. On Timer と Off Timerの両方が送られても異なる時間が表示されている。
   - 現在の時間を調整して、表示時計を同期化します。

5. リモート機能をオフにして、RS-232Cケーブルの接続を切り、不定期にプログラムを終了すると、リモートは、正しく機能しないことがあります。プログラムを再起動し、通常の機能を元に戻すために、リモート機能を再び実行します。

<注意> このプログラムは、通信回路の問題、または電子機器からの障害が生じた場合、うまく機能しない場合があります。

マルチディスプレイモードにおける設定画面を表示する

接続している画面が一つ以上ある場合、設定値は、以下のように表示されます。

1. 選択なし:工場出荷時の値を表示する。
2. 選択された一つの表示:選択された表示のために設定値を持ってきて表示する。
3. 選択された一つの画面 (ID1) と追加された他の画面 (ID3):ID 1の設定値を表示していたプログラムが、ID3の値を持ってきて表示します。
4. All および Select をクリックしてすべての設定を同時に選択すると、デフォルト値に戻ります。

Copyrightⓒ 2003-2010 Samsung Electronics Co. Ltd. All rights reserved.

LCD ディスプレイの調整

入力

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

外部入力

PC、HDMI または LCD ディスプレイに接続されているその他の外部入力信号を選択して使用します。使用する画面を選択します。

1. **PC**
2. **DVI**
3. **AV**
4. **コンポーネント**
5. **HDMI1**
6. **HDMI2**
7. **ディスプレイ ポート**
8. **MagicInfo**

9. **TV**- TV チューナー ボックスが接続されているときに有効になります。

注意

[RGB/COMPONENT IN] ポートは RGB (PC) およびコンポーネント信号に対応しています。

ただし、外部入力信号が選択したビデオ信号と異なる場合には、映像が正常に表示されない場合があります。

同時画面PAHT

注意

同時画面 機能は **画像分割** が **オン** のときには使用できません。

VCR または DVD のような外部 AV 装置を LCD ディスプレイに接続するときには、**同時画面** によってこれらの装置からのビデオを PC ビデオ信号にスーパーインポーズされる小さなウィンドウで観ることができます。(**オフ/オン**

注意

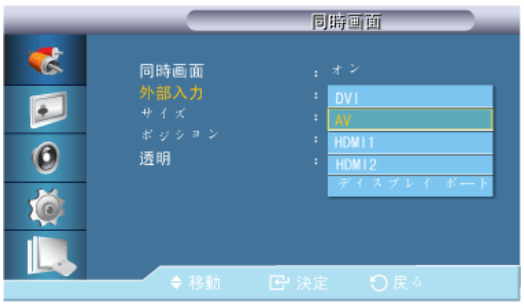
- モニターが外部ソースに切り替わると、PIP はオフになります。
- **サイズ** で 、 、 を選択した場合は、**ポジション** および **透明** は無効になります。

同時画面

同時画面 画面の**オフ/オン**を切り替えます。

- **オフ**
- **オン**

外部入力



注意

- プライマリ画面で信号が受信されないときには、PIP が無効になります。
- TV を使用するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続する必要があります。

PIP の入力ソースを選択します。

- **PC** :**DVI**, **AV**, **HDMI1**, **HDMI2**, **ディスプレイ ポート**
- **DVI** :**PC**
- **AV** :**PC**
- **HDMI** :**PC**
- **ディスプレイ ポート** :**PC**

サイズ

PIP ウィンドウの Size (サイズ) を変更します。

ポジション

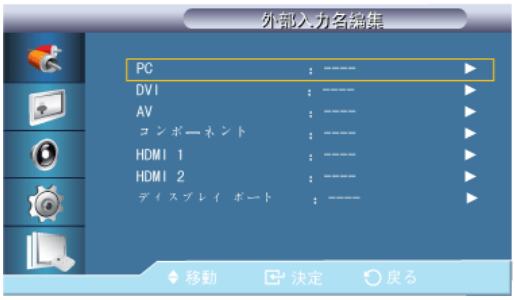
PIP ウィンドウの Position (位置) を変更します。

透明

PIP ウィンドウの透明度を調整します。

- **高**
- **中**
- **低**
- **▪ 透明**

外部入力名編集PACHMT



入力信号の選択を簡単にするために、入力ジャックに接続されている入力機器に名前を付けます。

VTR / DVD / ケーブル STB / デジタル STB / 衛星放送チューナー / AV レシーバー / DVD プレーヤー / ゲーム /DVC / DVD コンボ / DVD+HDD / PC / DVI PC / DVI 装置

注意

- ディスプレイ デバイスは外部入力モードによって異なります。
- PC を HDMI 端子に接続しているときは、**外部入力名編集** を **PC** に設定します。その他の場合には、**外部入力名編集** を **AV** に設定します。ただし、640x480、720P (1280x720)および 1080p (1920x1080) は **AV** と **PC** に共通する信号であるため、**外部入力名編集** を入力信号に合わせて設定するようにしてください。
- PC が接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI PC** に設定して、接続された PC からのビデオとオーディオを楽しむことができます。
- AV 機器が接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI 装置** に設定して、接続された AV 機器からのビデオとオーディオを楽しむことができます。

入力信号自動切換設定PACHMT

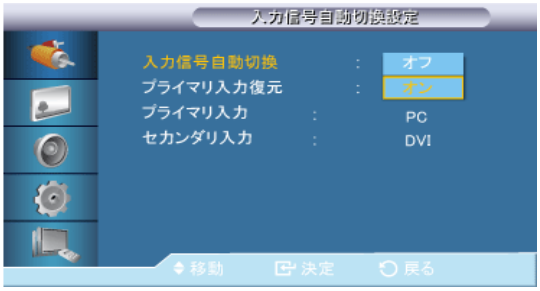
入力信号自動切換 が **オン** の状態でディスプレイをオンにしたとき、前に選択していたビデオ入力信号がない場合には、ディスプレイは自動的に別のアクティブなビデオ入力信号を探します。

注意

- TV 信号がアクティブ (TV チューナーがディスプレイに接続されている) な場合、**入力信号自動切換** 検索機能は無効になります。ディスプレイは TV 信号のままになります。
- **入力信号自動切換** の選択と **同時画面** 機能: **入力信号自動切換** 選択が **オン** に設定されている場合、**同時画面** 機能は動作しません。**同時画面** 機能を動作させるには、**入力信号自動切換** 選択を **オフ** にする必要があります。
- **入力信号自動切換** 選択が **オン** のとき、または **プライマリ入力復元** が **オン** のときには、ディスプレイの省電力モードは無効になります。
- **プライマリ入力復元** が **オン** のときには、**プライマリ入力** および **セカンダリ入力** 選択のみが利用でき、お好みに応じて入れ換えて選択することができます。

  それぞれのプライマリ入力信号に対応する信号については **同時画面 > 外部入力** を参照してください。

入力信号自動切換



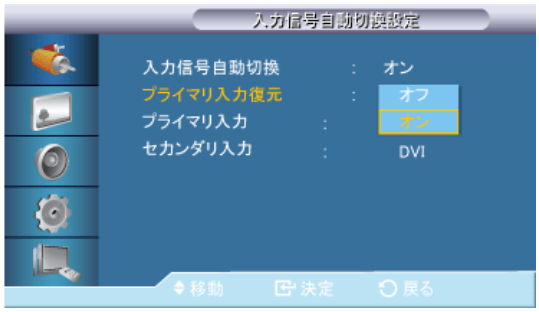
入力信号自動切換 が **オン** のときには、ディスプレイのビデオ信号が自動的にアクティブなビデオを検索します。

現在の入力信号が認識できない場合には、**プライマリ入力** 選択が有効になります。**セカンダリ入力** 選択は、使用できるプライマリのビデオ信号がない場合に有効になります。プライマリまたはセカンダリの信号が認識できない場合には、ディスプレイは再度検索を行い、有効なビデオ信号が見つからなければディスプレイは入力信号がないことを示すメッセージを表示します。

プライマリ入力 選択が **すべて** に設定されているときは、ディスプレイはすべてのビデオ入力信号を 2 回連続して検索してアクティブなビデオ信号を探し、ビデオが見つからない場合には最初のビデオ信号に戻ります。

1. **オフ**
2. **オン**

プライマリ入力復元

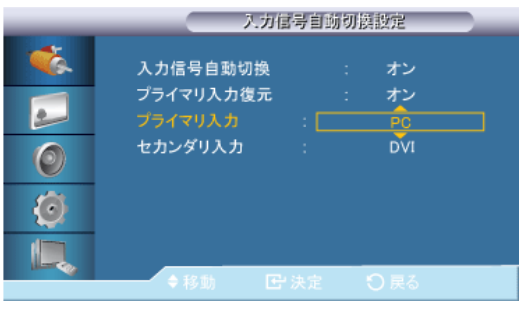


プライマリ入力復元 が **オン** のときには、**プライマリ入力** および **セカンダリ入力** のビデオ信号選択を検索してアクティブなビデオ信号を探します。

アクティブなビデオが見つかった場合には **プライマリ入力** が選択され、ビデオが見つからない場合には **セカンダリ入力** が選択されます。 **セカンダリ入力** にもビデオが見つからない場合には、入力信号がないことを示すメッセージが表示されます。

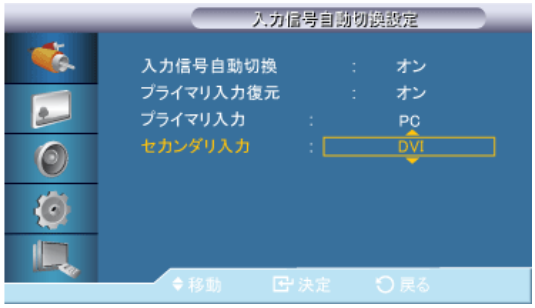
1. **オフ**
2. **オン**

プライマリ入力



自動入力信号に **プライマリ入力** を指定します。

セカンダリ入力



自動入力信号に **セカンダリ入力** を指定します。

映像 [PC / DVI / ディスプレイ ポート / MagicInfo モード]

- PC に接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI PC** に設定して、PC に保存されたビデオまたはオーディオ コンテンツを楽しむことができます。
- AV 機器に接続されている場合は、**外部入力名編集** を **DVI 装置** に設定して、AV 機器に保存されたビデオまたはオーディオ コンテンツを楽しむことができます。

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

モード PM

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **情報**

   正確な情報の伝達用に推奨されます (公開情報など)。

2. **広告**

   広告の表示用に推奨されます (ビデオ、屋内または屋外広告など)。

3. **ユーザー調整**

ユーザー調整

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

注意

- **ユーザー調整** 機能を使用して画像を調整すると、**モード** は **ユーザー調整** モードに変わります。
- **ダイナミックコントラスト** が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **コントラスト**

   コントラストを調整します。

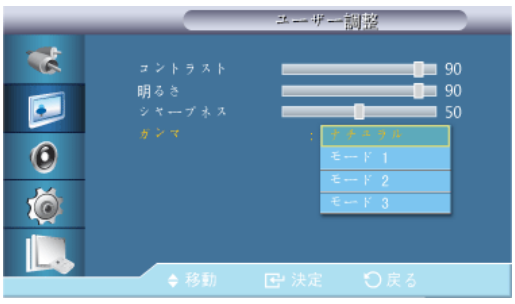
2. **明るさ**

   輝度を調整します。

3. **シャープネス**

   シャープネスを調整します。

4. **ガンマ**



   映像の中間域の明るさ (ガンマ) を調整します。

   - **ナチュラルモード**

- **モード 1**

  映像を **<ナチュラル>** よりも明るく設定します。

- **モード 2**

  映像を **<モード 1>** よりも暗く設定します。

- **モード 3**

  明るい色と暗い色の間のコントラストを強くします。

色温度PM

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

色温度を変更できます。

1. **オフ**
2. **青色系**
3. **標準**
4. **赤色系**
5. **ユーザー調整**

注意

[色温度] を **[青色系]**、**[標準]**、**[赤色系]** または **[ユーザー調整]** に設定すると、**Color Temp.** 機能が無効になります。

色温度 を **オフ** に設定している場合は、**カラー調整** 機能は無効になります。

カラー調整PM

赤、緑、青のそれぞれの色バランスを調整します。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **赤**

2. **緑**

3. **青**

Color Temp. PM

Color Temp. は、画像の色の「暖かさ」を示す指標です。

注意

この機能は、**モード** が **ユーザー調整** に設定され、**ダイナミックコントラスト** と **色温度** が **オフ** の場合に有効になります。

画面調整P

画面調整 は、ゆらぎやちらつきのある不安定な映像の原因となるノイズを取り除くことにより、最適な映像を得るための微調整に使用します。細密調整を使用して満足な結果が得られない場合には、粗調整による調整を行ってから再度細密調整を行ってください。

注意

PC モードでのみ使用可。

粗調整

縦縞などのノイズを除去します。粗調整では、画面イメージ領域が移動する場合があります。水平コントロール メニューを使用して、中央に位置を合わせることができます。

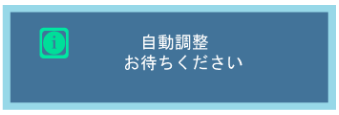
微調整

横縞などのノイズを除去します。細密調整後もノイズが残る場合は、周波数 (クロック速度) の調整を行ってから、調整し直してください。

ポジション

画面の水平および垂直位置を調整します。

自動調整



微調整、**粗調整**、**ポジション** の値は自動的に調整されます。コントロールパネルで解像度を変更すると、自動機能が実行されます。

注意

PC モードでのみ使用可。

信号バランス

信号ケーブルが長いため弱くなっている RGB 信号を補強します。

注意

- **ダイナミックコントラスト** が **オン** に設定されているときには使用できません。
- **PC** モードでのみ使用可。

信号バランス

信号バランスは **オン** または **オフ** のいずれかを選択します。

信号制御

注意

信号バランス が **オン** になっているときに使用できます。

1. **R ゲイン**

2. **G ゲイン**

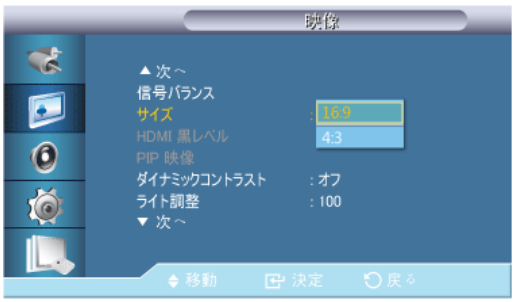
3. **B ゲイン**

4. **R オフセット**

5. **G オフセット**

6. **B オフセット**

サイズ



サイズ は切り替えられます。

1. **16:9**
2. **4:3**

PIP 映像

PIP 画面設定を調整します。

注意

- 利用できるモード:**同時画面 オン**

1. **コントラスト**

画面上の PIP ウィンドウのコントラストを調整します。

2. **明るさ**

画面上の PIP ウィンドウの明るさを調整します。

3. **シャープネス**

画面の PIP ウィンドウのシャープネスを調整します。

4. **色の濃さ**

画面の PIP ウィンドウの色を調整します。

注意

同時画面 入力は、**AV**、**HDMI** または **コンポーネント** モードでのみ動作します。

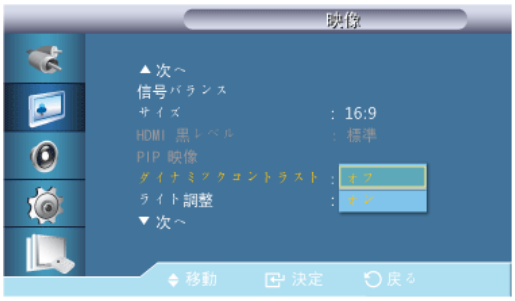
5. **色あい**

ナチュラルトーンを PIP ウィンドウに追加します。

注意

同時画面 入力は、**AV**、**HDMI** または **コンポーネント** モードでのみ動作します。

ダイナミックコントラストPM



ダイナミックコントラスト は、画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

1. **オフ**
2. **オン**

注意

この機能は、**同時画面** または **省電力** が **オン** になっているときには無効になります。

ライト調整PM

エネルギー消費を抑えるため、インバーター ランプを調整します。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

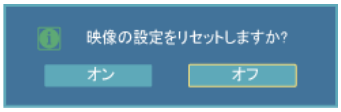
明るさセンサーPM

明るさセンサー は、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調整できるようにします。

1. **オフ**

2. **オン**

映像リセットPM



画面の設定をリセットします。

映像 [AV / HDMI / TV /コンポーネント モード]

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

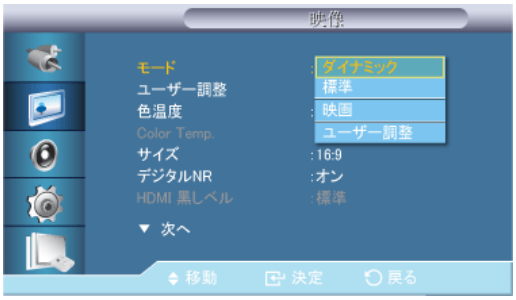
注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

モードAHCT



LCD ディスプレイには、(「**ダイナミック**」、「**標準**」、「**映画**」および「**ユーザー調整**」) の 4 種類の自動映像設定が工場出荷時に設定されています。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **ダイナミック**
2. **標準**
3. **映画**

4. **ユーザー調整**

ユーザー調整AHCT

オンスクリーン メニューを使用して、コントラストおよび明るさを好みに合わせて変更することができます。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

コントラスト

コントラストを調整します。

明るさ

輝度を調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色の濃さ

画像の色を調整します。

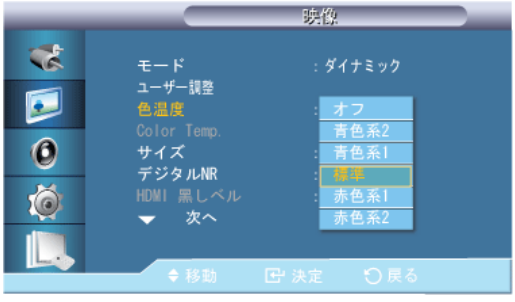
色あい

ナチュラルトーンを表示に追加します。

注意

色あいスライダは、入力信号が **HDMI**, **コンポーネント** または **AV** の場合にのみ表示されます。

色温度AHCT



色温度を変更できます。個々の色成分もユーザーが調整することができます。

注意

ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

1. **オフ**
2. **青色系 2**
3. **青色系 1**
4. **標準**
5. **赤色系 1**
6. **赤色系 2**

注意

- **色温度** を **青色系 2**、**青色系 1**、**標準**、**赤色系 1**、または **赤色系 2** に設定すると、**Color Temp.** 機能が無効になります。
- **色温度** メニューで設定を変更すると、画面モードが **ユーザー調整** に切り替わります。

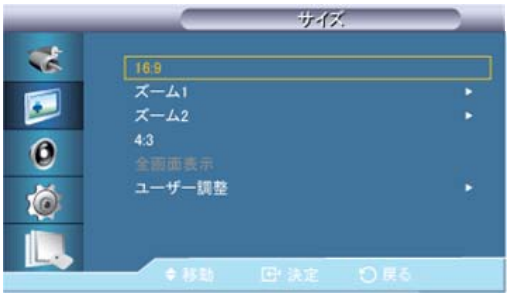
Color Temp. AHCT

Color Temp. は、画像の色の「暖かさ」を示す指標です。

注意

この機能は、**モード** が **ユーザー調整** に設定され、**ダイナミックコントラスト** と **色温度** が **オフ** の場合に有効になります。

サイズ AHC



サイズ は切り替えられます。

PC モード (PC、HDMI [PC タイミング]): **16:9** - **4:3**

ビデオ モード (**HDMI** [ビデオ タイミング]、**AV** または **コンポーネント**):**16:9** - **ズーム 1** - **ズーム 2** - **4:3** - **全画面表示** - **ユーザー調整**

1. **16:9** - 映像を 16:9 ワイド モードに設定します。
2. **ズーム 1**- 画面上の映像のサイズを拡大します。
3. **ズーム 2**-「**ズーム 1**」を超える映像のサイズを拡大します。
4. **4 : 3** - 映像を 4:3 ノーマル モードに設定します。

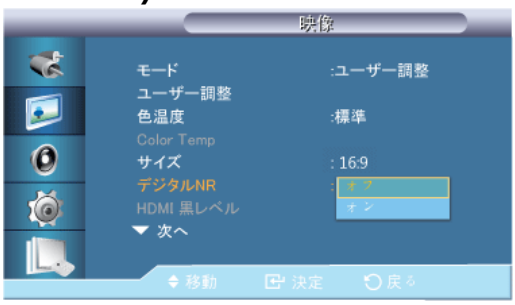
5. **全画面表示** - HDMI 720p、1080i、1080p 信号が入力されているときは、入力される画面が中断されることなく表示されます。

6. **ユーザー調整** - 好みに合わせて解像度を変更します。

注意

- **全画面表示** 機能を使用しているときでも、仕様を外れる表示を行う一部の外部デバイスでは画面が途切れる場合があります。
- **全画面表示** は、**コンポーネント** モード では 1080i/p、**HDMI** モードでは 1080i/p または 720p の場合にのみ有効になります。
- **ズーム 1** と **ズーム 2** は、HD 信号 (1080i/p、720p または 768p) については無効になります。
- **ポジション** および **リセット** 機能は **ズーム 1** または **ズーム 2** モードでのみ使用できます。

デジタル NR (Digital Noise Reduction) A H C



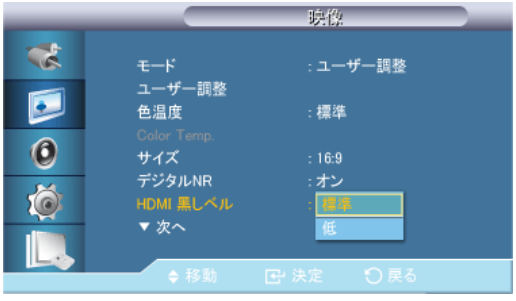
デジタル ノイズ リダクション機能の **オフ/オン** を切り替えます。デジタル ノイズ リダクション機能によって、よりきれいではっきりした画像をお楽しみいただけます。

1. **オフ**
2. **オン**

注意

デジタル NR 機能は、解像度によっては使用できない場合があります。

HDMI 黒レベル H



DVD またはセットトップボックスが HDMI を経由してテレビに接続されている場合、接続している外部デバイスによっては、ブラックレベルの上昇、コントラストの低下、変色などの画質の低下の原因となることがあります。この場合には、**HDMI 黒レベル** を設定してテレビの画質を調整してください。

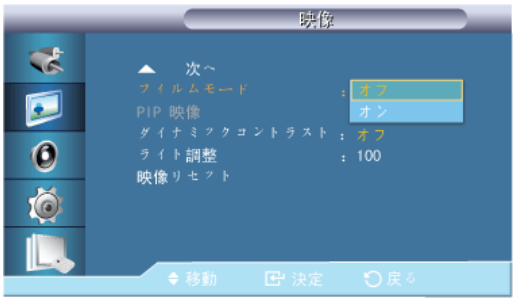
1. **標準**

2. **低**

注意

PC と **HDMI** モードの DTV の両方で使用できるタイミングについては、**HDMI 黒レベル** が有効になります。

フィルムモード AHC



フィルムモード は、TV (30 フレーム) で映画 (24 フレーム) を観るときに、自然な映像になるよう調整します。

このモードを有効にすると、動く字幕が正常に表示されないことがあります。

(**HDMI** モードでは、入力信号がインターレース スキャンの場合にこの機能を使用できます。プログレッシブ スキャン信号では使用できません)

1. **オフ**

2. **オン**

PIP 映像 AHT

同時画面 画面設定を調整します。

注意

利用できるモード:**同時画面 オン**

1. **コントラスト**

画面上の PIP ウィンドウのコントラストを調整します。

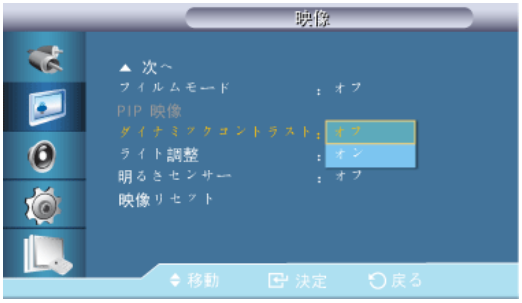
2. **明るさ**

画面上の PIP ウィンドウの明るさを調整します。

3. **シャープネス**

画面の PIP ウィンドウのシャープネスを調整します。

ダイナミックコントラストAHCT



ダイナミックコントラスト は、画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

1. **オフ**
2. **オン**

注意

この機能は、**同時画面** または **省電力** が **オン** になっているときには無効になります。

ライト調整AHCT

エネルギー消費を抑えるため、インバーター ランプを調整します。

注意

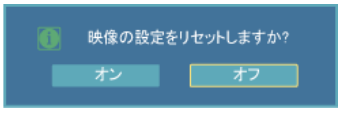
ダイナミックコントラスト が **オン** に設定されているときには使用できません。

明るさセンサーAHCT

明るさセンサー は、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調整できるようにします。

1. **オフ**
2. **オン**

映像リセットAHCT



画面の設定をリセットします。

音声

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

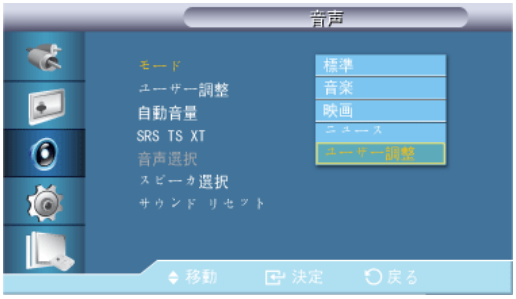
注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

モード P A C H M T



LCD ディスプレイには、Hi-Fi ステレオアンプが内蔵されています。

1. **標準**

   工場出荷時の標準設定にするには [**標準**] を選択します。

2. **音楽**

   ミュージック ビデオまたはコンサートを視聴するには [**音楽**] を選択します。

3. **映画**

   映画を観るには [**映画**] を選択します。

4. **ニュース**

   ほとんどが会話の番組 (ニュースなど) を視聴するときには、**ニュース** を選択します。

5. **ユーザー調整**

   好みに合わせて設定を調整するには、**ユーザー調整** を選択します。

ユーザー調整 P A C H M T

好みに合わせて音声設定を調整することができます。

注意

- 調整の際は、音量が 0 に設定されていても音声が鳴ります。
- **ユーザー調整** 機能を使用して音声の調整を行うと、**ユーザー調整** が **モード** モードになります。

低音

周波数の低い音声を強調します。

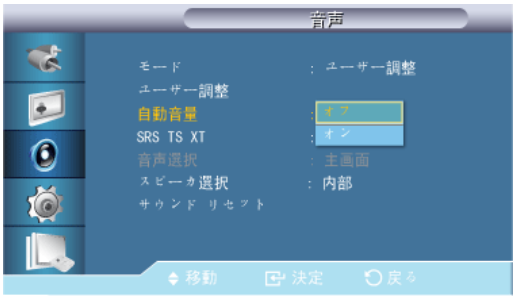
高音

周波数の高い音声を強調します。

バランス

左右のスピーカーの音声バランスを調整できます。

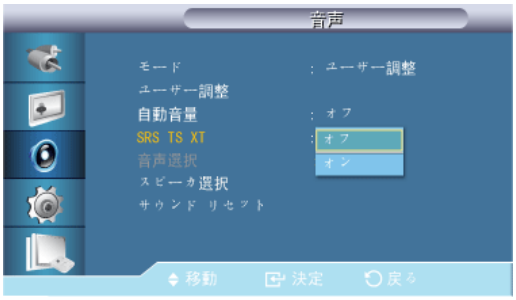
自動音量 P A C H M T



放送局による音量レベルの差を小さくします。

1. **オフ**
2. **オン**

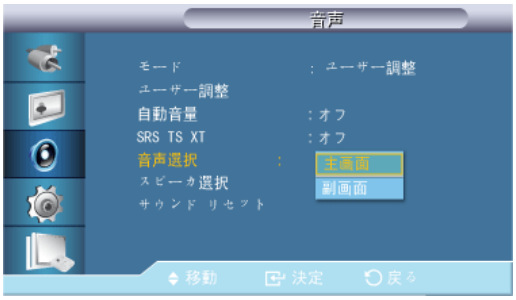
SRS TS XT P A C H M T



SRS TS XT は、2 台のスピーカーで 5.1 チャンネルのコンテンツを再生するときの問題を解決する特許取得済みの SRS 技術です。TruSurround XT は、テレビの内蔵スピーカーなどのスピーカー 2 台で構成される再生システムで、素晴らしい仮想サラウンド音声環境を実現します。すべてのマルチチャンネル フォーマットと完全な互換性があります。

1. **オフ**
2. **オン**

音声選択 PAHT



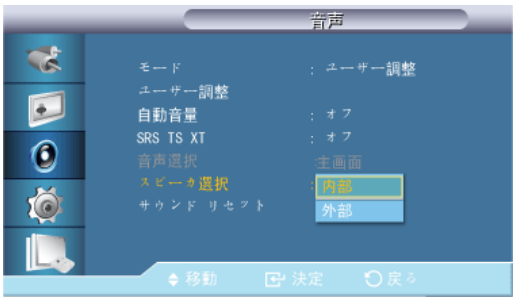
同時画面 モードで、プライマリまたはセカンダリ表示のいずれかの音声を有効にします。

注意

同時画面 が **オン** になっているときに使用できます。

1. **主画面**
2. **副画面**

スピーカ選択 PACHMT



ホーム シアターに接続してこの製品を使用する場合には、内蔵スピーカーをオフにして、ホーム シアターの (外部) スピーカーから音声が聞こえるようにします。

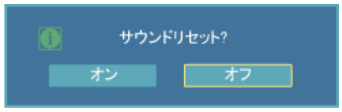
1. **内部**

   音声は **内部** スピーカと **外部** スピーカの両方から出力されますが、音量調整は **内部** スピーカからの音声に対してのみ行うことができます。

2. **外部**

   音声が **外部** スピーカからのみ出力されている場合は、音量調整は **外部** スピーカからの音声についてのみ行うことができます。

サウンド リセット PACHMT



音声の設定をリセットします。

設定

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

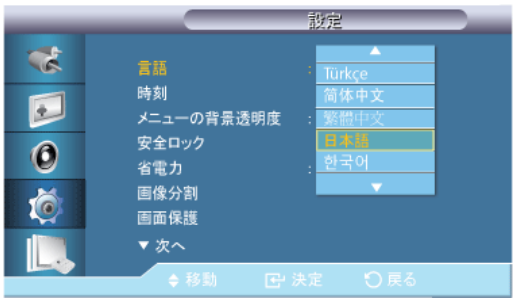
注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

言語 P A C H M T



13 つの言語のいずれかを選択できます。

English,Deutsch,Español,Français,Italiano,Svenska,Русский
Português,Türkçe, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어

注意

言語の選択は、OSD の言語にのみ反映されます。コンピュータ上で実行されるソフトウェアには影響しません。

時刻 P A C H M T

時刻設定、**スリープ タイマー**、**タイマー**、および **休日の管理** の 4 つの時刻設定からひとつを選択します。

時刻設定

現在の時刻を設定します。

スリープ タイマー

所定の時間が経過したら LCD ディスプレイを自動的にオフにします。

1. **オフ**
2. **30**
3. **60**
4. **90**
5. **120**
6. **150**
7. **180**

タイマー 1 / タイマー 2 / タイマー 3

LCD ディスプレイを指定した時間にオンまたはオフにするよう設定できます。

注意

- **時刻設定** メニューを使用して時刻を設定した場合にのみ有効です。
- **手動** オプションを使用して、曜日を選択できます。

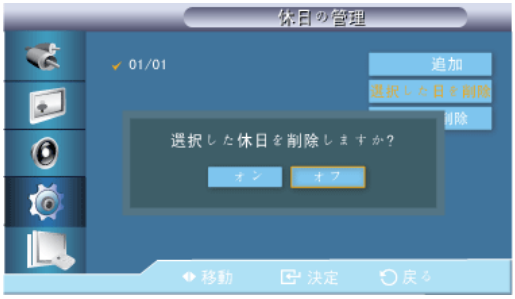
- **休日** :**適用** を選択すると、休日にはタイマーが動作しません。**適用しない** を選択すると、休日もタイマーが動作します。

休日の管理

- **追加**

休日を登録できます。

- **選択した日を削除**

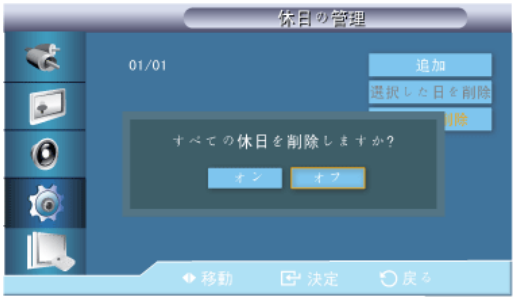


選択した休日を削除できます。

注意

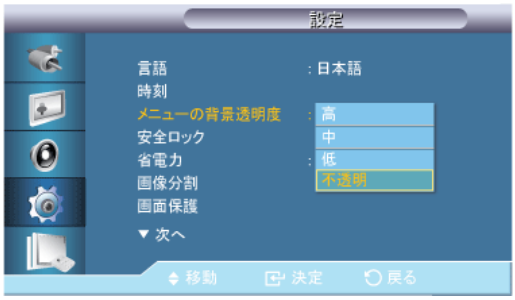
- 登録された休日が選択されている場合にのみ有効です。
- 複数の休日を選択して削除できます。

- **すべて削除**



登録された休日をすべて削除できます。

メニューの背景透明度P A C H M T



OSD の背景の透明度を変更します。

1. **高**
2. **中**
3. **低**
4. **▪ 透明**

安全ロックP A C H M T

PIN の変更

パスワードは変更できます。

プリセットされている LCD ディスプレイのパスワードは「0000」です。

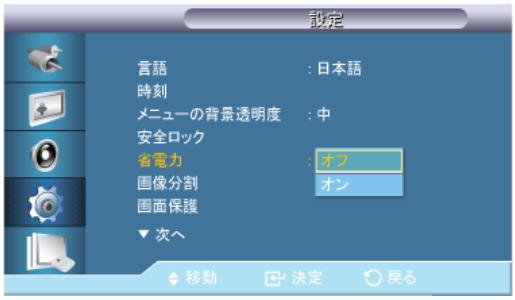
注意

パスワードを忘れた場合には、リモコンの INFO → EXIT → MUTE ボタンを押してパスワードを「0000」にリセットします。

ロック使用

これは、OSD をロックして設定状態を維持し、他のユーザーが現在の設定を変更できないようにする機能です。

省電力PACHMT



この機能は、省エネのためにユニットの電力消費の調整を行います。

1. **オフ**
2. **オン**

画像分割PACHMT

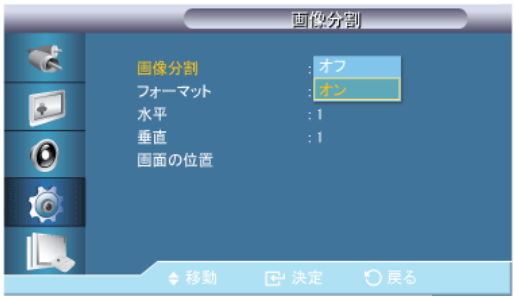
画像分割 は、各スクリーンが画面全体の一部になるように表示したり、同じ画像を各スクリーンに繰り返し表示できるように接続されたビデオスクリーンのセットです。

画像分割 がオンになっているときには、**画像分割** 画面の設定を調整することができます。

注意

- **画像分割** の実行中は、**サイズ** 機能が無効になります。
- **同時画面** が **オン** になっているときには無効になります。

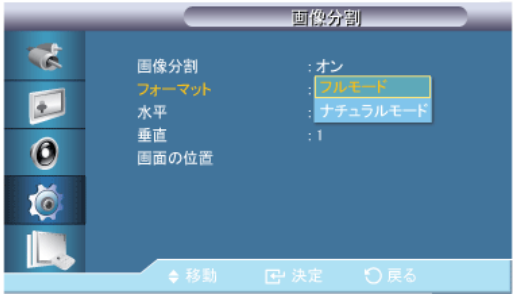
画像分割



選択したディスプレイの **画像分割** 機能のオン/オフを切り替えます。

- **オフ**
- **オン**

フォーマット



分割したスクリーンを表示する **フォーマット** を選択できます。

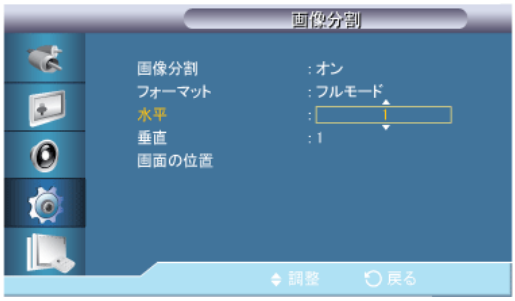
- **フルモード**

  マージン無しで全画面表示を行います。

- **ナチュラルモード**

  元の縦横比を維持したまま自然な映像を表示します。

水平



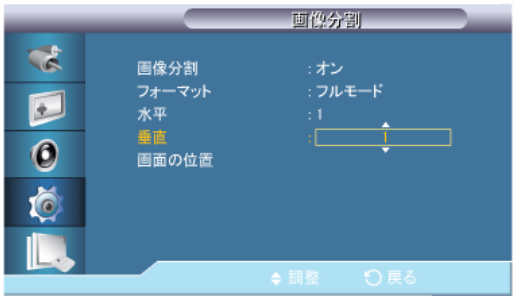
水平方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。

15 段階の調整レベル: 1~15.

注意

垂直 が **15** に設定されている場合は、**水平** の最大値は **6** になります。

垂直



垂直方向に画面をいくつの部分に分割するかを設定します。

15 段階の調整レベル: 1~15.

注意

水平 が **15** に設定されている場合は、**垂直** の最大値は **6** になります。

画面の位置

スクリーンを複数の画像に分割できます。分割するときのレイアウトとともに、分割する画面数を選択できます。

- **画面の位置** でモードを選択します。
- [Display Selection] でディスプレイを選択します。
- 選択したモードの数字を押すと、配置が設定されます。
- 画面は最大 100 個の小画面に分割できます。

注意

5 台以上のディスプレイが接続されている場合には、画質の低下を防ぐために XGA (1024*768) 以上の解像度にすることをお勧めします。

画面保護PACHMT

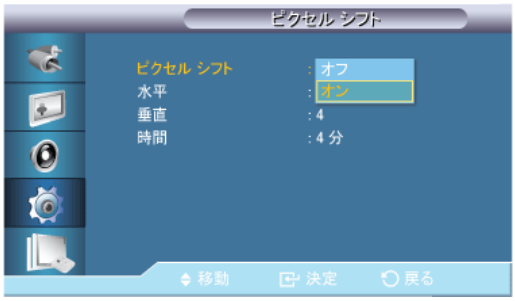
画面保護 機能は、静止画が画面上に長時間表示されたときに発生することのある残像を防止するのに使用します。

注意

この機能は、電源がオフになっているときには使用できません。

ピクセル シフト

ピクセル シフト



LCD 上のピクセルを水平または垂直方向に動かすこの機能を使用して、画面に残像が発生するのを防止することができます。

- **オフ**
- **オン**

水平

画面を水平方向に何ピクセル移動するか設定します。

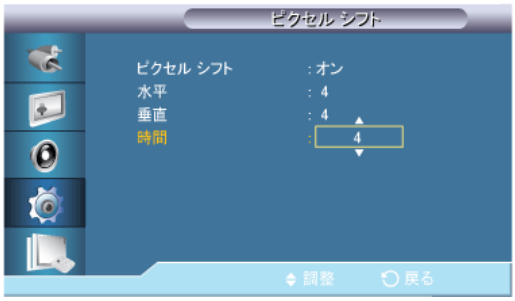
画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

垂直

画面を垂直方向に何ピクセル移動するか設定します。

画像分割は:0, 1, 2, 3, および 4.

時間



それぞれ、水平または垂直方向の動作を実行する間隔を設定します。

タイマー

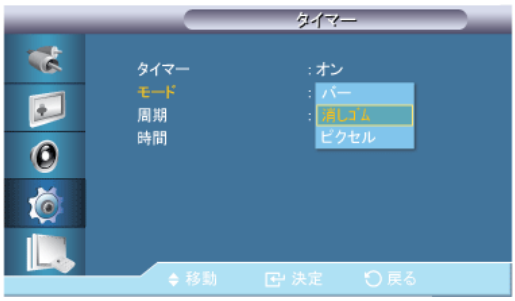
タイマー

画面焼き付き防止のタイマーを設定することができます。

残像を消去するための処理を開始する場合には、処理は設定された時間行われ、自動的に完了します。

- **オフ**
- **オン**

モード



画面保護 タイプを変更できます。

- **バー**
- **消しｺﾞﾑ**
- **ピクセル**

周期

この機能を使用して、各モード セットにおける実行間隔をタイマーに設定します。

時間

設定された間隔の範囲内で、実行する時間を指定します。

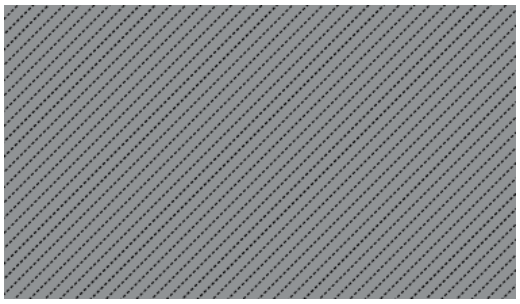
バー

この機能を使用して、長い黒白の垂直線を動かすことにより、画面上に残像が発生するのを防止します。

消しｺﾞﾑ

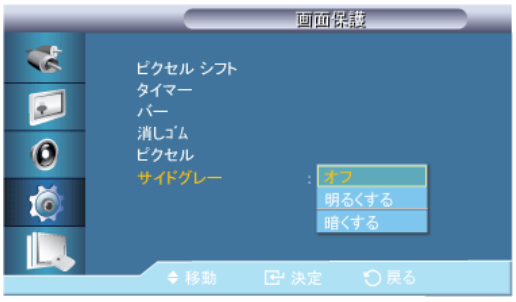
この機能は、長方形のパターンを動かすことによって画面上に残像が発生するのを防止します。

ピクセル



この機能は、画面上で多数のピクセルを動かすことによって残像を防止します。

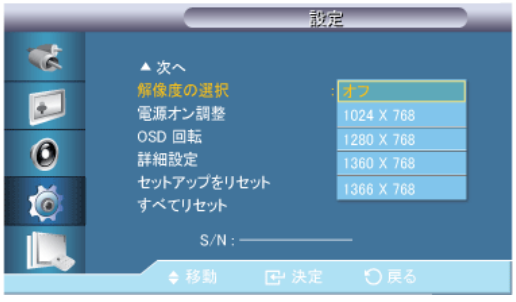
サイドグレー



画面背景のグレーの明るさを選択します。

- **オフ**
- **明るくする**
- **暗くする**

解像度の選択



コンピュータのグラフィックカードの解像度を **1024 x 768 @ 60Hz**、**1280 x 768 @ 60Hz**、**1360 x 768 @ 60Hz** または **1366 x768 @ 60Hz** に設定したときに画面が正常に表示されない場合は、この機能 (Resolution Select) を使用して指定した解像度で画面を表示することができます。

注意

PC モードでのみ使用可。

1. **オフ**
2. **1024 X 768**
3. **1280 X 768**
4. **1360 x 768**
5. **1366 X 768**

注意

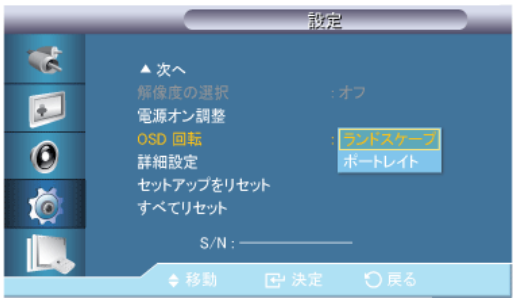
メニューの選択は、画面解像度が **1024 x 768 @ 60Hz**、**1280 x 768 @ 60Hz**、**1360 x 768 @ 60Hz** または **1366 x768 @ 60Hz** に設定されているときにのみ可能です。

電源オン調整 PACHMT

画面の Power On time (電源がオンになる時間) を調整します。

警告:過電圧を避けるために、Power On time (電源がオンになる時間) を長く設定します。

OSD 回転 PACHMT



OSD の回転

1. **ランドスケープ**
2. **ポートレイト**

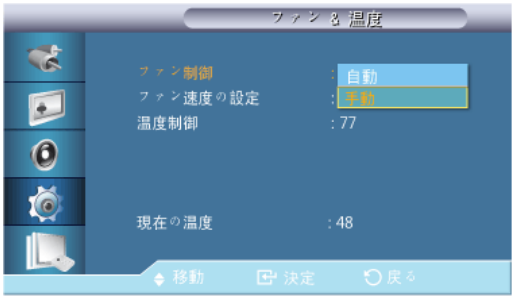
詳細設定PACHMT

さらに詳細な設定を行います。

ファン & 温度

ファンの速度と内部の温度を検知して、製品を保護します。

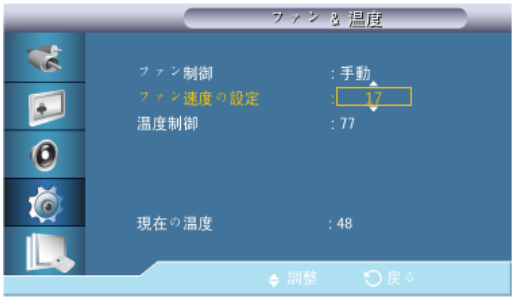
ファン制御



ファン速度設定は、自動または手動のいずれかを選択します。

- **自動**
- **手動**

ファン速度の設定

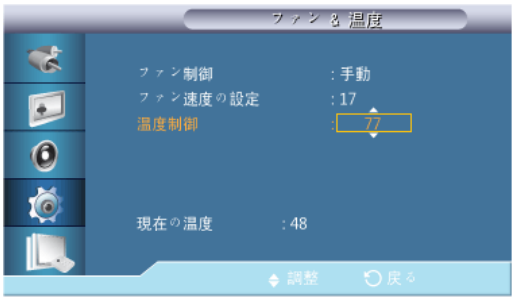


ファンの速度を **0** ～ **100** の範囲で設定します。

注意

ファン制御 が **手動** になっているときに使用できます。

温度制御



製品内部の温度を検知して、目的の温度を指定します。

製品はデフォルトでは 77°C に設定されています。

注意

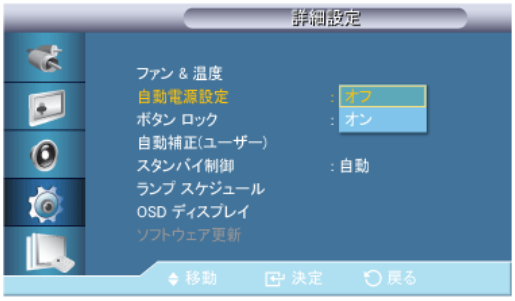
- 指定した温度を超えると映像が暗くなり、温度が上がり続ける場合には製品の電源が自動的にオフになって過熱を防止します。
- この製品を使用するには、75 ～ 80˚C の温度が最適です (室温 40˚C の場合)。

  使用条件の詳細については、記載されている「仕様」を参照してください。
- **温度制御** の設定を変更するときには、**ファン制御** を **自動** に設定します。

現在の温度

製品の現在の温度を表示します。

自動電源設定



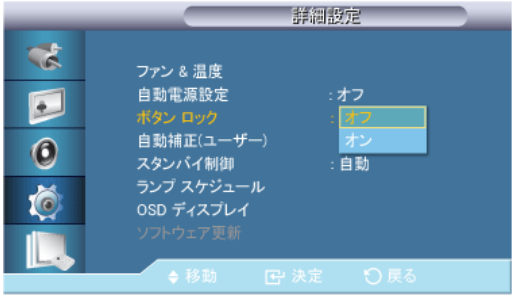
製品の **自動電源設定** の有効/無効を切り替えます。

- **オフ**
- **オン**

注意

自動電源設定 が **オン** になっているときには、製品は電源に接続されると直ちにオンになります。

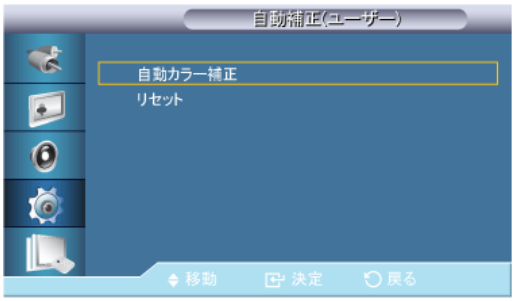
ボタン ロック



製品のモニター制御ボタンをロック/ロック解除します。

- **オフ**
- **オン**

自動補正(ユーザー)



1. **自動カラー補正**

   色を自動で調整します。

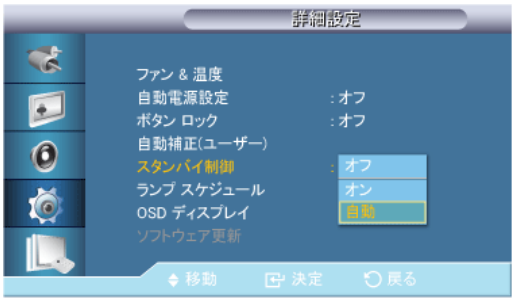
2. **リセット**

   色の設定をリセットします。

注意

PC モードでのみ有効になります。

スタンバイ制御



入力信号が検出されないときに動作するスタンバイ モードを設定します。

- **オフ**

  入力信号が検出されないときには **信号がありません** というメッセージが表示されます。

- **オン**

  入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。

- **自動**

  入力信号が検出されないときには、

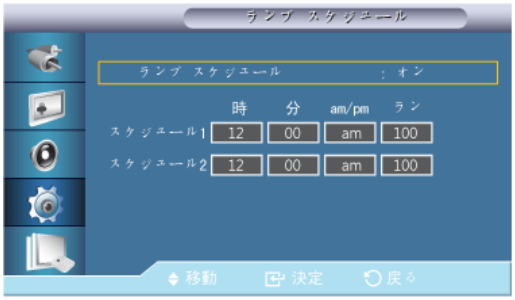
  - 外部デバイスが接続されているときには省電力モードになります。

  - 外部デバイスが接続されていないときには **信号がありません** というメッセージが表示されます。

注意

- **PC**、**DVI**、**HDMI**、または **ディスプレイ ポート** モードでのみ有効になります。
- **自動** は **HDMI** モードでは無効になります。

ランプ スケジュール



指定された時刻に、ユーザー指定の値に明るさを調整します。

OSD ディスプレイ

画面上のメニュー項目の表示/非表示を切り替えます。

ソース OSD

- **オフ**
- **オン**

非最適化 OSD モード

- **オフ**
- **オン**

OSD 信号なし

- **オフ**
- **オン**

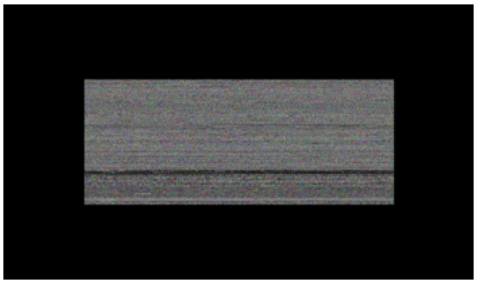
MDC OSD

- **オフ**
- **オン**

ソフトウェア更新

ソフトウェアの更新を行います。

1. **DVI** または **HDMI** などのデジタル信号を使用して製品をコンピュータに接続します。SW コードから変換された BMP 画像ファイルをクリックします。製品の画面に下に示すような画像が表示されます。
2. ソフトウェア コードが変換された BMP 画像が画面に表示されている間に、[**ソフトウェア更新**] を選択します。



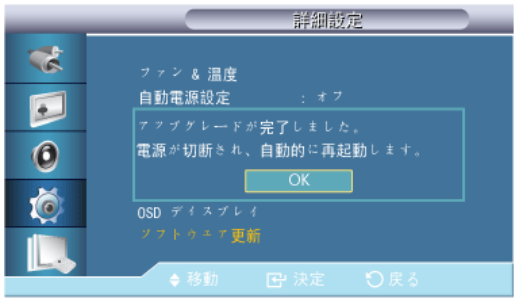
注意

複数の BMP 画像がある場合は、スライドショーを使用して画面に表示されます。

- スライドショーでの BMP 画像の再生間隔を 1 秒に設定することをお勧めします。他の再生間隔では、画像を正常に抽出できないことがあります。
- 別の画像 (マウス ポインタなど) が重なっている場合は、BMP 画像を正常に抽出できないことがあります。

3. 現在のソフトウェア バージョンよりも新しいバージョンが検出された場合は、現在のソフトウェアをアップグレードするかどうか確認を求められます。**<オン>** を選択した場合は、アップグレードが実行されます。

4. ソフトウェア アップグレードの完了後、製品の電源が自動的にオフになってから、オンになります。



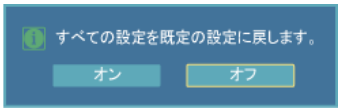
注意

- これは、**DVI**、**HDMI1** または **HDMI2** モードなどのデジタル信号の場合にのみ機能します。(入力解像度はパネル解像度と同じにする必要があります。)
- **HDMI1** および **HDMI2** モードでは、PC と TV の両方で使用されるタイミング値は、**外部入力名編集** が **PC** または **DVI PC** に設定されている場合にのみサポートされます。
- これは、**サイズ** が **16:9** に設定されている場合にのみサポートされます。

セットアップをリセットPACHMT

すべての設定値をリセットします。

すべてリセットPACHMT



ディスプレイのすべての設定をリセットします。

マルチコソトロール

利用できるモード

- **PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **AV**
- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

マルチコントロール P A C H M T

SET に個別の ID を割り当てます。

- **ID 設定**

  SET に固有の ID を割り当てます。

- **ID 入力**

  SET ごとに送信機の機能を選択します。送信機設定に対応する ID を持つ SET のみが有効になります。

- **MDC 接続**

  MDC 入力を受信するポートを選択します。

  - **RS232C MDC**- **RS232C MDC** ケーブルを経由して MDC と通信します。
  - **RJ45 MDC**- **RJ45 MDC** ケーブルを経由して MDC と通信します。

- **ネットワーク設定**

  - **IP 設定** :**手動**, **自動**
  - **IP アドレス** :**IP 設定** が **手動** に設定されている場合は、**IP アドレス** を手動で入力します。
  - **サブネット マスク** :**IP 設定** が **手動** に設定されている場合は、**サブネット マスク** を手動で入力します。
  - **ゲートウェイ** :**IP 設定** が **手動** に設定されている場合は、**ゲートウェイ** を手動で入力します。

MagicInfo

利用できるモード

- **P PC / DVI / ディスプレイ ポート**
- **A AV**

- **コンポーネント**
- **HDMI**
- **MagicInfo**
- **TV**

注意

製品で TV を視聴するには、TV チューナー ボックス (別売り) を接続します。

MagicInfo の使用

TSn-3 モデルで **MagicInfo** を使用するには、当社指定のネットワーク ボックスを製品内部にインストールし、ネットワーク ボックス上の **MagicInfo** 出力を、製品の *[HDMI IN 2 (MAGICINFO)]* に接続します。

注意

- Device モードの **MagicInfo** では、外部デバイスを起動中に移動するとエラーの原因となる場合があります。外部デバイスの設定は、LCD ディスプレイがオンになっているときにのみ行います。
- ネットワークに使用されている LAN ケーブル (例:ビデオ表示) を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicInfo) が停止することがあります。ケーブルを外したら、システムを再起動してください。
- USB 機器に使用されている LAN ケーブル (例: ビデオ表示) を外さないでください。外した場合には、プログラム (MagicInfo) が停止することがあります。
- 他の入力信号に切り替えるには、**MagicInfo** の SOURCE ボタンを押します。
- プリセットされている LCD ディスプレイのパスワードは「000000」です。
- サーバー プログラムの Power-On オプションは、LCD ディスプレイの電源が完全にオフになっている場合にのみ機能します。

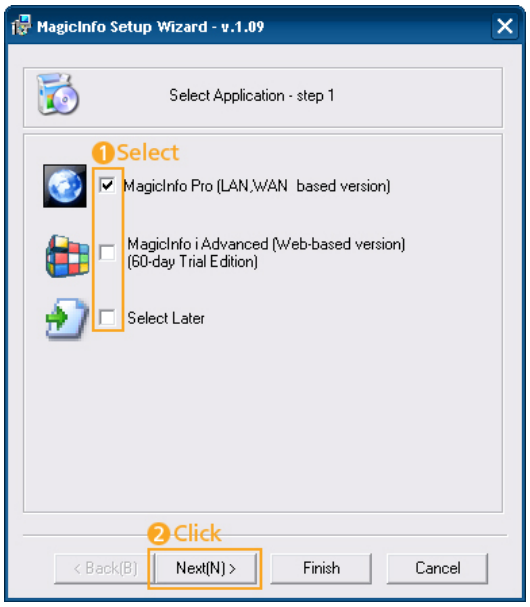
  LCD ディスプレイのシステムエラーの原因となる場合がありますので、LCD ディスプレイの終了中に Power-On オプションを使用しないようにしてください。
- **MagicInfo** を MagicInfo Server プログラムとともに使用するとき:Network モードを実行します。
- デバイスが LCD ディスプレイに直接接続されているときに **MagicInfo** を使用している場合:Device モードを実行します。
- ESC を押して、**MagicInfo** ウィンドウ画面に直接移動します。
- Windows の画面で **MagicInfo** を設定するには、キーボードとマウスが必要になります。
- Windows で **MagicInfo** を設定する方法については、MagicInfo Server のヘルプを参照してください。

  操作中は、AC 電源をオフにしないことを強く推奨します。
- ピボット機能のある LCD ディスプレイでは、透明チッカーはサポートされていません。
- ピボット機能のある LCD ディスプレイでは、720*480 (SD) までの動画の画面解像度がサポートされています。

- ドライブ D: には、**EWF** は適用されません。
- **EWF** が **Enable** 状態のときに変更された設定内容を保存するには、その内容を **Commit** する必要があります。
- **Disable**、**Enable** または **Commit** を選択すると、システムが再起動します。

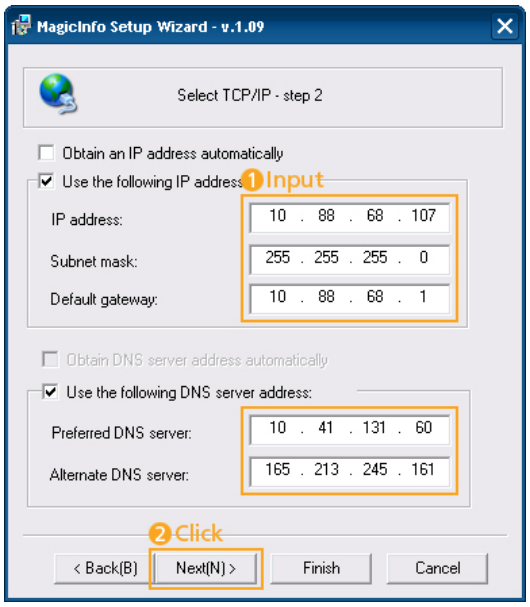
MagicInfo

1. Select Application - step 1



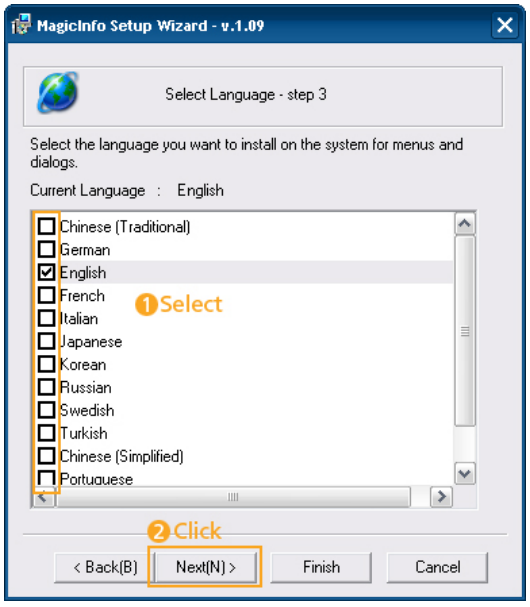
Windows を軌道したときにコンピュータで実行するアプリケーションを選択できます。

2. Select TCP/IP - step 2


MagicInfo Setup Wizard - v.1.09
Select TCP/IP - step 2
Obtain an IP address automatically
Use the following IP address
1 Input
IP address: 10 . 88 . 68 . 107
Subnet mask: 255 . 255 . 255 . 0
Default gateway: 10 . 88 . 68 . 1
Obtain DNS server address automatically
Use the following DNS server address:
Preferred DNS server: 10 . 41 . 131 . 60
Alternate DNS server: 165 . 213 . 245 . 161
2 Click
< Back(B)
Next(N) >
Finish
Cancel

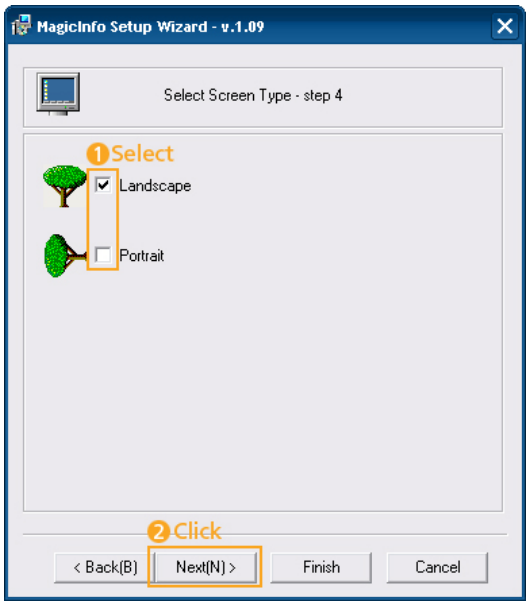
MagicInfo Setup Wizard の step 2 では、TCP/IP の設定を行うためにデスクトップのネットワーク設定に移動する必要はありません。MagicInfo のインストールの step 2 のみを行います。

3. Select Language - step 3



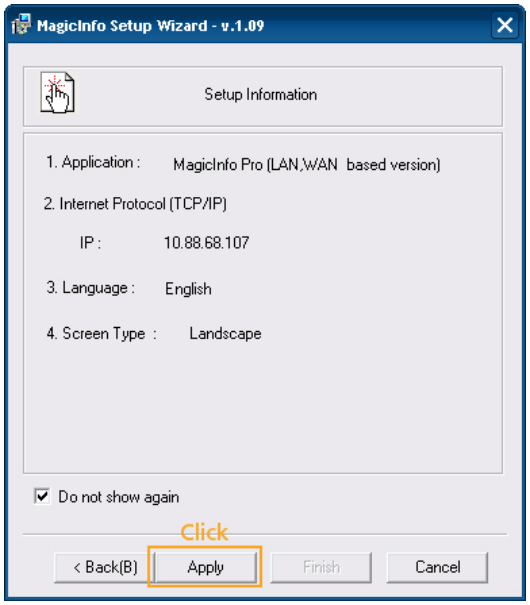
複数の言語を使用するときには、使用する言語を選択することができます。

4. Select Screen Type - step 4



デバイスに適用する回転のタイプを選択できます。

5. Setup Information



ユーザーが選択した設定を表示します。

注意

Magicinfo アイコンが通知領域に表示されない場合には、Windows デスクトップで **Magicinfo** アイコンをダブルクリックしてください。アイコンが表示されます。

トラブルシューティング

セルフテスト機能チェック

注意

お問い合わせの前に、以下の項目についてチェックしてください。問題が解決しない場合には、お客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

セルフテスト機能チェック

1. コンピュータと LCD ディスプレイの両方をオフにします。
2. コンピュータの背面からビデオケーブルを取り外します。
3. LCD ディスプレイをオンにします。

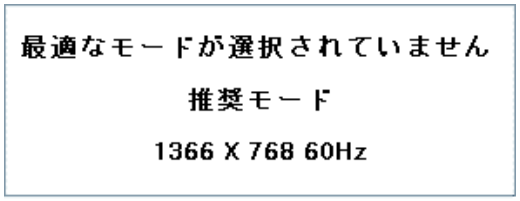
   ビデオ信号が検出されない場合でも LCD ディスプレイが正常に動作しているときには、下記の図 (「**信号がありません**」) が黒色の背景で表示されます。自己テスト モードでは、LED 電源インジケータは緑色のままで、画像が画面内を動き回ります。

4. LCD ディスプレイをオフにして、ビデオ ケーブルを接続しなおします。次にコンピュータと LCD ディスプレイの両方をオンにします。

前の手順を行った後でも LCD ディスプレイ画面に何も映らない場合は、ビデオ コントローラおよびコンピュータ システムをチェックしてください。LCD ディスプレイは正常に動作しています。

警告メッセージ

画面は 1366 x 786 の解像度でも表示することができます。 ただし、「画面の解像度を変更するか、現在のモードのままにすることができます」というメッセージが短時間表示されます。周波数が 85Hz を越える場合には、LCD ディスプレイでは 85Hz を越える周波数をサポートしていないため、黒色の画面が表示されます。



注意

LCD ディスプレイがサポートしている解像度または周波数については、仕様 > プリセット タイミング モードを参照してください。

メンテナンスと清掃

1) LCD ディスプレイ筐体のメンテナンス

電源コードを抜いてから、柔らかい布で拭き取ります。

- ベンゼン、シンナーまたはその他の引火性物質を使用しないでください。

2) フラットパネルディスプレイ画面のメンテナンス

柔らかい布 (綿ネル) で拭き取ります。

- アセトン、ベンゼンまたはシンナーは使用してはなりません。

  (スクリーン表面の傷または劣化の原因となることがあります)

- これらの物質を使用したことによって発生した損害は、すべてユーザーの責任となります。

症状と推奨される措置

注意

LCD ディスプレイは、コンピュータから受信した視覚信号を再生します。したがって、コンピュータまたはビデオカードに問題がある場合には、色彩の異常、ノイズなどのトラブルが発生することがあります。この場合には、まず問題の原因をチェックしてから、お客様相談ダイヤルまたは販売店にお問い合わせください。

1. 電源コードおよびビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されているかどうかをチェックします。

2. 起動時にコンピュータからビープ音が 3 回聞こえるかチェックします。

   (この場合にはお問い合わせください)

3. ビデオカードを自分でインストールするか PC を組み立てた場合には、アダプタ (ビデオ) がインストールされているかどうか確認します。

4. ビデオ画面のスキャン速度が 50 ～ 85Hz の範囲内にあるかどうかチェックします。

   (最大解像度を使用しているときは、60 Hz を超えてはなりません)

5. アダプタ (ビデオ) ドライバのインストールに問題がある場合には、コンピュータをセーフ モードで起動して、[Control Panel (コントロール パネル)] → [System (システム)] → [Device Manger (デバイス マネージャ)] でディスプレイ アダプタを削除して、コンピュータを再起動してアダプタ (ビデオ) ドライバを再インストールします。

チェックリスト

注意

以下の表は、発生する可能性のある問題とその解決方法を示しています。お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。不明な点がある場合には、お客様相談窓口にお電話いただくか、販売店にお問い合わせください。

インストールに関する問題

注意

LCD ディスプレイのインストールに関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: LCD ディスプレイの画面がちらつく。

A: コンピュータと LCD ディスプレイとの間を接続している信号ケーブルが、しっかりと接続されているか確認します。

(コンピュータの接続を参照)

画面に関する問題

注意

LCD ディスプレイの画面に関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: 画面が空白になり、電源インジケータがオフになる。

A: 電源コードをしっかりと接続してから LCD ディスプレイをオンにします。

(コンピュータの接続を参照)

Q: "**信号がありません**」というメッセージ。

A: PC またはビデオ ソースに信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。

(コンピュータの接続を参照)

A: PC またはビデオ ソースがオンになっていることを確認します。

Q: "**最適なモードが選択されていません**」というメッセージ。

A: ビデオ アダプタの最大解像度と周波数を確認します。

A: プリセット タイミング モードのチャートに記載されているデータとこれらの値を比較します。

Q: 映像が縦に流れる。

A: 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。必要に応じて再度接続します。

(コンピュータの接続を参照)

Q: 画像がはっきりしない。画像がぼやける。

A: 微調整 の **粗調整** および **微調整** 調整を実行します。

A: すべてのアクセサリ (ビデオ拡張ケーブルなど) を取り外してから再度オンにします。

A: 解像度と周波数を推奨の範囲に設定します。

Q: 画像が安定せず、揺れる。

A: コンピュータのビデオ カードに対して設定した解像度および周波数が、LCD ディスプレイがサポートしている範囲から外れていないか確認します。外れていない場合には、LCD ディスプレイのメニューとプリセット タイミング モードに記載されている現在の情報を参照して再度設定します。

Q: 映像にゴーストが発生する。

A: コンピュータのビデオ カードに対して設定した解像度および周波数が、LCD ディスプレイがサポートしている範囲から外れていないか確認します。外れていない場合には、LCD ディスプレイのメニューとプリセット タイミング モードに記載されている現在の情報を参照して再度設定します。

Q: 映像が明るすぎる、または暗すぎる。

A: **明るさ** と **コントラスト** を調整します。

(**明るさ**、**コントラスト** を参照してください)

Q: 画面の色が正しくない。

A: OSD 調整メニューで **カラー調整** オプションを調整します。

Q: 暗い影によってカラー画像が歪む。

A: OSD 調整メニューで **カラー調整** オプションを調整します。

Q: 白色が正しく表示されません。

A: OSD 調整メニューで **カラー調整** オプションを調整します。

Q: 電源インジケータが点滅する。

A: LCD ディスプレイが OSD メモリに変更された設定を保存しています。

Q: 画面が点滅し、電源インジケータが 0.5 ～ 1 秒間隔で点滅します。

A: LCD ディスプレイが電源管理システムを使用しています。キーボードのいずれかのキーを押します。

音声に関する問題

注意

音声信号に関する問題とその解決方法を以下に示します。

Q: 音声が聞こえない。

A: LCD ディスプレイの音声入力ポートとサウンドカードの音声出力ポートにオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

(コンピュータの接続を参照)

A: 音量レベルをチェックします。

Q: 音量が低すぎる。

A: 音量レベルをチェックします。

A: 音量を最大に調整しても音が小さすぎる場合には、コンピュータのサウンドカードまたはソフトウェアプログラムの音量コントロールをチェックします。

Q: 音量が大きすぎるか小さすぎる。

A: **高音** および **低音** を適切なレベルに調整します。

リモコンに関する問題

注意

リモコンに関連する問題とその解決方法が記載されています。

Q: リモコンのボタンが応答しない。

A: バッテリの極性 (+/-) を確認します。

A: バッテリが消耗していないかチェックします。

A: 電源がオンになっているかどうかをチェックします。

A: 電源コードがしっかりと接続されているか確認します。

A: 付近に特殊な蛍光灯またはネオン ランプがないかチェックします。

Q & A

Q: 周波数の変更方法は?

A: 周波数は、ビデオ カードの再設定によって変更することができます。

注意

ビデオ カードでサポートされている周波数は、使用しているドライバのバージョンによって異なることにご注意ください。(詳細はコンピュータまたはビデオカードのマニュアルを参照してください)

Q: 解像度の変更方法は?

A: Windows XP:

[Control Panel (コントロール パネル)] → [Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] で解像度を設定します。

A: Windows ME/2000:

[Control Panel (コントロール パネル)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] で解像度を設定します。

* 詳細についてはビデオカードのメーカーにお問い合わせください。

Q: 省電力機能の設定方法は?

A: Windows XP:

[コントロール パネル] → [デスクトップの表示とテーマ] → [画面] → [スクリーン セーバー] で、省電力機能を有効にします。

コンピュータの BIOS 設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)

A: Windows ME/2000:

コントロール パネル → 画面 → スクリーンセイバー。

コンピュータの BIOS 設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)

Q: 筐体/LCD パネルをきれいにしたいのですが?

A: 電源コードを抜き、LCD ディスプレイを柔らかい布で洗剤また真水を使って清掃します。

洗剤が残ったままにしたり、筐体を傷つけないようにしてください。水が LCD ディスプレイの中に入らないようにしてください。

Q: ビデオの再生方法は?

A: ビデオは、MPEG1 および WMV コーデックのみをサポートしています。ビデオを再生するには、対応するコーデックをインストールします。互換性がないコーデックがあることに注意してください。

注意

お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。不明な点がある場合には、お客様相談窓口にお電話いただくか、販売店にお問い合わせください。

仕様

一般情報

一般情報	
モデル名	320TSn-3

LCD パネル	
サイズ	31.5 インチ / 80cm
表示範囲	697.68 mm (H) x 392.25 mm (V)

同期	
水平	30 ～ 81 kHz
垂直	56~85 Hz

表示色

16.7 万色

解像度	
最適解像度	1366 x 768 @ 60Hz
最大解像度	1920 x 1080 @ 60Hz

最大ピクセル クロック

148.5MHz（アナログ、デジタル）

電源

この製品は 100 ～ 240 V の電源に対応しています。

標準電圧は国によって異なる場合があるため、製品背面のラベルを確認してください。

信号コネクタ

D-sub(Component), DVI-D In, VCR, HDMI 1/2, RS232C In/Out, DP, DC Out, Stereo Audio In/Out, Audio In(L/R), RJ45, USBx3, LAN, D-sub out, HDMI out

寸法 (W x H x D)	
スタンド付き	787.4 mm X 553.1 mm X 311.0 mm (スタンドを含む)
スタンドなし	787.4 mm x 482.2 mm x 116.3 mm (スタンドを除く)

重量

20.8 Kg

VESA 取り付けインターフェイス

200.0 mm X 200.0 mm

環境条件

動作時	動作温度:10˚C ~ 40˚C (50˚F ~ 104˚F) 湿度:10 ～ 80%、結露しないこと
記録装置(梱包保存時)	動作温度:-20˚C ~ 45˚C (-4˚F ~ 113˚F) 湿度:5 ～ 95%、結露しないこと

プラグ アンド プレイ機能

この LCD ディスプレイは、プラグ & プレイ互換システムにインストールすることができます。LCD ディスプレイとコンピュータ システムとのインタラクションによって、最適な操作環境と LCD ディスプレイの設定が行われます。ほとんどの場合、ユーザーが設定の変更を必要としない限り、LCD ディスプレイのインストールは自動的に行うことができます。

ドット欠けについて

この製品には、1 ppm (百万分の 1) 精度の高度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブ ピクセルの数は 3,147,264 です。

注意

設計および仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

クラス A (産業用情報通信機器)

販売店および購入されたお客様へのご注意。この装置は、産業用の EMC 要件 (クラス A) について登録されており、一般的な家庭環境以外で使用することができます。

PowerSaver

この LCD ディスプレイには、PowerSaver と呼ばれる消費電力管理システムが内蔵されています。このシステムは、LCD ディスプレイが一定時間使用されなかった場合に低消費電力モードに切り替え、エネルギー消費を節約します。LCD ディスプレイは、キーボードのキーが押されると自動的に通常の動作状態に戻ります。消費電力を押さえるために、必要ない場合または長時間 LCD ディスプレイから離れる場合にはモニターをオフにします。PowerSaver システムは、コンピュータにインストールされた VESA DPM 互換のビデオ カードで動作します。お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェア ユーティリティを使用して、この機能を設定してください。

PowerSaver

モード	通常動作	省電力モード	電源オフ	電源オフ (電源スイッチ)
電源インジケーター	オン	点滅	黄色	オフ
消費電力 (一般)	177 ワット (603.57 BTU/h)	5 ワット (17.05 BTU/h)	5 ワット (17.05 BTU/h)	0 ワット (0 BTU/h)

注意

- システムの状態または設定が変更された場合は、実際の消費電力が上記の消費電力と異なる場合があります。
- 電力消費を止めるには、スイッチをオフにするか、背面の電源ケーブルを抜きます。長時間外出する場合は、電源ケーブルを抜いてください。

プリセット タイミング モード

コンピュータから送られてきた信号が以下のプリセット タイミング モードと同じ場合には、画面は自動的に調整されます。しかし、信号が異なる場合には、電源 LED が点灯していても画面に何も映らなくなる場合があります。ビデオ カードのマニュアルを参照して、以下のように画面を調整してください。

表示モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、848 x 480	31.020	60.000	33.750	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 768	47.776	59.870	79.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	60.015	85.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	59.790	85.000	+/+
VESA,1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	+/+
VESA, 1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

水平周波数

画面の右端から左端を水平につなぐ 1 本の直線をスキャンするのにかかる時間を水平サイクルと言い、水平サイクルの逆数を水平周波数と言います。単位: kHz

垂直周波数

蛍光灯と同じように、画面は同じ画像を 1 秒間に何回も繰り返し表示して、ユーザーに対して映像を表示しています。この繰り返しの周波数を、垂直周波数またはリフレッシュ レートと言います。単位: Hz

情報

より良い画質でご覧いただくために

コンピュータの解像度と画面の描画頻度（リフレッシュ レート）を以下の説明に従ってコンピュータ上で調整し、最適な表示をお楽しみください。TFT-LCD に最適な画質でない場合には、画面の画質が不均一になる場合があります。

- 解像度:1366 x 768
- 垂直周波数 (リフレッシュ レート): 60 Hz

この製品には、1 ppm (百万分の 1) 以上の高精度な半導体技術を利用した TFT-LCD パネルが使用されています。ただし、赤、緑、青および白の各色のピクセルが光って、もしくは黒く見える場合があります。これは製品の不具合ではなく、使用上問題になるものではありません。

- たとえば、この製品に含まれる TFT-LCD サブ ピクセルの数は 3,147,264 です。

モニターとパネルの外側を清掃するときには、柔らかい布に少量の水を付けて拭き取ってください。LCD 部分を清掃するときには、力を入れずに拭き取ってください。過剰な力がかかると、キズがつく場合があります。

画質に不満がある場合には、Auto ボタンを押したときに表示される表示画面の「**自動調整** 機能」を行って画質を改善できる場合があります。自動調整後もノイズが発生する場合には、**微調整/粗調整** 調整機能を使用します。

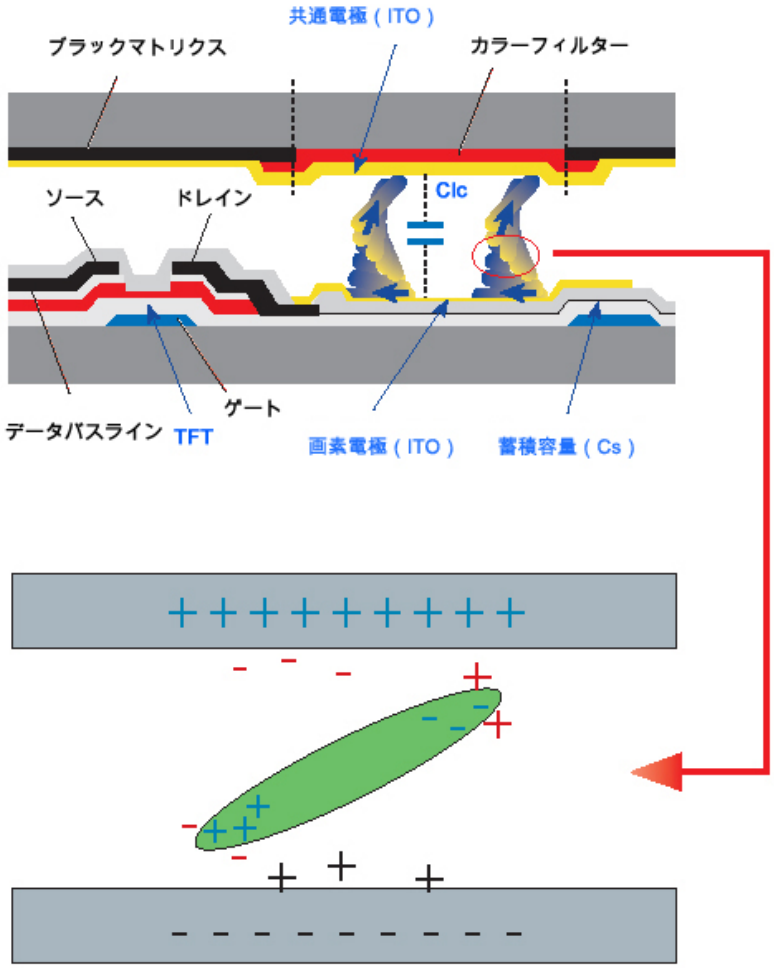
静止画面を長時間表示し続けると、画像が残ったり画面がぼやけたりする場合があります。長時間モニターの前から離れるときには、省電力モードにするか、動画のスクリーンセーバーを設定してください。

製品情報 (残像について)

残像とは?

LCD パネルは、通常の使用 (下記参照) において、残像は発生しません。

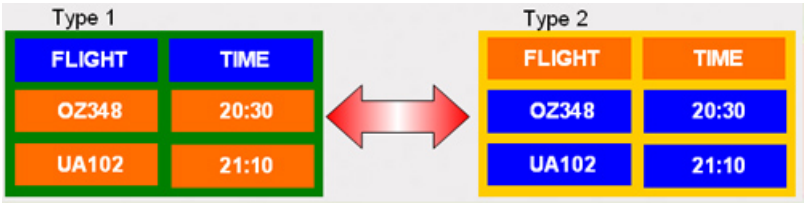
通常の条件とは、連続的に変化するビデオパターンとして定義されます。LCD パネルが固定されたパターンの状態で、長時間（12 時間以上）使用されると、ピクセル内の液晶を動作させる電極の間で若干の電圧の差が生じる場合があります。電極間の電圧の差が時間とともに増大すると、液晶が曲げられてしまいます。このような現象が発生すると、パターンが変化したときに以前のイメージが見える場合があります。これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。



電源オフ、スクリーンセイバー、または省電力モード

- 12 時間使用: 電源を 2 時間オフ
- PC の表示プロパティの電源管理機能で、モニターの電源をオフにするよう設定します。
- 可能な場合にはスクリーンセイバーを使用します - スクリーンセイバーは、単色または動く映像のものをお勧めします。
- 残像防止機能を使用することをお勧めします。

定期的に色の組み合わせを変更する



注意

2 つの異なる色の使用

2 つの色情報を 30 分ごとに切り替えます。

- 明るさが極端に異なる文字色と背景色の組み合わせは避けてください。

  また、残像が発生する原因となりますのでグレーは使用しないでください。

  避けること:明るさが大きく異なる色 (白と黒、灰色) の使用。

定期的に文字色を変更する

- 明るさの差が少ない明るい色を使用します。

  - 周期:文字色と背景色を 30 分間隔で変更

- 30 分ごとに、文字を動かして変更します。

- 画像やロゴを定期的に表示します。

  - 周期:ロゴとともに移動するイメージを 4 時間使用するごとに 60 秒表示します。

- 残像を抑えるのにもっとも効果的な方法は PC を使用していないときにスクリーンセイバーが 起動するように設定することです。これらのガイドラインに従わない場合には、保証内容に影響を与える場合があります。

製品に画面ピクセル機能を使用する

- 画面ピクセル機能を使用する

  - 症状:黒色の点が上下に移動します。

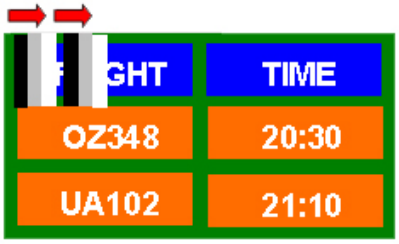
- 画面バー機能を使用する

- 症状:黒色の水平/垂直線が上下に移動します。

製品に画面消去機能を使用する

- 画面消去機能を使用する

- 症状:2 つの垂直なブロックが表示を消していきます。



付録

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日 (土日祭日を除く) 9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp
住所	〒 135-0062　東京都江東区東雲 2-6-38
Fax	03-3527-5533

注意

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

用語

ドット ピッチ	モニターの画像は、赤色、緑色および青色のドットで構成されています。ドットの間隔が小さいほど、解像度は高くなります。同じ色の 2 個のドット間の距離を「ドット ピッチ」と言います。単位:mm
垂直周波数	ユーザーに対して画像を作成して表示するには、1 秒間当たり何回も画像を再描画しなければなりません。1 秒当たりのこの繰り返しの回数を、垂直周波数またはリフレッシュ レートと言います。単位: Hz 例:同じ光が 1 秒間に 60 回繰り返すときには、60 Hz となります。
水平周波数	画面の右端から左端を水平につなぐ直線をスキャンするのにかかる時間を、水平サイクルと言います。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。単位:kHz
インタレース法とノンインタレース法	画面の水平線を上から下に順番に表示していく方法をノンインタレース法と言い、奇数番目のラインを表示してから偶数番目のラインを表示する方法をインタレース法と言います。ノンインタレース法は、明確な画像にするために多くのモニターで使用されています。インタレース法は、TV で使用されているものと同じです。
プラグ & プレイ	コンピュータとモニターが自動的に情報を交換することにより、ユーザーに最高の画質を提供する機能です。このモニターは、プラグ & プレイ機能について国際規格 VESA DDC に対応しています。
解像度	画面の画像を構成するのに使用される水平および垂直方向のドットの数を、「解像度」と呼びます。この数は、表示の正確さを示しています。高い解像度では、多くの画像情報を画面上に表示できるため、複数の作業を実行する場合に適しています。 例:解像度が 1366 X 786 の場合、水平方向のドットが 1366 個 (水平解像度)、垂直線 786 本 (垂直解像度) で構成されていることを意味します。

制限事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。

© 2010 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

Samsung Electronics Co., Ltd.の文書による許可なしには、いかなる複製も堅く禁じます。

内容に含まれる誤り、または設置や使用の結果として起こる損害について、Samsung Electronics Co., Ltd.は一切の責任を負いません。

Samsung は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。VESA、DPM および DDC は Video Electronics Standard Association の登録商標です。本書に記載されているその他すべての製品名は、各企業・団体の商標または登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般 OA 用として設計・製造されています。一般 OA 用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

TruSurround XT, SRS and the symbol are trademarks of SRS Labs, Inc.

TruSurround XT technology is incorporated under license from SRS Labs, Inc.

VCCI について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用 することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして 下さい。